令和７年度事業報告書

令和８年５月

横浜市立みなと赤十字病院

目　　次

１　概要……１
　１－１　施設概要
　１－２　建物図
　１－３　施設基準取得状況

２　政策的医療……12
　２－１　24 時間 365 日の救急医療及び二次救急医療
　２－２　小児救急医療
　２－３　周産期救急医療
　２－４　精神科救急医療
　２－５　精神科身体合併症医療
　２－６　緩和ケア医療
　２－７　アレルギー疾患医療
　２－８　障害児者合併症医療
　２－９　災害時医療
　２－10　市民の健康危機への対応

３　指定管理者独自の取組……27
　３－１　自動搬送ロボットの導入
　３－２　医療 DX の推進

４　地域医療の質の向上に向けた取組……31
　４－１　医療における安全管理（安全）
　４－２　医療における安全管理（感染）
　４－３　医療倫理に基づく医療の提供
　４－４　地域医療機関との連携・支援（医療連携課）
　４－５　地域医療機関との連携・支援（療養・福祉相談室）
　４－６　市民委員会
　４－７　治験・受託研究
　４－８　患者・市民に対する相談・啓発活動
　４－９　患者サービス
　４－10　医療データベースの構築と情報提供

5　職員研修…… 58
5－1　職員研修（医師）
5－2　職員研修（看護部）
5－3　職員研修（薬剤部）
5－4　職員研修（医療技術部門）
5－5　職員研修（事務部）

6　院外からの研修受入れ…… 70
6－1　院外からの研修受入れ（医師）
6－2　院外からの研修受入れ（看護部）
6－3　院外からの研修受入れ（薬剤部）
6－4　院外からの研修受入れ（リハビリテーション科部）
6－5　院外からの研修受入れ（救命救急センター）

7　職員…… 76
7－1　組織図
7－2　職員配置状況

8　施設管理…… 81
8－1　医療機器の整備状況
8－2　施設設備改修報告
8－3　施設設備管理報告
8－4　外部委託

9　経営報告…… 87
9－1　稼働状況等報告
9－2　中央部門業務報告
9－3　決算書

1　概要

１－１　施設概要

１　名称

横浜市立みなと赤十字病院

２　開設者

横浜市長（指定管理者として日本赤十字社が運営）

３　開設年月日

平成 17 年４月１日

４　病床数

624 床（一般 584 床、精神 40 床）

５　標榜科

内科（総合内科・感染症科）、内分泌内科（糖尿病内分泌内科）血液内科、腎臓内科、リウマチ科（膠原病リウマチ内科）、緩和ケア内科、呼吸器内科、消化器内科、肝臓内科、循環器内科、脳神経内科、アレルギー科、精神科、小児科、外科、消化器外科、大腸外科、肝臓外科、乳腺外科、整形外科、脳神経外科、形成外科、呼吸器外科、心臓血管外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科（耳鼻咽喉科・頭頸部外科、めまい平衡神経科）、リハビリテーション科、放射線診断科、放射線治療科、麻酔科、歯科口腔外科、救急科、病理診断科

以上 36 科

６　沿革

- 平成 15 年３月　横浜市立病院あり方検討委員会（横浜市長の諮問機関）が新病院を公設民営とする最終答申を提出
- 平成 15 年９月　横浜市会で新病院運営の公設民営化を決定
- 平成 15 年 11 月　横浜市が指定管理者評価委員会を設置
  日本赤十字社が指定管理者提案申込書を横浜市に提出
- 平成 16 年１月　評価委員会が提案書による競争の結果として、「指定管理者として日本赤十字社がふさわしい」との評価報告書を市長に提出
- 平成 16 年２月　横浜市会で日本赤十字社を指定管理者として決定
- 平成 16 年９月　横浜市会で新病院名称を「横浜市立みなと赤十字病院」に決定

・平成 17 年４月　横浜市立みなと赤十字病院が開院
　　初代院長　西岡　清
　　病床数 584 床、23 診療科
　　瀬谷区にあった横浜市小児アレルギーセンター（平成 17 年３月 31 日閉院）の機能を移転
・平成 18 年４月　精神科診療開始（入院は平成 19 年５月から）
・平成 18 年９月　地域医療機関向け広報誌「みなとからの風」発刊
・平成 19 年３月　病院機能評価 Ver5.0 取得
・平成 19 年５月　精神科 50 床運営開始、病床数 634 床
・平成 19 年７月　新潟県中越沖地震発生、救護班派遣
・平成 21 年２月　地域医療支援病院承認
・平成 21 年４月　救命救急センターの指定
・平成 22 年３月　神奈川県ＤＭＡＴ指定病院
・平成 22 年７月　第２代院長　四宮　謙一　就任
・平成 23 年３月　東日本大震災発生、救護班・神奈川ＤＭＡＴ派遣
　　災害備蓄倉庫竣工
・平成 23 年５月　病院広報誌「みなと赤十字病院だより」発刊
・平成 23 年 11 月　がんセンター、がん相談支援センター開設
・平成 24 年３月　病院機能評価 Ver6.0 取得
・平成 24 年４月　地域がん診療連携拠点病院の指定
・平成 24 年７月　地域周産期母子医療センターの認定
・平成 24 年 11 月　病院広報誌リニューアル、「みんなのみなと」発刊
・平成 25 年１月　ＰＥＴ／ＣＴ導入
・平成 25 年４月　標榜科を 23 診療科から 36 診療科へ細分化
・平成 26 年２月　手術支援ロボット「ダ・ヴィンチ」導入
・平成 26 年３月　神奈川県ＤＭＡＴ－Ｌ指定病院
・平成 26 年 11 月　海難事故や災害時に、当院へリポートの使用を第三管区海上保安本部と合意
・平成 27 年４月　臨床試験支援センター開設
　　リハビリテーションセンター開設
　　外傷センター開設
　　心臓病センター開設
・平成 27 年９月　平成 27 年９月関東・東北豪雨発生、
　　救護班・神奈川ＤＭＡＴ派遣
・平成 27 年 10 月　カスタマーリレーションセンター開設
　　新ＭＲＩ導入（PHILIPS 社製 Ingenia 3.0T CX）
・平成 28 年４月　平成 28 年４月熊本地震発生、救護班派遣

・平成 28 年５月　東京国際空港（羽田空港）大韓航空機火災事故に救護班を派遣
・平成 29 年３月　病院機能評価（一般病院２ 3rdG：Ver1.1）取得
・平成 29 年４月　第３代院長　野田　政樹　就任
入院支援センター開設
・平成 29 年６月　人間ドック健診施設機能評価の認定を取得
・平成 30 年２月　横浜市乳がん連携病院に指定
・平成 30 年４月　ハイブリット手術室　稼動開始
ＤＰＣ特定病院群に指定
入院支援センターを入退院支援センターに組織変更
・平成 30 年９月　北海道胆振東部地震発生、救護班派遣
・平成 30 年 10 月　神奈川県アレルギー疾患医療拠点病院に選定
・平成 31 年２月　特定行為研修指定研修機関に指定
・平成 31 年４月　神奈川県難病医療支援病院に指定
・令和元年６月　第４代院長　伊藤　宏　就任
・令和元年９月　京急線・トラック衝突事故に神奈川ＤＭＡＴ派遣
令和元年台風第 15 号災害発生、千葉県に救護班派遣
・令和２年１月　がんゲノム医療連携病院に指定
・令和２年２月　新型コロナウイルス感染症に係るクルーズ船対応にＤＭＡＴ派遣
・令和２年９月　ＪＭＩＰ（外国人患者受入れに関する認証制度）の認証を取得
・令和２年 12 月　横浜市認知症疾患医療センターに指定
・令和３年７月　東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会時の大会関係者受入れ
・令和４年９月　病院機能評価 一般病院 2 3rdG:Ver.2.0 / 高度専門機能「救急医療・災害時の医療」Ver.1.0 認定
・令和５年４月　第５代院長　大川　淳　就任
・令和５年５月　ＪＣＥＰ（卒後臨床研修評価機構）の認証を取得
・令和５年９月　ＪＭＩＰ　Ver2.1　更新
消化器病センター開設
・令和５年 12 月　手術支援ロボット「ダ・ヴィンチＸｉ」導入
・令和６年１月　能登半島地震発生、救護班等派遣
羽田空港航空機衝突事故発生、救護班派遣

１－２　建物図

屋上	ヘリポート
8 階	病棟　コンシェルジュデスク
7 階	A 病棟　B 病棟　C 病棟　D 病棟
6 階	A 病棟　B 病棟　C 病棟　D 病棟　　患者図書室
5 階	A 病棟、C 病棟、D 病棟、NICU、透析室、化学療法センター、精神科外来、めまい・平衡神経科外来、理容室、スキルラボ
4 階	電気室・機械室
3 階	救急病棟、ICU、HCU、手術室、心臓カテーテル室、院長室、副院長室、看護部長室、事務部長室、医局、医局図書室、看護部、事務部、会議室
2 階	健診センター、ブレストセンター、アレルギーセンター、緩和ケア病棟、リウマチ科外来、放射線科（X 線撮影、血管造影、CT、MRI、心臓カテーテル）、内視鏡検査室、検査部（輸血、病理、細菌、検体）、調度課・SPD、ME センター、栄養課、感染管理室
1 階	[各診療科外来] 総合内科（内科、内分泌内科、血液内科、感染症内科） 消化器病センター（消化器内科、外科）、心臓病センター（循環器内科・心臓血管外科）、脳神経センター（脳神経内科・脳神経外科）、麻酔科、呼吸器病センター（呼吸器内科・呼吸器外科）、整形外科、泌尿器科、皮膚科、腎臓内科、耳鼻いんこう科・頭頸部外科、眼科、小児科、産婦人科、形成外科、歯科口腔外科、リハビリテーション科 総合案内、中央待合ホール、医療連携センター（療養・福祉相談室、がん相談支援センター、認知症疾患医療センター）、入退院支援センター 栄養指導室、初診受付、再診受付、再来受付コーナー、処方箋 FAX コーナー、文書受付、自動精算機、保険証確認窓口、会計窓口、薬剤部 中央検査（採血、尿検査、心電図、超音波、筋電図、脳波） 救急外来（入口、受付、診察室、処置室、X 線撮影、CT 室） 正面入口、時間外入口（警備室）、緩和ケア病棟入口、コンビニエンスストア、ATM、カフェ、防災センター
B1 階	放射線科（RI、リニアック、PET/CT）、地下出入口、地下駐車場、霊安室
B2 階	免震ピット

施設基準届出状況一覧

【基本診療料】　令和8年3月31日現在

届出名称	
医療ＤＸ推進体制整備加算	ハイリスク妊娠管理加算
地域歯科診療支援病院歯科初診料	ハイリスク分娩管理加算
歯科外来診療医療安全対策加算2	精神科救急搬送患者地域連携紹介加算
歯科外来診療感染対策加算4	呼吸ケアチーム加算
歯科診療特別対応連携加算	術後疼痛管理チーム加算
一般病棟入院基本料（急性期一般1）	後発医薬品使用体制加算１
急性期充実体制加算1	バイオ後続品使用体制加算
注2 小児・周産期・精神科充実体制加算	病棟薬剤業務実施加算１
救急医療管理加算	病棟薬剤業務実施加算２
超急性期脳卒中加算	データ提出加算２
診療録管理体制加算2	入退院支援加算１
医師事務作業補助体制加算1（25対1）	認知症ケア加算2
急性期看護補助体制加算（25対1加算5割以上）	せん妄ハイリスク患者ケア加算
注2 夜間100対1急性期看護補助体制加算	精神疾患診療体制加算
注4 看護補助体制充実加算1	排尿自立支援加算
看護職員夜間配置加算（12対1加算1）	地域医療体制確保加算
療養環境加算	地域歯科診療支援病院入院加算
重症者等療養環境特別加算	救命救急入院料１
無菌治療室管理加算１	注２精神疾患診断治療初回加算
緩和ケア診療加算	注３救急体制充実加算１
精神科応急入院施設管理加算	注６小児加算
精神病棟入院時医学管理加算	注８早期離床・リハビリテーション加算
精神科身体合併症管理加算	注９早期栄養介入管理加算
摂食障害入院医療管理加算	特定集中治療室管理料１
栄養サポートチーム加算	注１算定上限日数に関する基準
医療安全対策加算１	注２小児加算
感染対策向上加算１	注４早期離床・リハビリテーション加算
注2 指導強化加算	注５早期栄養介入管理加算
患者サポート体制充実加算	ハイケアユニット入院医療管理料１
重症患者初期支援充実加算	注３早期離床・リハビリテーション加算
報告書管理体制加算	注４早期栄養介入管理加算
褥瘡ハイリスク患者ケア加算	小児入院医療管理料３
短期滞在手術等基本料１	緩和ケア病棟入院料１
	精神科救急・合併症入院料

【特掲診療料】

届出名称	
ウイルス疾患指導料	手術用顕微鏡加算
外来栄養食事指導料の注3に規定する施設基準	移植後抗体関連型拒絶反応治療における血漿交換療法
心臓ペースメーカー指導管理料の注5に規定する遠隔モニタリング加算	ストーマ合併症加算
糖尿病合併症管理料	ＣＡＤ／ＣＡＭ冠及びＣＡＤ／ＣＡＭインレー
がん性疼痛緩和指導管理料	皮膚悪性腫瘍センチネルリンパ節生検加算

届出名称	
がん患者指導管理料イ	組織拡張器による再建手術（乳房（再建手術）の場合に限る。）
がん患者指導管理料ロ	緊急整復固定加算及び緊急挿入加算
がん患者指導管理料ハ	椎間板内酵素注入療法
がん患者指導管理料ニ	緊急穿頭血腫除去術
外来緩和ケア管理料	癒着性脊髄くも膜炎手術（脊髄くも膜剥離操作を行うもの）
移植後患者指導管理料（臓器移植後）	脳刺激装置植込術及び脳刺激装置交換術
糖尿病透析予防指導管理料	脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術
小児運動器疾患指導管理料	仙骨神経刺激装置植込術及び仙骨神経刺激装置交換術（便過活動膀胱）
乳腺炎重症化予防ケア・指導料	緑内障手術(緑内障手術（流出路再建術（眼内法）及び水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術
婦人科特定疾患治療管理料	緑内障手術（濾過胞再建術（needle法））
腎代替療法指導管理料	鏡視下咽頭悪性腫瘍手術（軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。）
二次性骨折予防継続管理料１	内喉頭筋内注入術（ボツリヌス毒素によるもの）
二次性骨折予防継続管理料３	鏡視下喉頭悪性腫瘍手術
下肢創傷処置管理料	内視鏡下甲状腺部分切除、腺腫摘出術、内視鏡下バセドウ甲状腺全摘（亜全摘）術（両葉）、内視鏡下副甲状腺（上皮小体）腺腫過形成手術
慢性腎臓病透析予防指導管理料	乳がんセンチネルリンパ節加算１及びセンチネルリンパ節生検（併用）
地域連携小児夜間・休日診療料２	乳がんセンチネルリンパ節加算２及びセンチネルリンパ節生検（単独）
地域連携夜間・休日診療料	乳腺悪性腫瘍手術（乳輪温存乳房切除術（腋窩部郭清を伴わないもの）及び乳輪温存乳房切除術（腋窩部郭清を伴うもの））
院内トリアージ実施料	ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術（乳房切除後）
夜間休日救急搬送医学管理料の注3に規定する救急搬送看護体制加算1	食道縫合術（穿孔、損傷）（内視鏡によるもの）、内視鏡下胃、十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、小腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、結腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、腎（腎盂）腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、尿管腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、膀胱腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、腟腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）
外来放射線照射診療料	経皮的冠動脈形成術（特殊カテーテルによるもの）
外来腫瘍化学療法診療料１	胸腔鏡下弁形成術
注8 連携充実加算	胸腔鏡下弁置換術
注9 がん薬物療法体制充実加算	経カテーテル弁置換術（経心尖大動脈弁置換術及び経皮的大動脈弁置換術）
ニコチン依存症管理料	経皮的僧帽弁クリップ術

届出名称	
開放型病院共同指導料	不整脈手術　左心耳閉鎖術（胸腔鏡下によるもの）
ハイリスク妊産婦共同管理料（Ⅰ）	不整脈手術　左心耳閉鎖術（経カテーテル的手術によるもの）
がん治療連携計画策定料	経皮的中隔心筋焼灼術
外来排尿自立指導料	ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
ハイリスク妊産婦連携指導料１	ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術（リードレスペースメーカー）
肝炎インターフェロン治療計画料	両心室ペースメーカー移植術（心筋電極の場合）及び両心室ペースメーカー交換術（心筋電極の場合）
薬剤管理指導料	両心室ペースメーカー移植術（経静脈電極の場合）及び両心室ペースメーカー交換術（経静脈電極の場合）
医療機器安全管理料１	植込型除細動器移植術（心筋リードを用いるもの）及び植込型除細動器交換術（心筋リードを用いるもの）
医療機器安全管理料２	植込型除細動器移植術（経動脈リードを用いるもの又は皮下植込型リードを用いるもの）、植込型除細動器交換術（その他のもの）及び経動脈電極抜去術
医療機器安全管理料（歯科）	両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術（心筋電極の場合）及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術（心筋電極の場合）
精神科退院時共同指導料2	両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術（経静脈電極の場合）及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術（経静脈電極の場合）
歯科治療時医療管理料	大動脈バルーンパンピング法（IABP法）
救急患者連携搬送料	経皮的循環補助法（ポンプカテーテルを用いたもの）
在宅患者訪問看護・指導料及び同一建物居住者訪問看護・指導料の注2	腹腔鏡下リンパ節群郭清術（側方）
在宅腫瘍治療電場療法指導管理料	内視鏡的逆流防止粘膜切除術
持続血糖測定器加算（間歇注入シリンジポンプと連動する持続血糖測定器を用いる場合）及び皮下連続式グルコース測定	腹腔鏡下十二指腸局所切除術（内視鏡処置を併施するもの）
持続血糖測定器加算（間歇注入シリンジポンプと連動しない持続血糖測定器を用いる場合）	腹腔鏡下胃切除術（単純切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合））
遺伝学的検査の注1に規程する施設基準	腹腔鏡下胃切除術（悪性腫瘍術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの））
染色体検査の注2に規程する基準	腹腔鏡下噴門側胃切除術（単純切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合））
骨髄微小残存病変量測定	腹腔鏡下噴門側胃切除術（悪性腫瘍術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの））
BRCA1／2遺伝子検査	腹腔鏡下胃全摘術（単純切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合））
がんゲノムプロファイリング検査	腹腔鏡下胃全摘術（悪性腫瘍術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの））
先天性代謝異常症検査	バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術

届出名称	
抗ＨＬＡ抗体（スクリーニング検査）及び抗ＨＬＡ抗体（抗体特異性同定検査）	腹腔鏡下胆嚢悪性腫瘍手術（胆嚢床切除を伴うもの）
ＨＰＶ核酸検出及びＨＰＶ核酸検出（簡易ジェノタイプ判定）	胆管悪性腫瘍手術（膵頭十二指腸切除及び肝切除（葉以上）を伴うものに限る。）
ウイルス・細菌核酸多項目同時検出(SARS-CoV-2核酸検出を含まないもの)	体外衝撃波胆石破砕術
ウイルス・細菌核酸多項目同時検出（髄液）	腹腔鏡下肝切除術
検体検査管理加算（Ⅰ）	体外衝撃波膵石破砕術
検体検査管理加算（Ⅱ）	腹腔鏡下膵腫瘍摘出術
遺伝カウンセリング加算	腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術
遺伝性腫瘍カウンセリング加算	早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算	腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
胎児心エコー法	腹腔鏡下直腸切除・切断術（切除術、低位前方切除術及び切断術に限る）（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト	体外衝撃波腎・尿管結石破砕術
ヘッドアップティルト試験	腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの）及び腹腔鏡下尿管悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの）
脳波検査判断料1	膀胱水圧拡張術及びハンナ型間質性膀胱炎手術（経尿道）
単線維筋電図	生体腎移植術
神経学的検査	腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
補聴器適合検査	腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
小児食物アレルギー負荷検査	腹腔鏡下小切開膀胱悪性腫瘍手術
内服・点滴誘発試験	腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの）
有床義歯咀嚼機能検査１のイ	腹腔鏡下仙骨膣固定術
有床義歯咀嚼機能検査１のロ及び咀嚼能力検査	腹腔鏡下仙骨膣固定術（内視鏡手術用支援機器を用いた場合）
画像診断管理加算1	腹腔鏡下子宮瘢痕部修復術
画像診断管理加算2	体外式膜型人工肺管理料
ポジトロン断層撮影（アミロイドＰＥＴイメージング剤を用いた場合を除く。）	医科点数表第2章第10部手術の通則の12に掲げる手術の休日加算1
ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影（アミロイドＰＥＴイメージング剤を用いた場合を除く。）	医科点数表第2章第10部手術の通則の12に掲げる手術の時間外加算1
ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影（アミロイドPETイメージング剤を用いた場合に限る。）	医科点数表第2章第10部手術の通則の12に掲げる手術の深夜加算1
CT撮影及びMRI撮影	医科点数表第2章第10部手術の通則の16に掲げる手術（胃瘻造設術（経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。））

届出名称	
冠動脈CT撮影加算	医科点数表第2章第10部手術の通則の19に掲げる手術（遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する乳房切除術に限る）
外傷全身CT加算	医科点数表第2章第10部手術の通則の19に掲げる手術（遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する子宮附属器腫瘍摘出術）
心臓MRI撮影加算	周術期栄養管理実施加算
乳房MRI撮影加算	輸血管理料Ⅱ
小児鎮静下MRI撮影加算	人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
抗悪性腫瘍剤処方管理加算	胃瘻造設時嚥下機能評価加算
外来化学療法加算１	歯周組織再生誘導手術
無菌製剤処理料	広範囲顎骨支持型装置埋入手術
心大血管疾患リハビリテーション料（Ⅰ）（初期加算・急性期リハビリテーション加算）	歯根端切除手術の注３
脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅰ）（初期加算・急性期リハビリテーション加算）	麻酔管理料(Ⅰ)
運動器リハビリテーション料（Ⅰ）（初期加算・急性期リハビリテーション加算）	注5 周術期薬剤管理加算
呼吸器リハビリテーション料（Ⅰ）（初期加算・急性期リハビリテーション加算）	麻酔管理料（Ⅱ）
摂食機能療法の注３に規定する摂食嚥下機能回復体制加算２	注2 周術期薬剤管理加算
がん患者リハビリテーション料	放射線治療専任加算
歯科口腔リハビリテーション料２	外来放射線治療加算
認知療法・認知行動療法１	高エネルギー放射線治療
抗精神病特定薬剤治療指導管理料（治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。）	１回線量増加加算
医療保護入院等診療料	画像誘導放射線治療　（ＩＧＲＴ）
医科点数表第2章第9部処置の通則の5に掲げる処置の休日加算1	体外照射呼吸性移動対策加算
医科点数表第2章第9部処置の通則の5に掲げる処置の時間外加算1	定位放射線治療
医科点数表第2章第9部処置の通則の5に掲げる処置の深夜加算1	定位放射線治療呼吸性移動対策加算
静脈圧迫処置（慢性静脈不全に対するもの）	病理診断管理加算１
多血小板血漿処置	悪性腫瘍病理組織標本加算
硬膜外自家血注入	クラウン・ブリッジ維持管理料
エタノールの局所注入（甲状腺）	看護職員処遇改善評価料
エタノールの局所注入（副甲状腺）	外来・在宅ベースアップ評価料（Ⅰ）
人工腎臓	歯科外来・在宅ベースアップ評価料（Ⅰ）
導入期加算２及び腎代替療法実績加算	入院ベースアップ評価料
透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算	

届出名称

【その他】

入院時食事療養（Ⅰ）	酸素の購入単価

【保険外併用療養費】

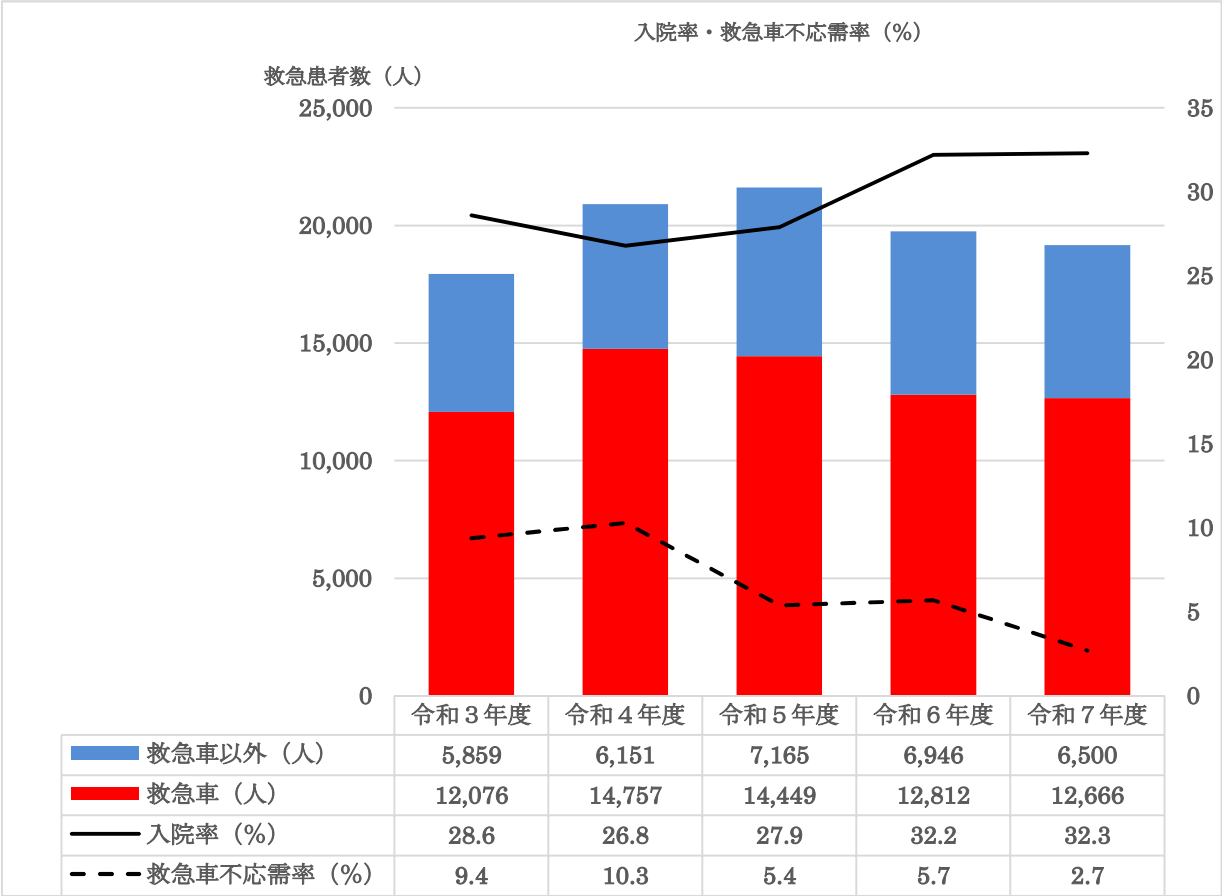
入院医療に係る特別の療養環境の提供	特定機能病院、地域医療支援病院及び紹介受診重点医療機関の再診
特定機能病院、地域医療支援病院及び外来機能報告対象病院の初診	入院期間が180日を超える入院

２　政策的医療

２－１　24 時間 365 日の救急医療及び二次救急医療

１　データ

来院経路別救急患者数と入院率・救急車不応需率



	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
救急車以外（人）	5,859	6,151	7,165	6,946	6,500
救急車（人）	12,076	14,757	14,449	12,812	12,666
入院率（%）	28.6	26.8	27.9	32.2	32.3
救急車不応需率（%）	9.4	10.3	5.4	5.7	2.7

２　成果

令和７年度の救急車による受入患者数は 12,666 名であり、前年度からわずかに減少した。救急車受入要請の不応需率は、2.7%（347 人）と大きく低下した。新型コロナウイルス感染症に伴う救急搬送困難が落ち着き、従来の定常状態に戻ったと言える。救急患者全体の入院率は、32.3%と前年度とほぼ同じであった。

令和７年も全国救命救急センター充実段階評価において、最上位のＳ評価（全国で 110 施設、横浜市内で７施設）を受け、８年連続のＳ評価となった。また令和８年３月には救急外来拡張再整備が終わり、救急診療エリアが拡張したのみならず、機能的にも使いやすくなった。救急救命士を雇用し、病院救急車を使っていわゆる上り下りともに転院搬送を行なっている。引き続き、地域医療の砦としての役割を果たしていきたい。

３　課題

令和８年度はドクターカー事業の開始を計画しており、とくに関連スタッフの教育・研修が課題である。

２－２　小児救急医療

１　データ・成果

	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
小児科救急患者数	1,947 人	2,330 人	2,100 人	1,509 人
うち、入院患者数	323 人	365 人	438 人	324 人
救急車受入件数	1,161 件	1,159 件	1,016 件	912 件
新入院患者数	852 人	967 人	1,169 人	968 人
虐待防止対策委員会	定例会 2 回	定例会 2 回	定例会 2 回	定例会 2 回
（旧：児童虐待防止委員会）	臨時 3 回	通告 6 件	通告 6 件	通告 19 件

新型コロナウイルス 5 類移行後、感染症の流行が持続し、近隣小児病床の閉鎖もあり受診、入院ともに増加している。しかし、小児人口の減少は加速しており、今後、救急患者数は減少していくものと推測する。

地域の小児救急患者には適切に対応している。

	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度
新生児 搬送受入数	4	7	7	3

神奈川県周産期医療体制整備計画等により横浜市内のＮＩＣＵは充足している。また、総合周産期母子医療センター（基幹病院）のＮＩＣＵ増床もあり、基幹病院で受入困難な新生児搬送は減少している。基幹病院のＮＩＣＵに余裕があるため基幹病院から中核病院へのバックトランスファーも減少していると考えられる。平成 29 年度にＮＩＣＵ加算２の要件を満たせず同算を取り下げたことにより看護体制が手薄になり、新生児科医の不在により更に受入れが難しくなるなど悪循環となっている。

地域では支援が必要な家庭は増加していると推定されている。不適切な療育が疑われる受診には、医療社会事業課を通じ、在住区への情報提供を行っている。

２　課題

予防接種の普及、少子化による小児急性期疾患の患児は、今後、減少していくものと予想される。小児科における 24 時間、365 日の小児救急対応に必要な小児科医師数には変わりはないが、患者数の減少による収益減少への対応が課題である。また、当院だけでなく広域な小児救急医療体制の再考が必要になってくる。

２－３　周産期救急医療

１　データ

周産期救急医療は主に母体搬送や新生児搬送であるが、妊娠中の卵巣嚢腫茎捻転、虫垂炎、頭蓋内疾患、感染性疾患もときにある。また、未受診妊婦のいわゆる飛び込み分娩、自宅分娩なども含まれる。更に精神疾患、身体疾患合併妊婦の受入れも医療連携として必要時に応需しており、これは広義の周産期救急に当てはまる。

当院の周産期担当（産婦人科、小児科）は「横浜市民が安心して分娩できる環境を整えることで、地域の周産期医療に貢献する」という目標を掲げ、診療にあたっている。

平成 24 年 7 月 25 日付で当院は地域周産期母子医療センターに指定され、産科と小児科（NICU）の協力のもと、他の産科施設からの母体搬送の受入れを中心として、周産期に係る比較的高度な医療行為を行うことができる医療施設として横浜市の周産期医療の一翼を担っている。

なお、母体搬送受入れの基準は妊娠 34 週以降、推定体重 1,500g 以上としている。

＜母体搬送受入れ数＞

2022 年度　5 件
2023 年度　5 件
2024 年度　9 件
2025 年度　8 件

＜母体搬送数＞

2022 年度　13 件
2023 年度　10 件
2024 年度　17 件
2025 年度　8 件

＜分娩総数＞

2022 年度　554 件
2023 年度　532 件
2024 年度　540 件
2025 年度　437 件

	救急患者数	救急車受入	入院患者数
2022 年度	519	78	335

2023 年度	472	71	324
2024 年度	428	68	287
2025 年度	409	110	242

２　成果

分娩総数は数年ほぼ一定数を維持していたが昨年度は 2 割程度減少した。長期的に見れば一般的な減少傾向の範囲だが、近隣住民、医療機関に当院での分娩の魅力を発信する必要があると考えられる。

産科は 24 時間 365 日の体制で当直・オンコール体制を組み、緊急手術もいつでも対応できる体制をとっている。これには、産科、小児科のみならず、救急外来、手術室、麻酔科、他科も協力の上で成り立っている。「横浜市民が安心して分娩できる環境を整えることで、地域の周産期医療に貢献する」という、事業目標に対して、医療の質の面では十分に目標を果たしている。

３　課題

ハイリスク妊娠の対応が当院の重要な役割であり、日々体制の充実をはかる責務がある。母体搬送の受入だけではなく三次救急医療指定機関でもあり、母体救命への応需も拡大できる可能性がある。この実現にも多分野の連携、充実が不可欠である。

当院の周産期医療の特色として、早期から無痛分娩導入していたこと、助産師外来、セミオープンシステムによる地域連携での周産期管理が挙げられる。無痛分娩については徐々に普及が始まっている状況であり、当院の強みを活かすには院内では麻酔科、看護部など各部門との連携のさらなる強化をはかり、また、顔の見える医療連携を強化することにより周産期医療の質の向上、満足度の向上を図りたい。

２－４　精神科救急医療

１　データ

令和７年度実績

	受入れ数		入院形態			転帰		
	受診数	入院数	措置	医保	任意	転院	退院	その他
３次救急	22	20	20	0	0	18	2	0
２次救急	5	4	－	4	0	3	1	0

精神科救急受診数の推移（年度別）

	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
３次救急	37	32	24	29	27	22	20	23	22
２次救急	11	8	7	8	6	6	8	8	4

２　成果

・実施要項に準じて人員を配置し、精神科救急医療を滞りなく行えた。

・政策医療とは別に、自殺企図例などで救急病棟より精神科病棟に入院する例も多い。

３　課題

・精神科救急医療を掲げているが、実際は身体合併症がある精神科救急患者が選択的に送られてくる問題がある。また、そのような身体合併症があるケースの後方転送が滞る状況が依然続いている。

・県立精神医療センターに措置入院となった直後に身体合併症が判明し数日のうちに当院に転院となるケースが多く見られた。下り搬送を要するため救急ベッドの柔軟な運用が求められる。

・救急部を受診したが身体的な問題はなく、精神症状のみ入院適応がある患者がいる。当院の精神科病棟が満床の場合に、受入れ先の調整に苦慮することがある。

・精神保健福祉法、特に 23 条通報に関する警察の理解ならびに診察命令を出す行政の理解認識と現場の感覚にずれがあり、自傷他害のおそれが高くても通報がされず現場での対応に困ったり、通報されても措置診察にならずソフト救急に乗ってくるなどの問題点があるため基幹病院、行政、警察の定期的な意見交換が必要である。

２－５　精神科身体合併症医療

１　データ

		令和５年度	令和６年度	令和７年度
３病院入院数		67	61	59
当院受入れ数		59	59	56
当院入院数		53	57	48
平均在院日数		17.8	21.6	18.2
転帰	依頼元病院	47	47	29
	他病院	3	8	12
	退院	1	0	1
	入院中	0	0	3
	死亡	2	2	3

２　成果

・平成 20 年度以降、当院の年間の受入れ数は身体合併症転院事業の７～８割にあたるが､令和７年度も入院総数の８割以上を受け入れることができた。
・この他、時間外に行政を介さずに受け入れた症例もある。

３　課題

・引き続き、身体科医師の協力体制のもとで同事業を円滑に進める。
・保護室が必要な症例に関して、精神科救急ベッドの空床状況によっては受入れが困難になる場合がある。

２－６　緩和ケア医療

１　データ

（1）緩和ケアチーム実績

		令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
緩和ケアチームへの依頼数	新規	180 件	171 件	167 件
	継続	9 件	7 件	10 件
	延べ件数	2735 件	3467 件	2915 件

緩和ケアチームへの依頼内容

疼痛・嘔気・呼吸困難などの身体ケア　　97%

せん妄・抑うつ・不眠などの精神的ケア　　3%

（２）緩和ケア専門外来実績

	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
初診	10 件	6 件	5 件
再診	108 件	154 件	140 件
延べ件数	118 件	160 件	152 件

緩和ケア専門外来への依頼内容

疼痛 100%

（３）緩和ケア病棟実績

	令 5 和年度	令和 6 年度	令和 7 年度
入院患者数	休床中	205 件	185 件
入院相談外来数	―	341 件	387 件
平均在院日数	―	18.1 日	21.2 日

２　成果

・入院患者への緩和ケアについて、緩和ケアチームが介入を行うことで院内の多職種連及び地域との連携を促進することができた。

・心不全・呼吸不全・腎不全をはじめとする非がん患者への緩和ケア介入も積極的に対応を行った。

・意思決定支援チームと連携し、倫理的ジレンマを抱える患者・家族の支援や多職種での意思決定支援を促進した。

・外来化学療法室、放射線治療室と緩和ケアチームが情報を共有し、治療内容や時期に応じた緩和ケアの提供や意思決定支援を行った。

・緩和ケアの質の向上のため、緩和ケア研修会を令和8年2月に開催した。

・連携病院と協働し、地域の医療・介護福祉職を対象に「みんなの緩和ケア勉強会」を令和7年11月に実施し、地域における緩和ケアの啓発・普及を行った。

・みなとセミナーを令和8年3月に開催し、地域の医療職を対象に緩和ケアにおける地域連携について交流機会を設けた。

・緩和ケア病棟の在院日数を近隣の緩和ケア病棟に合わせるべく延長に取り組み、稼働を上げ、患者・家族の望む最期を迎えられるように調整した。

・緩和ケア病棟では、地域のバックベッドとしての機能を担い、緩和ケア病棟から在宅への退院支援など患者・家族の望む療養に関する意思決定支援や地域連携を実施した。

3　課題

・緩和ケアチームの診療対象としてがん、心不全末期に加え慢性呼吸不全末期、慢性腎不全末期が追加となるため、院内での啓発活動を行うとともに慢性呼吸不全・慢性腎不全患者の緩和ケアに関するエビデンスの確認と共有を行う。

・緩和ケアに関する講習会や勉強会、研修会を開催し、地域医療との交流機会を定期的に設けるよう努める。

・緩和ケア病棟について近隣医療機関及び地域への周知をさらに強化し、利用の促進を図る。

・がん患者へのアドバンスケアプランニングについて、地域を巻き込んだ教育・普及を行い、療養の場としての機能も担うことで地域包括ケアシステムの推進に貢献する。

２－７　アレルギー疾患医療

１　データ（令和３年度～令和７年度比較）

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和６年度	令和７年度
外来アレルギー患者数（延べ数）	20,128 人	20,514 人	20,789 人	19,992 人	19,963 人
呼気一酸化窒素測定	1,530 件	1,904 件	2,305 件	1,313 件	1407 件
気道過敏性試験	0 件*	0 件*	1 件	7 件	3 件
プリックテスト	152 件	119 件	108 件	74 件	105 件
エピペン処方数	528 件	582 件	609 件	687 件	586 件
喘息カンファレンス	0 回*	6 回	6 回	6 回	6 回
食物･薬物アレルギーカンファレンス	2 回	6 回	6 回	6 回	6 回
食物アレルギー研修	63 回	51 回	25 回	32 回	46 回
講演会	1 回	1 回	1 回	1 回	19 回
みなとセミナー	1 回	1 回	1 回	2 回	3 回
市民フォーラム	1 回	1 回	0 回*	0 回*	1 回
患者教室	8 回	8 回	8 回	10 回	11 回
誌上発表	14 件	7 件	7 件	4 件	5 件
学会発表	27 件	13 件	9 件	9 件	19 件
新薬開発治験	5 件	5 件	13 件	17 件	12 件
自主臨床試験	1 件	4 件	13 件	12 件	11 件

＊　新型コロナウイルス感染予防のため中止

２　成果

保育所や学校等からの相談、市民への情報提供、啓発活動が継続して行えるよう、対面だけではなく、動画配信やリモートを併用し実施した。

近年増えつつある食物アレルギー患者、アナフィラキシーの既往のある患者については、当院救急部からの入院患者や、地域の医療機関からの紹介も増え、エピペン処方・指導数は増加している。

臨床研究については、継続中の ARMS 研究（遠隔医療）と EARTH 研究（環境アレルギー）の組み合わせによる「個別喘息予報」を平成 28 年度より配信してきたが、情報発信への需要の減少や、ＷＥＢなどにより代替可能であることを踏まえ、令和７年度で事業終了した。今後は、患者さんの予防活動の支援や市の情報発信事業への助言等に事業を移行する予定である。

平成 30 年 10 月に選定された神奈川県アレルギー疾患医療拠点病院として、神奈川県および川崎市からのアレルギー疾患政策医療への協力要請にも対応している。

以前に設置済の大型アレルギー検査機器は令和 5 年 10 月から稼働し、院内で特異的 IgE 抗体検査を行えるようになった。これにより以前よりも早く検査結果が出るようになっている。今後項目数を順次増やしていく予定である。

また、従来からの患者個々に作成している紙ベースで運用していた食物日誌（食物内容･アレルギー症状日誌）をもとにアプリで記録できるよう、「FAROme」を開発した。食物アレルギーや薬物過敏症における PHR を一元的に管理する

ことができるアプリとなり、分析したデータを患者だけでなく地域医療機関へ還元し、地域全体の医療の質向上を目的としており、令和７年５月より運用開始しており、現在アレルギー科で運用している。今後は他の科でも運用を開始し、診療の質向上に努めていく。

令和７年度の新たな取り組みとして、市民向けのイベントとして「こどもの食物アレルギー市民フォーラム」を開催し、「料理教室」、「市民講座」を実施した。市民へのアレルギー疾患の普及啓発事業として今後も継続予定である。また、昨年度に引き続き、地域のアレルギーケアに関わる医療従事者・施設勤務者対象に、当院と他医療機関の小児アレルギーエデュケーターが主催の「アレルギーケア研修会」（みなとセミナー）を行った。アレルギー診療従事者の現場の悩みや疑問へのアドバイスや意見交換の場として今後も継続予定である。

３　課題

日本専門医機構の新専門医制度では、未だアレルギー専門医の認定が始まっていないが、引き続きアレルギー科、呼吸器内科、皮膚科、耳鼻咽喉科、リウマチ内科のアレルギー専門医・指導医、リウマチ専門医・指導医の確保と育成に努めることにより市民の需要に応えていく。

２－８　障害児者合併症医療

１　データ

	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R７年度
入院患者延べ人数	292 名	444 名	475 名	386 名
入院患者実人数	9 名	9 名	13 名	6 名
１患者あたり 入院回数	1～3 回	1～4 回	1～5 回	1-6 回
年　　齢	3～31 歳	3～32 歳	4～33 歳	5-34 歳
メディカルショートステイ利用者数	4 名	4 名	7 名	7 名
障害児者委員会	年 2 回 開催	年 2 回 開催	年 2 回 開催	年 3 回 開催

２　成果

当院において行われる障害児者への医療提供が円滑に行われることを目的とし、障害児者医療検討委員会を開催し、その内容を検討した。また、重度心身障害児者の理解を深めるため、障害児者医療検討委員会発信で、メディカルショートステイについてのポスターを作成し、広報活動を行った。

３　現状と課題

障害児者医療への職員の研修啓発に努めるとともに、地域の障害児者医療を担う医療機関との連携を図りながら、横浜市重症心身障害児者メディカルショートステイシステムの協力病院として対象患者の受入れを継続する。

２－９　災害時医療

１　救護活動等の状況

（１）医療救護班等の派遣状況

横浜救急医療チーム（YMAT）の出動状況

横浜市内の救急・事故事案等に６件出動

（２）災害救護に関する訓練・研修会等への実施・参加状況

ア　当院主催訓練・研修

・横浜市立みなと赤十字病院総合防災訓練　１回　197 人

・救護車両運転訓練　１回　３人

イ　赤十字関連訓練・研修

・救護班主事基礎研修　１回　11 人

・救護班要員教育訓練　１回　８人

・救護員としての赤十字看護師養成研修　３回　65 人

・こころのケア研修　３回　34 人

ウ　行政等主催訓練・研修

・九都県市総合防災訓練　２回　16 人

・大規模地震時医療活動訓練　１回　６人

・神奈川県災害時通信訓練　10 回　19 人

・神奈川県防災行政通信網受電訓練　６回　９人

・神奈川県原子力災害医療基礎研修　２回　５人

・神奈川県災害時医療救護活動研修会　１回　２人

エ　他団体、他機関主催訓練・研修

・航空機事故対処総合訓練　１回　８人

・DMAT 隊員養成研修　１回　１人

・神奈川 DMAT-L 隊員養成研修　２回　６人

・かながわ DPAT 隊員養成研修　１回　３人

・統括 DMAT 登録者技能維持・ロジスティクス研修　１回　１人

・DMAT 技能維持研修　３回　５人

・かながわ DPAT 技能維持研修　１回　１人

・関東ブロック DMAT 訓練　１回　６人

・第三級陸上特殊無線技士　１回　１人

・フォークリフト操縦資格　２回　２人

（３）救護体制及び主要資機材

ア　医療救護班

・救護班７班（医師７人、看護師 21 人、薬剤師７人、主事 14 人）

・日本 DMAT4 チーム[注1]　（医師６人、看護師 11 人、業務調整員４人）

・神奈川 DMAT-L　４チーム[注2]（医師８人、看護師 12 人、業務調整員９人）

・かながわ DPAT　隊員 12 人（医師１人、看護師 11 人、業務調整員９人）

・YMAT（横浜救急医療チーム）　隊員 37 人（医師 20 人、看護師 17 人）

※注１：日本 DMAT のチーム数は、日本 DMAT 活動要領の「DMAT１隊の構成は、医師 1 人、看護師 2 人、業務調整員 1 人の 4 人」に基づき、同時に編成が可能なチーム数。

※注２：神奈川 DMAT-L のチーム数は、神奈川 DMAT-L 運営要綱の「医師、看護師、業務調整員からなる 1 チーム 5 人編成を基本とする。」に基づき、各職種最低１人以上で同時に編成が可能なチーム数。

イ　救護資機材等

救急車 2 台、救援車両 3 台、救護班用医療セット 1 式、DMAT 標準医療資機材１式、YMAT 資機材１式、日赤業務無線機等 25 台、神奈川県 MCA 無線１台、横浜市 MCA 無線 1 台、衛星電話１台（庁舎設置)、衛星携帯電話２台、（可搬型１台、救急車積載１台)、可搬型衛星 Wi-fi 装置（横浜市貸与）１台、設置型衛星 Wi-Fi 装置 1 台、デジタル個人線量計 28 台、簡易ベッド 540 台、NBC 災害除染セット１式、ドラッシュテント１式、エアーテント１式、イージーアップテント 5 式、発動発電機 6 台、大容量ポータブル蓄電池 2 台、下水直結型災害用トイレ 5 基、患者用非常食 3 日分、職員用非常食 3 日分

２　成果

・災害に係る各種隊員養成研修に参加し、日本 DMAT、神奈川 DMAT-L、かながわ DPAT、YMAT（横浜救急医療チーム）の隊員を増員することができ、災害や救急への対応がより強固となった。

・災害に係る訓練や研修会に積極的に参加し、災害時に必要な技能の維持や新しい知識などを習得することができた。

３　課題

災害時に関係機関が連携して活動するためには、日頃から顔の見える関係を築いておくことが重要と言われている。

当院でも関係機関との訓練、研修、会議等を通じ、日頃から地域の関係者と顔の見える関係を構築し、災害時には災害拠点病院としての機能を発揮して地域の災害医療に貢献できるよう取り組んできた。

首都直下地震や南海トラフ地震対策強化や近年増加している局所的な水害などの対応などと並行していかに地域や機関と連携をしていくか、また、人材の育成や技能の維持向上について関係機関と共に検討する。

２－10　市民の健康危機への対応

１　データ・成果

（１）新興感染症対策

新興感染症への対応については、特定の感染症に限定することなく、平時からの備えを重視した体制整備に取り組んだ。感染症発生時における受入体制の強化を目的として、陰圧機能を有する病室を新たに 3 室増設した。また、「新型インフルエンザ等ガイドライン」を作成し、発生時における対応手順の明確化を図った。さらに、行政機関や地域医療機関と連携して海外からの輸入感染症の発生を想定し、地域における麻疹発生時の初期対応に関するレクチャーを実施するなど、実践的な対応力の向上に努めた。加えて、標準予防策の徹底や職員研修の実施により、平時からの感染対策の維持・向上を図った。

２　課題

感染症流行期以外における対策意識の維持が課題である。横浜市新型インフルエンザ等対策医療関係者連絡会と連携して、必要に応じて資器材・抗インフルエンザ薬の整備・備蓄を進めるとともに、継続的な研修や点検を行っていく。

３　指定管理者独自の取組

３－１　自動搬送ロボットの導入

１　導入への経緯【施設課】

2005 年に開院してから 20 年が経過し、院内の物品搬送用自走台車での搬送（以下、リニア搬送）は設備更新の必要性が生じました。

一部の補修部品は生産が終了しており、自走台車は大きく減少していることからリニア搬送に代わる別の搬送手段を検討。検討していく中で安全性、コスト、搬送能力を検討した結果、川崎重工業製「FORRO」の導入を決定しました。

２　稼働実績及び効果

⑴実績【施設課】

・年間の各月稼働数

年　月	配送回数
2025 年 7 月	132 回
2025 年 8 月	449 回
2025 年 9 月	727 回
2025 年 10 月	903 回
2025 年 11 月	767 回
2025 年 12 月	1271 回
2026 年 1 月	1467 回
2026 年 2 月	1409 回
2026 年 3 月	1512 回

・導入による効果

リニア搬送の一部を代替、メッセンジャー1 名の業務を代替

⑵写真等【広報推進課】



3　課題【施設課】

・薬剤部での搬送需要に対する過不足検証

・受取に関するトラブル対策

３－２　医療 DX の推進

１　導入の背景

(1)Web 予約導入について【医療連携課】

電話のみの対応では受付時間が限定されること、時間帯により電話が集中することで応答までに時間を要することを解消するために導入を決定した。この方針の下、令和７年４月から初診予約機能限定で Web 予約システムを導入した。

(2)診療費後払いシステムの導入について【医療情報課】

外来診療後、会計窓口にて会計待ちの行列が出来ており、待ち時間が長い問題があった。待ち時間短縮を図るため、後払いシステムを導入した。

(3)ナースコールシステムの導入について【施設課】

もともと医療安全対策の一環として、注意が必要な患者を撮影し経過を観察する「見守りカメラ」の導入が検討されていたが、一方ナースコール設備一式が導入から時が経過し更新時期に差し掛かっていたため、ナースコール設備の更新と見守りカメラの導入を併せて行うこととした。

２　稼働実績及び効果について

(1)Web 予約の実績について【医療連携課】

・年間の各月稼働数（オンライン手続き件数転記）

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
144	299	325	329	366	442	446	420	316	372	309	384

・導入による効果

２４時間予約受付が可能となり、電話のピークタイムカットに寄与。電話待機時間の短縮にもつながり、患者満足度向上にもつながっている。システムを使用することで予約処理に時間的余裕を持つことができ、新人教育のツールとしても有用である。

(2)診療費後払いシステムの実績（R7.12.8～）について【医療情報課】

・各月稼働数

月	12 月	1 月	2 月	3 月
アプリ登録	762	306	177	77
後払い実績	742	983	910	912

・導入による効果

会計待ち患者様数減少による会計待ち行列の解消と後払いシステムによる会計待ち時間の短縮が図れる。予約日時の確認や診療データ等アプリ内で確認することが可能となり予約前日にはリマインド通知による受診忘れ防止に繋がる。

(3)ナースコールシステムによる効果【施設課】

見守りカメラの導入による医療安全の向上、デジタル化推進に伴う業務の効率化（ナースコール情報のスマートフォン連動及び病室前への患者名表示機器の導入等）

3　各課題

(1) Web 予約の課題【医療連携課】

現状、初診予約機能のみ稼働しているため、予約変更機能の導入が課題である。本件については令和８年４月末に導入を調整している。

(2) 診療費後払いシステムの課題【医療情報課】

・クレジットカード引き落としの関係上、0 円会計（公費等）の処理が行えない。
・後日会計の為、領収書を後日取りに来ないといけない。

(3)ナースコールシステムの課題【施設課】

・ナースコールシステムの導入業者が変わったので、動作に慣れるまで時間が必要である。
・見守りカメラは当院で初の採用となるので、運用方法の決定や動作の習得に励まなければならない。

４　　地域医療の質の向上に向けた取組

４－１　医療における安全管理（安全）

１　データ

（１） 令和 7 年度のインシデントレポート報告件数は 4315 件であった。インシデントレポート年間報告件数は前年度より 65 件減少した。

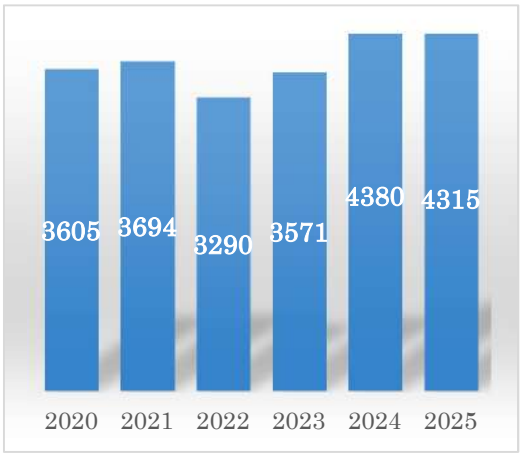
（２） レベル 3ｂ以上の報告件数は 119 件となり、15 件増加した。特に、治療・処置が増加した。

（３） 項目別では薬剤、療養上の世話、ドレーン・チューブの順で多く、療養上の世話が、ドレーン・チューブを上回って増加した。

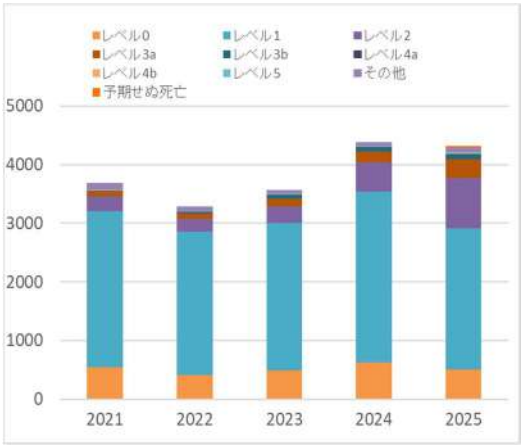
（４） 職種別では医師の報告件数は 303 件、報告率は 7.0%であった。その他、栄養士（前年比 233%）、事務職員（前年比 160%）、クラーク（前年比 137%）の報告が増加した。

（５） 令和 7 年度 10 月より予期せぬ死亡報告の運用を開始し、26 件の報告があった。

■　年度別総報告数



■　レベル別報告



■　項目別報告数



■　職種別報告



２　成果

（１）　医師によるレベル３ｂ以上の報告数は73件と前年度より17件増加した。治療・処置等の合併症報告が増加しており、合併症報告が適切になされていた結果と考える。

（２）　医療安全管理委員会とRM委員会は、毎月1回開催した。

（３）　医療事故調査・支援センターへの報告を3件実施した。

（４）　10月より､インシデントレポートシステムを活用した予期せぬ死亡患者報告の運用を開始し、計26件の報告があった。

（５）　患者影響度の高い事例に関する事例検討会を年11回開催した。

（６）　医療安全ラウンドを全部署実施し、環境面や運用面における 34 項目の指摘事項のうち18項目の改善がされ安全な環境確保につなげられた。

（７）　コードハリーメディカルラリー（急変対応研修）を1回実施した。

（８）　令和7年度全職員対象安全研修会を2回実施した。第1回、第2回ともに対面式とオンライン併用とし、参加率はそれぞれ100%であった。

（９）　医療職対象医薬品医療機器安全研修会を実施した。また、新任 RM 対象の安全研修会を全8回開催した。

（10）　安全管理マニュアルの定期改訂と新規追加 1 項目、改訂 5 項目を実施。

（11）　全職員に対する医療安全情報の提供を目的とした医療安全 News の定期発行を開始し、全12回発行した。

（12）　令和7年度のRRS-Ⅰの起動総件数は128件であった。システム運用上の問題点等は会議で検証されシステムの適正運用が図れていた。

（13）　令和7年度のRRS-Ⅱの起動総件数は23件であった。休日ラウンドを開始し、緊急入院後の状態悪化による急変の可能性を早期にキャッチでき適切に対応できる体制が構築された。

（14）　CVCチームでは、全部署におけるCVC挿入時のタイムアウト導入開始後の評価を行い、タイムアウト実施率は95.6%であった。

（15）　報告書管理チームでは、重要報告書の赤・黄フラグ運用を開始した。また、未確認レポートが多い診療科へは 14 日以内の確認を徹底するよう注意喚起を行った。

（16）　インシデントレポート活用チームでは、毎月レベル0事例の中から、次のレベル（アクシデント等）に至らなかったレポートを取り上げ、要因分析と未然防止対策を検討した。毎月、最も重要度の高い事例を“thank you レポート賞”とし、令和7年度は12名の事例報告者を表彰した。

（17）　モニターアラーム対応適正化チームによる生体モニターアラーム対応の現状調査と分析を実施し、各部署へフィードバックした。

（18）　与薬、転倒・転落に関する定期調査を実施した。

３　課題

（１）マニュアル等の更新と周知徹底

（２）医師によるインシデントレポート報告件数の増加

（３）転倒・転落による患者影響レベル3b以上のアクシデント減少

（４）放射線、病理画像診断未読レポートの減少

（５）患者誤認防止対策の強化

（６）説明同意書の強化とプロセスの見直し

（７）レベル0事例を活用したインシデント未然防止の推進

４－２　医療における安全管理（感染）

１　データ

抗菌薬適正使用支援

(1)介入件数および受託率

年度	2022	2023	2024	2025
介入件数（件）	225	462	913	987
受諾（%）	182（81）	381（82）	770（84）	893（91）
一部受諾（%）	8（3）	27（6）	66（7）	52（5）
拒否（%）	30（13）	51（11）	77（10）	42（4）
その他（%）	5（2）	3（1）	0（0）	0（0）

(2)転帰

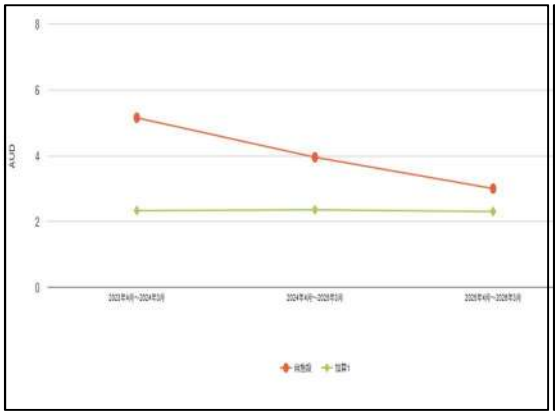
年度	2022	2023	2024	2025
介入件数（件）	171	451	628	671
退院・転院（%）	152（89）	400（89）	560（89）	603(89)
死亡（%）	19（11）	51（11）	68（11）	68(10)

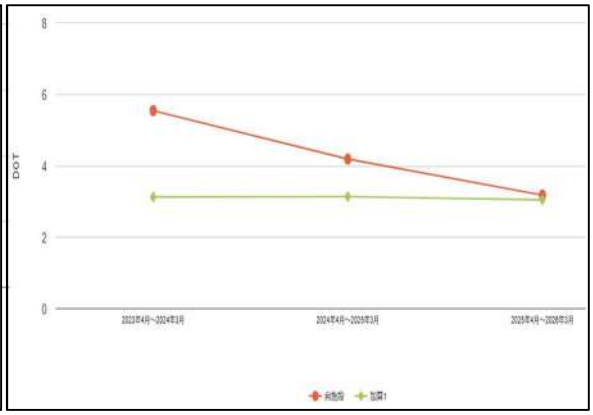
(3) ピペラシリン・タゾバクタムの AUD および DOT（3 年推移）

【期間：2023 年 04 月～2026 年 03 月】表示対象：自施設　比較対象：加算 1

AUD：(使用量÷**規定１日投与量**）÷在院患者延数×100、DOT：使用日数÷在院患者延数×100

【抗菌薬使用密度:AUD】　　**【抗菌薬使用日数**:DOT】





全職員対象感染研修会実施状況

	第１回(7 月)	第２回（2 月）
テーマ	感染対策の概論/標準予防策 コロナワクチンとインフルエンザ	平時から取り組む感染対策について ・標準予防策と経路別予防策 ・当院における抗菌薬使用状況の報告
受講率	100%	100%

２　成果

(1) 平時の感染管理

・感染制御チームにより院内巡回を年間 50 回実施した。部署の問題点を明らかにし、改善に向けて取り組みを行った。

・院内すべての職員に対して感染研修会を実施した。

(2) サーベイランス

・厚生労働省院内感染対策サーベイランス事業(JANIS)検査部門サーベイランスに参加している。感染症発生動向を監視し耐性菌検出時は、タイムリーに現場の感染対策を確認できており、アウトブレイクを起こさなかった。

・医療関連感染サーベイランスを実施し、日常的に感染症の発生状況を把握した。ベンチマークデータを他施設と比較し感染対策の改善に向けて活動した。

(3) 地域連携

・感染対策向上加算Ⅱ・Ⅲ、外来感染対策向上加算連携施設と４回/年の合同カンファレンスを実施し感染症におけるトピックスを連携施設へ情報提供することができた。また、新興感染症を想定したレクチャーとして防護具着脱訓練を行った。

・連携施設を現地訪問（4 回/年）し、感染対策ラウンドを実施した。連携施設が抱える感染対策上の問題点について検討し改善につなげることができた。

・感染対策向上加算Ⅰの同規模病院と相互ラウンドを行い自施設の感染対策を見直す機会とした。

(4) 抗菌薬適正使用支援チーム(AST)

・当院の現状として特にピペラシリン・タゾバクタムの使用量および投与日数が他施設と比較し高値であったため、開始 4 日目以上の症例に対し早期介入を継続し、同規模施設の AUD および DOT と同程度まで低下した。

・AST 介入件数は 2024 年度と比較して増加傾向となり、受諾率は 96%へと上昇したが転帰に大きな変化はなかった。

・感染対策連携共通プラットフォーム(J-SIPHE)のデータを用いて今年は外来抗菌薬の使用状況を確認し、マクロライド系、第 3 世代セフェム系、キノロン系抗菌薬の使用状況を把握した

・マクロライド系抗菌薬の当院における使用状況を把握し、処方量の多い診療科への長期処方(気管支拡張症や慢性副鼻腔炎、COPD など)への定期的な処方に対する見直しへの介入や当院外来症例の処方状況の把握を行い、フィードバックを行った。

３　課題

(1) 標準予防策・感染経路別予防策周知徹底のため職員教育を継続して行う。

(2) 地域連携を継続して行い、地域の感染管理活動に貢献する。

(3) 手指衛生推進を図り遵守率を向上させる。

(4) J-SIPHE のフィードバックデータを活用し、感染対策の質向上に努める。

(5) 当院の KPI 指標にタゾピペ使用量(DOT)を 2-3 程度まで低下させるという目標設定とされたことから、今後の AST 活動の展開を検討していく必要がある。

４－３　医療倫理に基づく医療の提供

１　医療倫理委員会の開催状況

（１）令和５年度

	開催日	申請事案
1	4 月 21 日～5 月 10 日	18 件
2	6 月 30 日～7 月 14 日	13 件
3	9 月 1 日～9 月 15 日	13 件
4	10 月 20 日～11 月 2 日	4 件
5	令和 5 年 12 月 22 日（対面審議）	27 件
6	令和 6 年 2 月 16 日～2 月 26 日	9 件
7	2 月 27 日～3 月 5 日（臨時開催）	1 件
計		85 件

（２）令和６年度

	開催日	申請事案
1	4 月 19 日～4 月 26 日	14 件
2	6 月 28 日～7 月 8 日	17 件
3	8 月 30 日～9 月 6 日	6 件
4	10 月 25 日～11 月 4 日	17 件
5	12 月 23 日～令和 7 年 1 月 15 日	18 件
6	2 月 25 日～3 月 11 日	22 件
計		94 件

（３）令和 7 年度

	開催日	申請事案
1	5 月 22 日～5 月 30 日	21 件
2	6 月 24 日～7 月 4 日	19 件
3	令和 7 年 7 月 18 日（臨時開催）	1 件
4	8 月 26 日～9 月 2 日	22 件
5	12 月 19 日～令和 8 年 1 月 9 日	40 件
6	令和 8 年 3 月 2 日（臨時開催）	1 件
7	3 月 24 日～3 月 31 日	9 件
計		113 件

2　成果

・全 7 回開催のうち、2 件が対面開催、5 件がメールによる文書審議となった。

・例年通りに自主臨床研究審査委員会からの申請が全て報告事項であった場合、メールによる文書審議の形で開催した。

・自主臨床研究審査委員会の業務について､倫理審査申請システムを導入したことで、申請・審査の一元管理と、アーカイブの最適化を実現した。

・手続きの漏れや順序の誤りを防止するため、申請種別に応じた審査プロセスを整理し、一目で理解可能なフローチャートを作成した。

・臨床倫理問題への対応として多職種カンファレンスの周知を行った。

・意思決定支援チームが患者や家族への意思決定支援について相談窓口となり、チームを周知した。

3　課題

・臨床倫理に関する講演会の受講率向上。

・倫理審査申請システムの効果的な運用と周知。

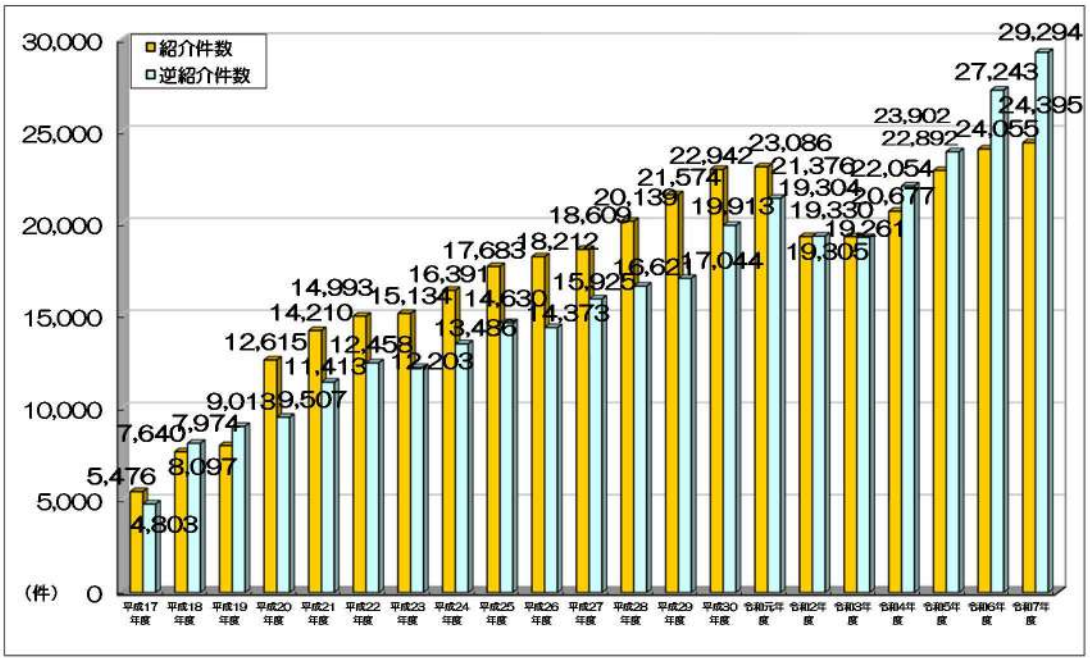
・臨床倫理問題が発生した際の多職種カンファレンスのさらなる周知と実施。

・心肺停止や急変時にかかる院内の Code 記載の統一。

４－４　地域医療機関との連携・支援（医療連携課）

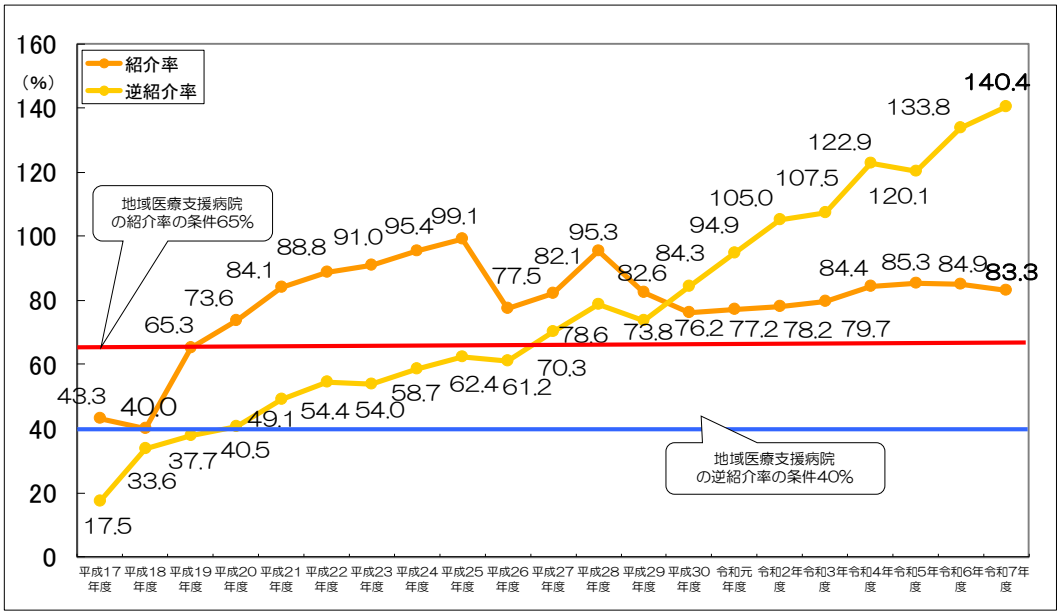
１　データ

紹介件数・逆紹介件数年度推移



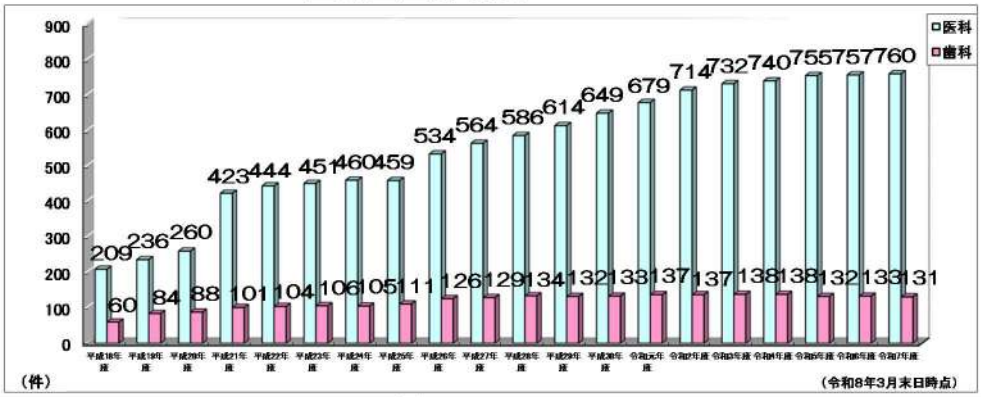
（令和7年度）

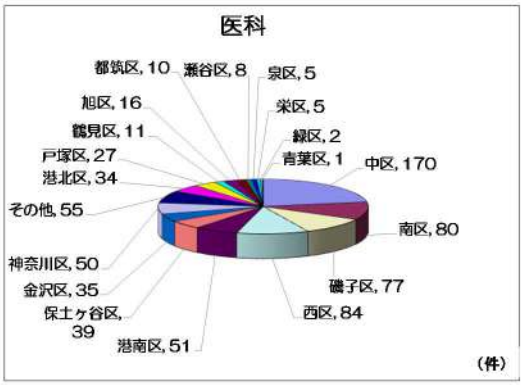
紹介率・逆紹介率年度推移

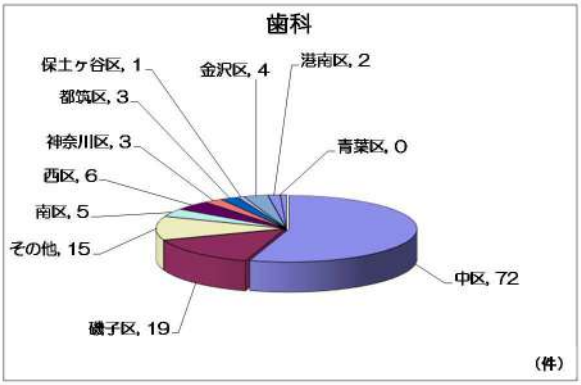


※医療法に基づく地域医療支援病院の紹介率及び逆紹介率計算方式
（令和7年度）

登録医登録状況

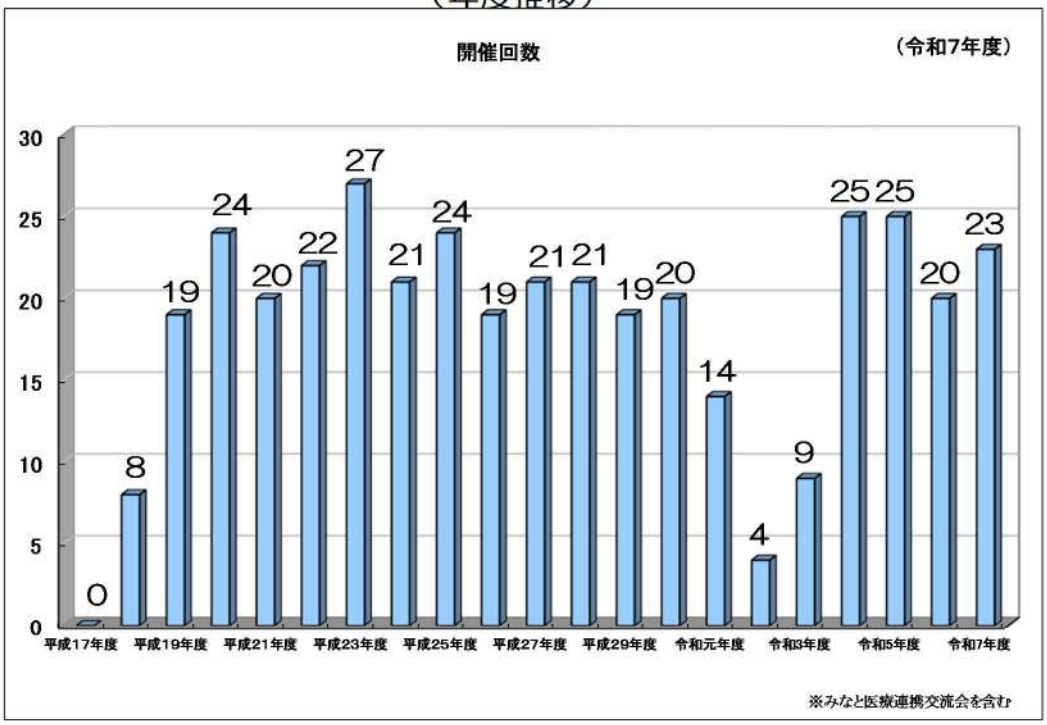

900
800
700
600
500
400
300
200
100
0
医科
歯科
209 236 260 423 444 451 460 459 534 564 586 614 649 679 714 732 740 755 757 760
60 84 88 101 104 106 105 111 126 129 134 132 133 137 137 138 138 132 133 131
（件）
（令和8年3月末日時点）

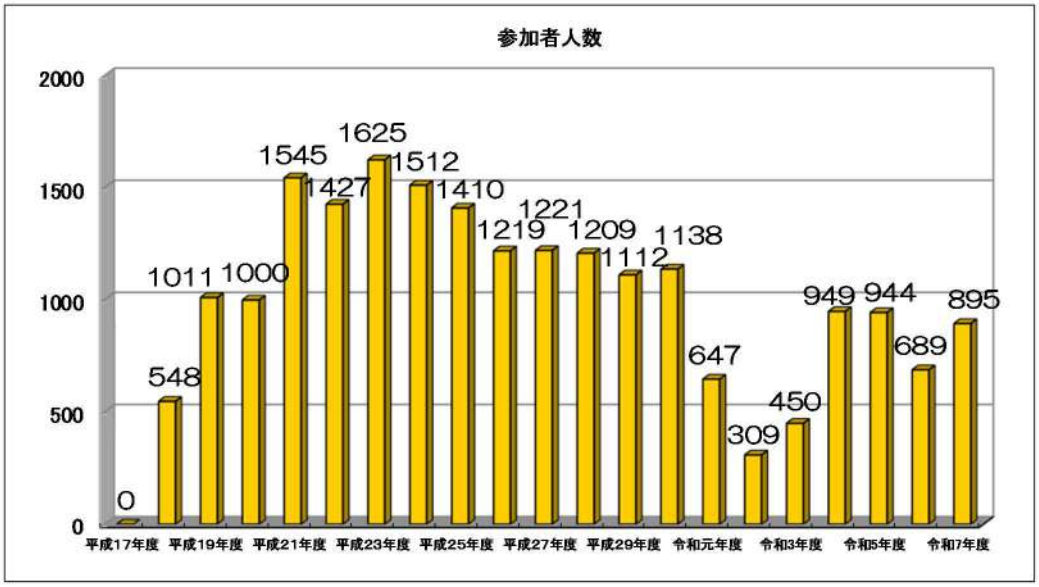

医科
都筑区, 10
瀬谷区, 8
泉区, 5
旭区, 16
栄区, 5
鶴見区, 11
緑区, 2
戸塚区, 27
青葉区, 1
港北区, 34
中区, 170
その他, 55
南区, 80
神奈川区, 50
金沢区, 35
磯子区, 77
保土ヶ谷区, 39
西区, 84
港南区, 51
（件）


歯科
保土ヶ谷区, 1
金沢区, 4
港南区, 2
都筑区, 3
神奈川区, 3
青葉区, 0
西区, 6
南区, 5
その他, 15
中区, 72
磯子区, 19
（件）


高度医療機器共同利用件数
（令和7年度）
600
500
400
300
200
100
0
MRI 384 119 432 25
造影MRI 3 2 6 1
時間外MRI 68 22 33 4
CT 166 156 212 33
造影CT 20 17 23 1
時間外CT 25 39 26 7
骨密度 9 11 6 1
MMG 0 1 0 1
RI 85 0 55 0
PET/CT 95 0 100 0
R7電話
R7WEB
R6電話
R6WEB

地域の医療従事者に対する研修実施状況
（年度推移）





2　成果

医療連携課では、地域医療機関の窓口として「顔の見える連携」を心がけ、地域医療機関との医療機能の分担と連携を推進し、紹介・逆紹介の向上に努めた。

紹介件数は 24,395 件（初診のみは 16,467 件）で、前年度より 340 件増加し、逆紹介 29,294 件で前年度より 2,051 件と紹介・逆紹介件数ともに過去最高件数を達成した。

逆紹介率は前年度を上回り、地域医療支援病院の指定要件を充たした。

また、地域医療従事者向け研修は、年間 23 回開催し、地域医療の質向上を

図った。
　これに加え、患者サービス向上のため、令和７年４月から WEB 初診予約システムを導入、令和８年４月末には予約変更機能も稼働予定である。
　地域に対しては総合診療科とタイアップして緊急受診依頼受入体制を強化し、断り率低減を実現、地域医療機関からの信頼向上に努めた。

３　課題

　今年度も地域医療支援病院として、地域医療機関との顔の見える連携を構築し、医療連携の質向上に努める。
　患者さんからの診療相談に対して組織的に対応するため、患者サポート看護師（仮称）を配置する。また、地域の医療機関とのスムーズな連携に資するため、医療連携課において看護師が緊急受診依頼に対応する体制を整備する。
　高度医療機器の共同利用や健診結果からのフォロー体制を強化し、地域の医療機関との連携強化に努める。さらには市民向けの勉強会を企画し、地域住民の健康啓発に努めるとともに、各診療科の認知度向上を目指していく。

４－５　地域医療機関との連携・支援（療養・福祉相談室）

１　データ

＜相談室業務＞

	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
相談件数	8,839 件	11,578 件	12,096 件
がん相談件数	2,732 件	2,732 件	3,310 件

＜算定件数＞

	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
入退院支援加算	11,237 件	14,789 件	15,113 件
入院時支援加算	4,209 件	7,247 件	7,611 件
介護支援連携指導料	629 件	550 件	712 件
退院時共同指導料２	228 件	247 件	229 件
多機関共同指導加算	57 件	73 件	78 件
大腿骨頚部骨折パス	34 件	19 件	なし
脳卒中パス	60 件	26 件	なし
誤嚥性肺炎パス	7 件	0 件	なし
歯科医療機関連携 1	112 件	90 件	32 件
歯科医療機関連携 2	23 件	3 件	2 件

＜周術期歯科口腔ケア対象患者数＞

	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
院内歯科	626 件	1226 件	1595 件
院外歯科	112 件	90 件	32 件

＜療養・福祉相談室　主催/共催研修＞

10 月 22 日	最新のフレイルを取り巻く状況 ～よりよい在宅療養支援をめざして part19～	主催

２　成果

（１）医療社会事業課の実績報告（資料①）

入院から退院までワンストップで患者を支援する目的で患者支援部を設置し、入退院支援センターで入院前から退院困難要因のある患者に、療養・福祉相談室につなぐ体制を強化している。また、周術期支援の強化も行っている。入院前支援では、支援を要する対象患者の約 98%前後に支援ができており、次年度も質を向上させ支援を継続する。

（２）地域関係機関との取組

ア　行政機関や在宅介護関係機関の会合、中区区レベル地域ケア会議、「かいごのWa！なか」などの会合に参加し、中区のアクションプランや在宅療養支援に関する情報交換及び共有を図った。

イ　横浜市重症心身障害児者メディカルショートステイシステムでは行政を通して16件の相談があり、7件受入れを行った。

ウ　全国赤十字医療ソーシャルワーカー協議会主催の総会や研修会に参加した。

エ　精神科医療に関する活動として、中区自立支援協議会代表者会議、生活支援センター運営連絡会、精神保健福祉業務連絡会や高齢者虐待防止事業連絡会に参加し、地域との連携を図った。今後もさらに精神科救急医療/身体合併症システムの円滑な運用を継続する。

オ　退院時共同指導は不変だったが、介護支援連携指導は増加した。カンファレンスを通し地域関係機関との連携を強化する（資料①）。

カ　横浜市歯科医師会と連携し、入退院支援センターにおいて周術期口腔機能管理の取り組みを強化し、対象患者を拡大できた。次年度も継続する。

キ　みなとセミナー「最新のフレイルを取り巻く状況」を開催し、81 人に聴講いただいた。

ク　横浜市児童虐待防止医療ネットワークに毎年3回参加し、市内小児救急病棟と児童虐待防止に向けた取り組みについて情報交換を行った。

ケ　認定・専門看護師の地域での活用について発信し、研修講師などを通して地域貢献した。

コ　病棟・行政と連携したハイリスク妊産婦連携指導料算定のシステムを構築しており、合同カンファレンスを6回25件開催した。

（３）専門職育成への取組

院外からは1名の社会福祉学生の実習、10名の看護学生の実習、3名の国際医療福祉大学在宅看護学生の実習、3名の神奈川県看護協会相互研修、23名の看護学総合実習、2名の横浜市病院協会看護専門学校実習受け入れ、院内看護部からクリニカルラダー「入退院支援コース」研修者を30名受け入れた。

（４）専門職としての研鑽

1名が認定がん専門相談員の資格を取得し、がん相談支援センターとしての役割を維持している。

３　課題

（１）入退院支援マニュアルに沿った療養支援を病院全体で推進し、地域の関係者と共に、継続された支援を患者や家族に実施する。

（２）地域の医療機関とシームレスな情報共有を通じて患者をつなぐための、体制構築を推進する。

（３）がん拠点病院に必要とされるがん相談支援センターの体制と育成を強化する。
（４）横浜市重症心身障害児者メディカルショートステイシステムの院内外との連携を推進する。
（５）各区医師会　在宅医療連携室との連携を推進する。
（６）中区地域包括ケア指針におけるアドバンスト・ケア・プランニングや緩和ケアの推進に向けた取組を医師会、歯科医師会、薬剤師会、行政、病院、地域の介護・医療関係者などと実施する。

医療社会事業課　令和7年度報告書

令和7年度分
横浜市立みなと赤十字病院

(1)取扱人数

件数		実件数	(前年度比較)
年度実件数		12,096 件	+ 518
継続実件数		183 件	− 301
新規実件数	入院	11,021 件	+ 438
	外来、その他	892 件	− 103
年度延件数		39,522 件	+ 1,215

精神科入院相談件数		263 件	+ 16

がん相談	実件数	3,310 件	+ 477
	延べ件数	4,686 件	+ 616
	(対面)	3,137 件	+ 437
	(電話)	1,549 件	+ 179
	(その他)	0 件	+ 0

*算定

入退院支援加算1 (700点)	15,113 件	+ 324
入院時支援加算 (230点)	7,611 件	+ 364
介護支援連携指導料 (400点)	712 件	+ 162
退院時共同指導料2 (400点)	229 件	− 18
多機関共同指導加算 (2000点)	78 件	+ 5
保険医共同指導加算 (300点)	13 件	+ 5
小児加算(入院時支援加算) (800点)	1,072 件	− 191
精神科退院指導料(320点)	69 件	+ 4

(2)新規ケースの紹介経路

区分	実件数	
医師	420 件	− 241
看護職	10,176 件	+ 511
リハビリ職	0 件	+ 0
その他院内職員	60 件	+ 22
本人	87 件	− 24
家族・親戚縁者	132 件	− 5
院外関係機関	832 件	+ 53
医療チーム	49 件	+ 49
近隣者・知人	0 件	− 3
ソーシャルワーカー	157 件	− 27
合計	11,913 件	+ 335

(3)新規ケース介入の時期

区分	実件数	
受診前	338 件	− 1
外来	548 件	− 93
入院前	7,833 件	+ 365
入院中	3,188 件	+ 73
その他	6 件	− 9

(4)新規ケースの社会的背景

区　分	実件数	
独居	2,725 件	+ 164
経済困窮	226 件	− 10
家族疎遠・身寄りなし	537 件	+ 17
ハイリスク妊産婦	47 件	+ 14
精神疾患	953 件	+ 28
認知症	696 件	− 21
家庭内暴力・虐待	68 件	+ 17
自殺企図	73 件	+ 0
無保険	37 件	+ 12
身元不明	13 件	+ 3
ホームレス	11 件	+ 3
外国人	329 件	+ 23
合計	5,715 件	+ 250

(5)相談援助調整内容　※当年介入ケース　※日報

内容	実件数	延件数	(前年度比較)	
受診・受療	372 件	985 件	+ 52	− 221
経済的問題	205 件	778 件	+ 39	+ 28
制度活用	285 件	954 件	+ 72	+ 134
入院療養生活	7,907 件	9,065 件	+ 2,119	+ 1,032
退院支援(在宅・転院・施設入所)	10,873 件	20,520 件	+ 2,723	+ 561
在宅療養・看護	8,068 件	15,736 件	+ 2,117	+ 318
医療者との関係	52 件	141 件	+ 14	+ 25
家族関係	186 件	214 件	+ 161	+ 118
日常生活	13 件	32 件	+ 7	+ 20
就労・就学	14 件	225 件	− 4	− 14
身元保証・権利擁護	196 件	565 件	+ 47	− 11
死後対応	10 件	21 件	− 1	− 5
その他	46 件	92 件	+ 18	+ 28
合計	28,227 件	49,328 件	+ 7,364	+ 2,013

(6)援助方法　※日報

方法		延件数	(前年度比較)
面接	本人	14,781 件	+ 185
	家族	6,525 件	+ 207
	友人・知人	166 件	+ 12
電話	本人	198 件	− 16
	家族	6,239 件	+ 367
	友人・知人	125 件	+ 41
訪問	家庭	0 件	− 2
	その他	0 件	+ 0
同行・同伴・代行		0 件	− 9
連絡調整・院内		30,015 件	− 115
連絡調整・院外：面会		902 件	+ 431
連絡調整・院外：電話		20,503 件	+ 868
連絡調整・院外：文書・FAX・mail		4,230 件	+ 154
カンファレンス(院内職種のみ)		3,438 件	+ 291
カンファレンス(院外職種含む)		704 件	+ 147
合同カンファレンス(院内職種のみ)		191 件	− 30
合同カンファレンス(院外職種含む)		251 件	+ 4
合計		88,268 件	+ 2,535

(7)チーム医療

腎臓内科カンファレンス	0 件	+ 0
乳腺チーム	371 件	− 137
児童虐待防止委員会	53 件	+ 17
虐待防止対策委員会	33 件	+ 5
ハイリスク妊産婦カンファレンス	53 件	+ 11
緩和チーム	389 件	+ 1
行動制限最小化委員会	211 件	+ 28
外来ケモカンファレンス	36 件	− 36
認知症ケアチーム	233 件	+ 233

(8)転帰先　※当年退院ケース

区分	実件数	(前年度比較)
一般病院	393 件	− 8
回復期リハビリテーション病院	417 件	+ 41
包括ケア	384 件	+ 38
療養型病院	50 件	− 17
精神病院	205 件	+ 23
介護老人保健施設	27 件	+ 2
特別養護老人ホーム	77 件	− 26
有料老人ホーム	248 件	− 31
グループホーム	42 件	+ 3
緩和	3 件	+ 0
在宅	9006 件	+ 423
死亡	277 件	+ 31

※当年介入ケース

苦情	7 件	− 9
認知症疾患医療センター相談件数	87 件	− 69

４－６　市民委員会

１　データ

	令和５年度	令和６年度	令和７年度
開催日 （出席人数）	令和６年２月６日 （８人）	令和７年２月 25 日 （８人）	令和８年２月 27 日 （７人）

	委員氏名	役　職
1	河原　和夫	医療法人財団　利定会 大久野病院・介護医療院　理事・院長
2	秋山　修一	横浜市中区医師会　会長
3	三角　隆彦	社会福祉法人恩賜財団済生会横浜市東部病院　院長
4	荻野　安奈	作家　慶應義塾大学文学部名誉教授
5	茅本　隆司	日本発条株式会社　代表取締役会長
6	川本　守彦	川本工業株式会社　代表取締役社長
7	河村　朋子	磯子区医師会在宅部門統括責任者
8	松澤　秀夫	中区連合町内会長連絡協議会　会長
9	田島　真也	横浜みなと赤十字病院奉仕団　団員

２　成果

報告内容は以下のとおりである。

・経営状況と指定管理協定について

当院の運営に対し有識者から意見をお聞きし、上記各報告についてだけではなく、その他当院の様々な問題点についてもご指摘をいただく場となっている。

３　課題

委員の方からご意見をいただいた場合に、担当部署が責任をもって改善に向けた行動に繋げることが必要である。

４－７　治験・受託研究

１　データ

(1) 治験および臨床研究等の実施件数

	令和５年度	令和６年度	令和７年度
治験実施件数	23 件	22 件	19 件
自主臨床試験件数	155 件	138 件	130 件
特定臨床研究	8 件	4 件	5 件
製造販売後調査件数	44 件	36 件	33 件

(2) 治験審査委員会開催状況

	令和５年度	令和６年度	令和７年度
第１回	4 月 11 日（火）	4 月 9 日（火）	4 月 17 日（火）
第２回	5 月 9 日（火）	5 月 14 日（火）	5 月 13 日（火）
第３回	6 月 13 日（火）	6 月 11 日（火）	6 月 10 日（火）
第４回	7 月 11 日（火）	7 月 9 日（火）	7 月 8 日（火）
第５回	8 月 8 日（火）	8 月 13 日（火）	8 月 12 日（火）
第６回	9 月 12 日（火）	9 月 10 日（火）	9 月 9 日（火）
第７回	10 月 10 日（火）	10 月 8 日（火）	10 月 14 日（火）
第８回	11 月 14 日（火）	11 月 12 日（火）	11 月 11 日（火）
第９回	12 月 12 日（火）	12 月 10 日（火）	12 月 9 日（火）
第 10 回	1 月 9 日（火）	1 月 14 日（火）	1 月 13 日（火）
第 11 回	2 月 13 日（火）	2 月 4 日（火）	2 月 10 日（火）
第 12 回	3 月 5 日（火）	3 月 11 日（火）	3 月 10 日（火）
備考	R5 年度より対面開催		

２　成果

（１）治験

・令和 7 年度新規治験受託件数は 6 試験（医薬品 6 試験）であった。内訳は下記のとおりである。

① 小野薬品工業株式会社による ONO-1110 の第Ⅱ相試験

② アルツハイマー病に伴う精神病の治療薬としての KarXT を評価する非盲検継続投与試験

③ 日本人子宮内膜症患者を対象に、FSN-013 を周期経口投与した際の有効性及び安全性を評価することを目的とした、多施設共同、無作為化、二重盲検、プラセボ対照、並行群間比較試験

④ Idorsia Pharmaceuticals Ltd(国内治験依頼者:ヴィアトリス製薬合同会社)の依頼による全身性エリテマトーデス患者を対象とした ACT-334441 の第 3

相試験

⑤ せん妄、精神運動興奮状態、易怒性を呈している患者を対象とした HP-6050 のランダム化プラセボ対照二重盲検試験

⑥ 日本イーライリリー株式会社の依頼による末梢動脈疾患患者を対象とした LY3502970 の第 III 相試験

（2）自主臨床研究

・臨床研究書類の事前確認に外部支援を導入したことにより、事前確認から申請までの期間が短縮され、好循環が構築されつつある。研究の実施支援においては、治験コーディネーター（ＣＲＣ）の支援により、より複雑な手順の研究も実施可能な環境を構築できている。支援業務としては同意説明補助、被験者の来院管理、試験窓口、データ入力、データ抽出、検体回収等であり、研究者の負担軽減につながった。

・倫理審査システムについては、院内周知およびマニュアル作成等を経てシステムを本格的に稼働させ、システムでの申請および審査へ移行した。

（3）特定臨床研究

研究分担施設として実施した研究は 5 試験であった。施設としての対応は、主に施設管理者への報告および承認取得の実施、書類の管理を実施した。研究薬を薬剤部にて保管管理および払出を行う研究は 2 試験であった。

（4）教育・研修

初回研修セミナーとして指定した２つの e-learning の新規受講者は計 44 名であった。継続研修セミナーとしては、下記の通り 2 回実施した。

	1 回目	2 回目
実施時期	令和 7 年 7 月 11 日（金） 18：00～19：00	令和 8 年 1 月 22 日（木）
テーマ	診療に活かす論文の 批判的吟味	医療 AI による技術革新がもたらす倫理的・法的・社会的課題とその展望
講師	社会福祉法人聖母会 聖母病院　総合診療科部長 南郷　栄秀　先生	国立がん研究センター研究所・ 医療 AI 研究開発分野 小林 和馬　先生
開催方法	会場と Web 併用のハイブリッド	会場と Web 併用のハイブリッド
単位認定	日本医師会生涯教育講座	日本専門医機構の認定講習
参加者	64 名（院内 60 名、院外 4 名）	82 名（院内 77 名、院外 5 名）

３　課題

（１）治験

・治験の必須文書保管の電磁化が喫緊の課題となっている。手順書及び環境等の整備および見直しを進める。

・GCP 改訂による Single IRB の導入に向けて、外部 IRB 導入に関して治験の標準業務手順書等の改訂および院内 IRB と外部 IRB の業務整備を行う。

（２）自主臨床研究

・「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の改正に伴い、手順書の見直しを図り、個人情報保護法に則った研究実施体制および審査体制の整備を引き続き行う。

・多機関共同研究の一括審査時の院内での実施許可手続きに関して、より一層の周知が必要と考えられるため、定期的に周知を行うとともに、アプローチしやすい場所へ手順を掲載できるようホームページを整備する。

（３）特定臨床研究

・整備途中である手順書及び様式を整え、院内規定について周知を行う。

４－８　患者・市民に対する相談・啓発活動

１　データ

＜赤十字救急法等講習会開催実績＞

（１）赤十字救急法短期講習

令和５年度		令和６年度		令和７年度	
開催日	参加者	開催日	参加者	開催日	参加者
4 回	46 人	5 回	31 人	4 回	18 人

（２）赤十字救急法救急員養成講習

令和５年度		令和６年度		令和７年度	
開催日	参加者	開催日	参加者	開催日	参加者
2 回	67 人	2 回	42 人	2 回	53 人

（３）赤十字健康生活支援講習短期講習

令和５年度		令和６年度		令和７年度	
開催日	参加者	開催日	参加者	開催日	参加者
3 回	27 人	1 回	19 人	1 回	26 人

（４）赤十字健康生活支援員養成講習

令和５年度		令和６年度		令和７年度	
開催日	参加者	開催日	参加者	開催日	参加者
1 回	12 人	1 回	4 人	1 回	8 人

（５）水上安全法短期講習（市内小学校の着衣泳講習へ指導員職員を派遣）

令和５年度		令和６年度		令和７年度	
開催日	参加者	開催日	参加者	開催日	参加者
1 回	2 人	3 回	3 人	1 回	2 人

２　成果

市民サービスの一環として、市民の受講を受け入れる講習会を再開することができたほか、地域施設への安全思想の普及（水上安全法）を実施することができた。

３　課題

救急法短期講習会（BLS 講習）や健康生活支援講習会は、当院を訪れた患者や来訪者の急変時の対応も含まれており、来訪された方々の健康や安全の確保、サービスの向上のために、引き続き講習会を開催し、より多くの職員の習得を目指す。また、横浜市立病院であり赤十字病院でもあるため講習会を通じて市民への健康・安全への意識向上をさらに取り組む。

４－９ 患者サービス

１　データ

（１）患者満足度調査結果（令和７年度）【CS 委員会事務局】

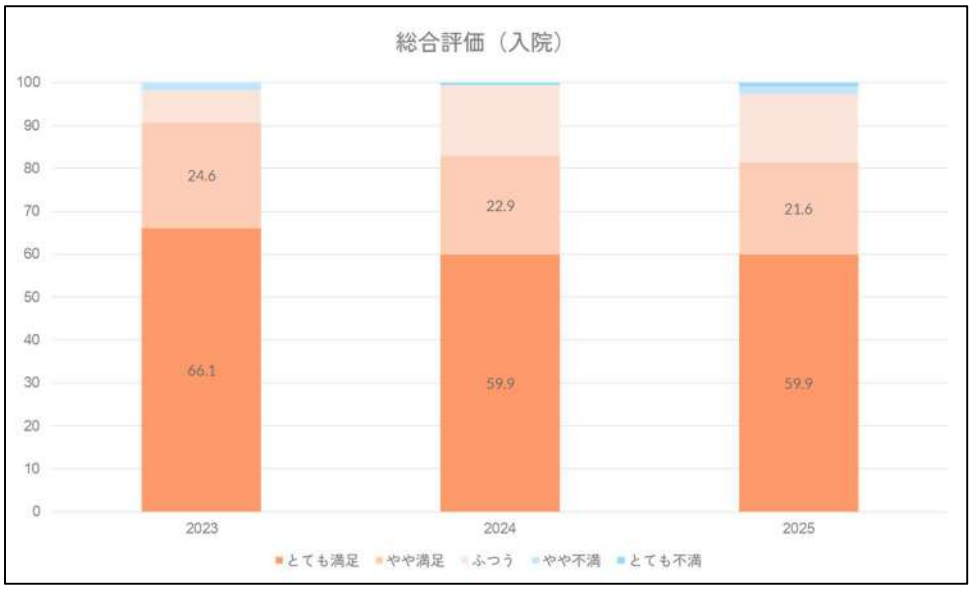
患者満足度調査を令和７年１０月～１２月に実施した。

・調査結果

（入院患者）

調査期間：令和 7 年 10 月 7 日（火）～12 月 1 日（火）

回答結果（回答数：654 人）

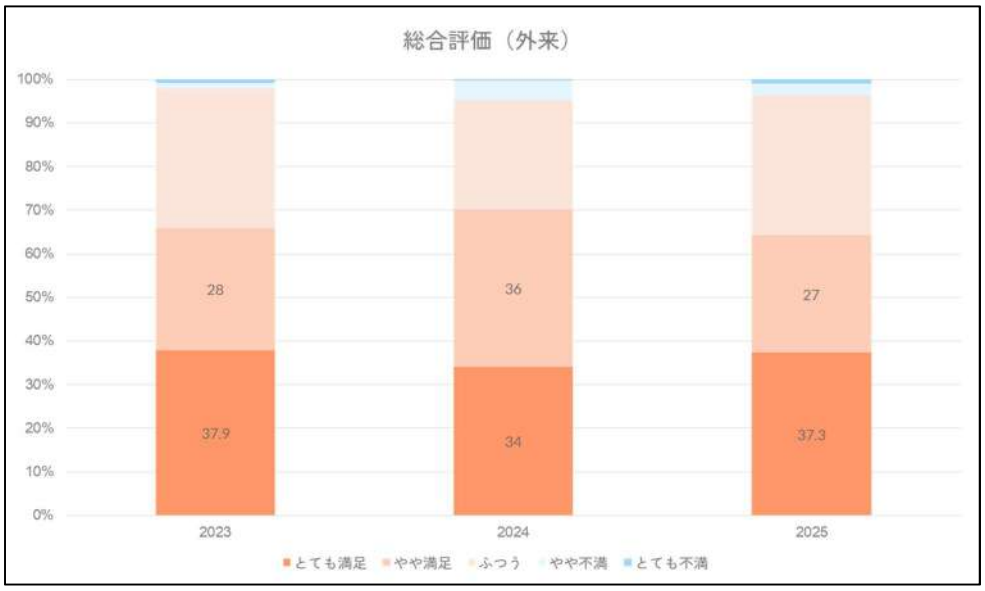


回答内訳

設問	年	とても満足	やや満足	ふつう	やや不満	とても不満
総合評価	2025	59.9	21.6	15.9	1.7	0.9
	2024	59.9	22.9	16.5	0.2	0.5
	2023	66.1	24.6	7.6	1.5	0.2
医師による診療・治療内容	2025	74.4	18.6	5.5	0.9	0.5
	2024	74	17.3	7.8	0.7	0.2
	2023	77.2	15.2	6.6	0.9	0.2
医師との対話	2025	72	18.8	8	1.1	0.2
	2024	69.9	19.1	10.1	0.9	0
	2023	72.3	18.2	8	1.4	0.2
看護師	2025	76.5	17.8	5.1	0.5	0.2
	2024	75.4	17.3	6.5	0.5	0.2
	2023	80.6	14.7	4	0.7	0
事務職員	2025	62.9	22.4	14	0.6	0
	2024	67.2	19.9	11.8	0.7	0.4
	2023	71.4	15.5	12.9	0.2	0
その他のスタッフの対応	2025	63.6	21.6	14.5	0.2	0.2
	2024	63.2	22.4	13.3	0.7	0.4
	2023	68.7	17.2	14	0	0
痛みや症状を和らげる対応	2025	63.5	22.6	11.6	2	0.3
	2024	56.9	27.9	13.9	1.1	0.2
	2023	63.4	22.5	12.5	1.3	0.4
精神的なケア	2025	62.4	20.9	14.3	2.2	0.3
	2024	56.5	26.6	14.7	1.9	0.4
	2023	62.5	21.3	14.7	1.1	0.4

プライバシー保護の対応	2025	58.2	22.8	17.8	1.1	0.2
	2024	53.9	24.4	20.5	1.1	0.2
	2023	58.3	21.2	19.2	1.1	0.2
病室・浴室・トイレなど	2025	51.8	30.9	14.3	2.5	0.5
	2024	47.2	28.4	19.7	4.3	0.4
	2023	48.3	30.2	18	3.5	0
食事の内容	2025	36.1	28.9	28.5	5.4	1.1
	2024	36.9	29.7	27.2	4.8	1.5
	2023	34.6	34.1	24.6	6.2	0.5
入院時の説明・手続き	2025	56.2	23.7	18.1	1.9	0.2
	2024	52.2	25	20.5	2	0.4
	2023	54.3	21.5	21.5	2.3	0.3
病棟の状況	2025	57.1	25.2	15.1	2.5	0.2
	2024	50	26.4	21.8	1.2	0.5
	2023	54.9	26.7	15.9	2.1	0.3
職員間の連携	2025	53.8	24.1	16.9	4.4	0.8
	2024	51	23.5	22.4	2.7	0.4
	2023	53.1	24.9	19.4	2.5	0.2
全体としてこの病院に満足していますか	2025	63	29.2	6.5	1.4	0
	2024					
	2023					
入院の原因となった病気や症状にたいする診断や治療方針について、医師から受けた説明は十分でしたか。	2025	70.4	20	7.3	2.3	0
	2024					
	2023					

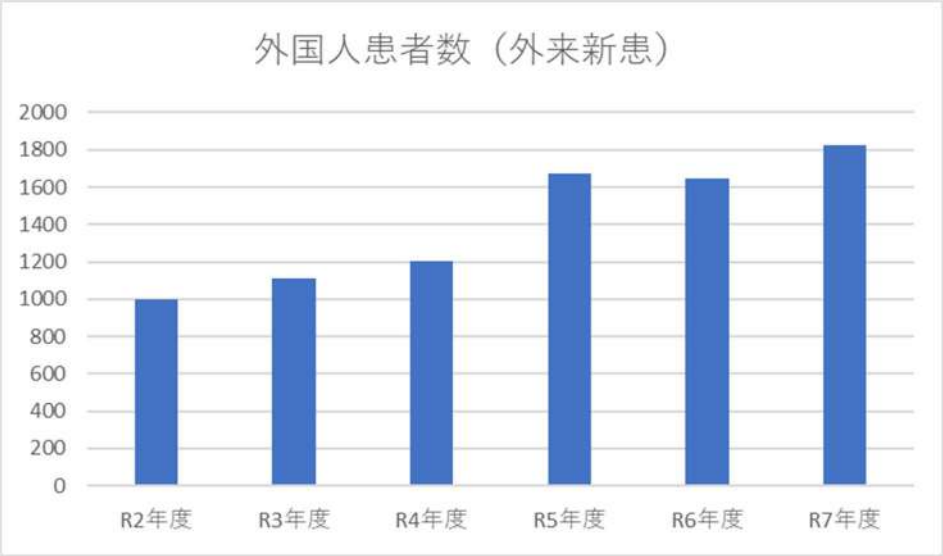
（外来患者）
調査期間：令和 7 年 10 月 27 日（月）～10 月 31 日（金）
回答結果（回答数：645 人）

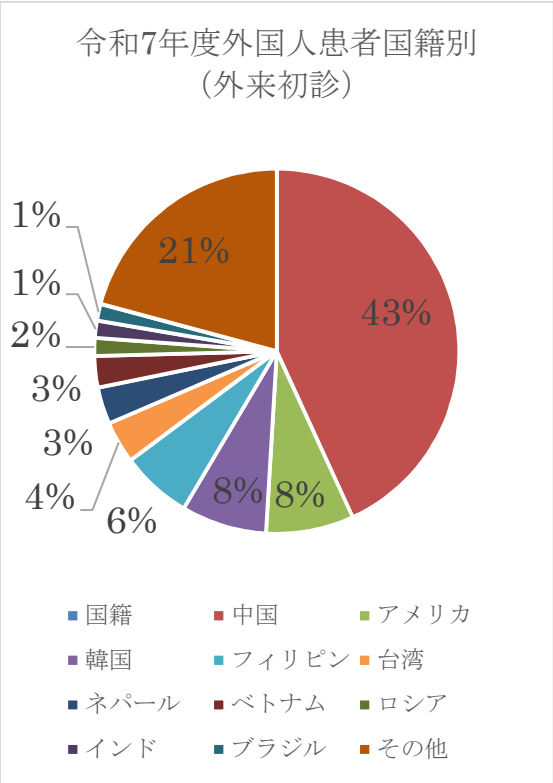


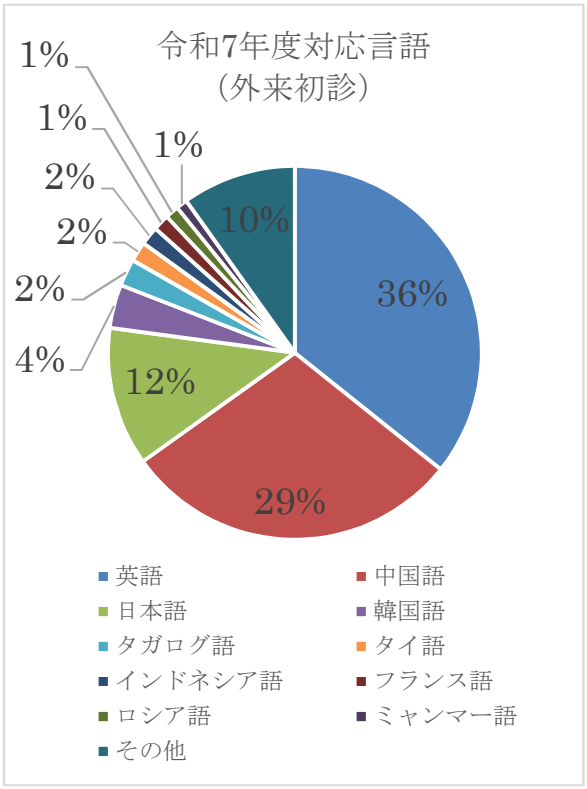
回答内訳：

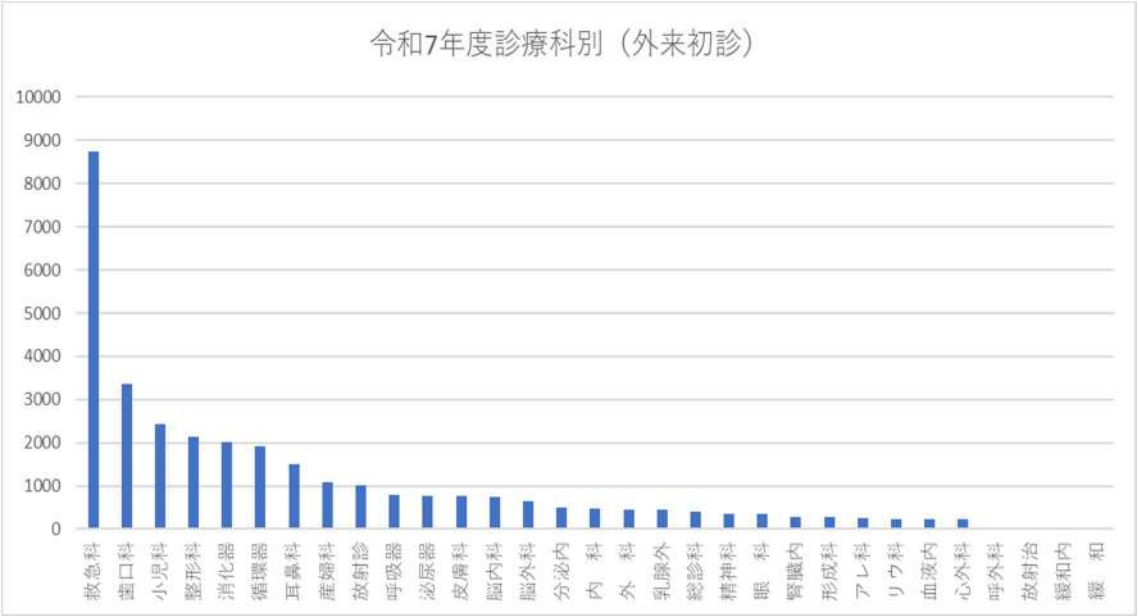
設問	年	とても満足	やや満足	ふつう	やや不満	とても不満
総合評価	2025	37.3	27	32.1	2.5	1.1
	2024	34	35	25.1	4.5	0.3
	2023	37.9	28	31.8	1.4	0.9
診察までの待ち時間	2025	23.5	15.3	38.7	17	4.4
	2024	21.9	17.5	40.4	15.9	4.1
	2023	21.5	18.7	40.2	14.8	4.8
診察時間	2025	39.1	22.8	34.2	3.5	0.5
	2024	39.7	20.5	35.7	2.3	0.7
	2023	39.5	24.5	32.8	2.7	0.3
医師による診療・治療内容	2025	52.5	27.2	17.1	2.9	0.3
	2024	52.5	25	19	2.8	0.7
	2023	54.1	24.9	18.4	1.5	1
医師との対話	2025	55.5	24.3	16.5	2.5	0.2
	2024	54.8	24.5	16.9	3	0.9
	2023	56.4	22.3	18.1	2.5	0.7
看護師	2025	49.5	25.8	23	1.4	0.2
	2024	50.2	20.3	28.1	1.2	0.2
	2023	45.4	19.8	32.5	0.9	0.3
事務職員	2025	42.7	25.2	26.7	3.7	1.7
	2024	40.1	25.2	30.5	3.2	1
	2023	42.1	24.2	30.7	2.3	0.7
その他のスタッフの対応	2025	41.5	23.5	32.8	1.7	0.5
	2024	36.9	26.1	34.7	2.2	0
	2023	35.5	22.8	39.5	1.5	0.4
痛みや症状を和らげる対応	2025	34	26.7	36	2.2	1.1
	2024	35.8	26	34	2.5	0.7
	2023	25.8	19	52.2	2.5	0.5
精神的なケア	2025	35.9	24.5	35.2	3.4	0.8
	2024	36	24.8	35.2	3.4	0.6
	2023	38.4	23.4	33.7	4	0.4
プライバシー保護の対応	2025	41.7	18.8	38.2	1.3	0
	2024	36.9	19.4	41.8	1.5	0.3
	2023	32.2	15.3	50.1	1.8	0.6
清掃の状況	2025	49.1	25.6	22.7	1.5	0.2
	2024	41.1	31.5	25.7	1.2	0.4
	2023	44.9	30	23.2	1.9	0.1
建物や設備	2025	42.8	26.7	25.7	2.5	0.3
	2024	39.8	29.1	27.7	2.6	0.7
	2023	43.2	29.6	24.7	2	0.4
交通アクセス	2025	21.4	19.8	34.5	19.7	4.7
	2024	23.4	15.8	36.9	18.8	4
	2023	22.8	18.1	35.8	18.1	4.2
全体としてこの病院に満足していますか。	2025	37.3	39.3	19.2	3.4	0.9
	2024					
	2023					
診断や治療方針について今日までに医師から受けた説明は十分でしたか。	2025	49.2	28.9	18.1	3.3	0.5
	2024					
	2023					

（２）外国人患者統計（令和７年度）【国際医療運営委員会事務局】









（３）外国人患者受入れ体制の整備活動【国際医療支援室】
・JMIP 更新受審準備プロジェクト活動
・通訳ツール活用促進
・JMIP 統計情報の収集
・国際医療運営委員会を年４回開催
・外国人患者対応マニュアル、通訳マニュアル、業務マニュアル更新
・院内サイン、各種文書の多言語化対応（英語、中国語）更新
・医療通訳者の育成支援
・医療コーディネーター業務
・未収金対策検討、ポータブル決裁端末の導入と活用
・他施設との情報交換

（４）病院ボランティア活動　【救急災害業務課】
ア　総合案内
新型コロナウイルス感染拡大期であっても、病院内入口付近で患者目線での外来患者の案内や誘導を実施した。
また、災害時にも対応できるよう病院総合防災訓練へ参加した。

イ　作業部会
・ガーデニング：第２・４水曜日
・パッチワーク：第１・３金曜日
※コロナ感染症対策により一時休止中
・車いす清掃：第１・３金曜日
・コンサートイベントなどの企画、運営など

２　成果

（１）CS 委員会【CS 委員会事務局】

入院・外来の患者満足度調査実施：調査結果委員会で共有し改善課題について検討した。CS ラウンドの実施：「患者満足度調査」、「みなさまの声・ご提案」から寄せられた意見をもとに、委員によるラウンドを実施、課題を抽出し、部署へのフィードバックを行った。改善活動：外来検査室の待合の混雑緩和や、病院建物周囲の表示の修繕など、当該部署と協力し改善活動を行った。新しい取り組み：「みなさまの声・ご提案」からお褒めの言葉を抽出、院内掲示をすることで、職員へのフィードバックを行った。

（２）外国人患者対応【国際医療支援室】

令和 8 年の JMIP 更新受審に向け、プロジェクトチームを組織し、病院全体として、外国人対応の見直しを行っている。外国人患者統計、院内掲示、各種マニュアル改定、通訳体制強化、異文化理解促進に加え、外国人医療安全体制の確立に向けた取り組みや、外国人医療コーディネーター介入による重傷者の帰国支援とマニュアル化など、多岐に及ぶ改善や対応を行っている。未収金対策として、患者の請求時期を変更、海外保険会社との調整代行、ポータブル決裁端末を導入など、外国人医療提供の持続可能性にも取り組んでいる。

（３）病院ボランティア活動【救急災害業務課】

ボランティア活動では、横浜みなと赤十字病院奉仕団に所属する病院ボランティアが、訪れた患者がスムーズで安心して受診できるように、院内の案内や、敷地内のガーデニング、患者用パッチワークキルトひざ掛けの製作などの活動や提供を行った。

３　課題【CS 委員会事務局、品質管理課】

患者満足度調査やみなさまの声で意見が多く上がった、会計の待ち時間や電話のつながりにくさについては、Web 予約や、自動会計システムの導入を行っているため、今後、効果を確認していく。

外国人患者対応は、令和 8 年度の JMIP 更新受審を利用して、院内での浸透を図り、より日常的なものへと変化させていく。

４－１０　医療データベースの構築と情報提供

１　成果

（１）医療情報システムの更新

2025 年 5 月医療情報システム(電子カルテシステム等)の更新を行った。同時にスマートフォンを導入しコミュニケーションツールとして活用を目指している。

（２）PHR 構築のデータベース開発

アレルギー疾患患者へのデータベース構築として一部のアレルギーからデバイス管理できるように研究を開始した。

２　課題

（１）医療 DX の整備

医療 DX に関わるシステム導入等の導入。

（２）情報セキュリティ体制の強化

ＢＣＰ（事業継続計画）や情報セキュリティ対策の強化の推進、医療情報の安全管理に関するガイドラインの準拠、職員対象の訓練や研修を計画する。

５　職員研修

５－１　職員研修（医師）

１　データ

（１）事業実績

研修会等名	令和５年度	令和６年度	令和７年度
モーニングセミナー	年間 43 回	年間 43 回	年間 32 回
医学生向けプログラム説明会	年間３回 うち１回はｵﾝﾗｲﾝ （119 名参加）	年間３回 うち１回はｵﾝﾗｲﾝ （72 名参加）	年間３回 うち１回はｵﾝﾗｲﾝ （68 名参加）
症例振り返りセミナー	年間３回	年間３回	年間５回
講演会	年間２回	年間３回	年間３回
新規採用者オリエンテーション	４月３日	４月１日	４月１日
新規採用医師オリエンテーション	４月３日	４月１日	４月１日
新規採用研修医オリエンテーション	４月４～10 日 （５日間）	４月２～８日 （５日間）	４月２～８日 （５日間）
チーム医療ワークショップ	４月 28 日	４月 26 日	５月９日
院内ＣＶＣライセンス制度	認定試験３回 指導者試験０回	認定試験２回 指導者試験１回	認定試験　回 指導者試験　回
指導医養成講習会	７月 16・17 日 （２日間）	－	10 月４日・５日 （2 日間）
ＪＭＥＣＣ	２月４日	２月 16 日	３月１日

（２）採用人数

【初期研修】

	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
研修医	８（８）	８（８）	８（８）	８（８）
研修歯科医	１（２）	２（２）	２（２）	２（２）

※（　）は定員数

【専門研修】

	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
整形外科専攻医	１（２）	２（４）	２（４）	２（４）
内科専攻医	５（６）	１（６）	３（６）	４（４）
外科専攻医	１（２）	２（２）	２（２）	１（２）
救急科専攻医	６（６）	５（６）	３（６）	６（６）
麻酔科専攻医	３（３）	０（４）	０（４）	１（４）
精神科専攻医	０（３）	２（２）	１（２）	０（２）
総合診療科専攻医	－	－	２（３）	０（３）

※（　）は定員数

（３）診療科見学者数（延べ人数）

【医科】

（医学生）見学者年間延べ人数

令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
216	241	201	191

（研修医）見学者年間延べ人数

令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
27	35	30	44

【歯科】

（歯学生）見学者年間延べ人数の推移

令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
17	5	19	16

２　成果

医師及び歯科医師臨床研修では、医師８名、歯科医師２名が研修を修了した。

令和２年度より新制度に移行した医師臨床研修制度では、PG-EPOC などを使用して到達目標の達成状況の確認を行った。また、PG-EPOC や当院規定の書式により指導医および他職種が研修医に対する評価を実施し、その結果を研修医にフィードバックした。さらに、研修医による指導医評価を行いその結果を指導医にフィードバックした。

令和６年度初期臨床研修修了者のうち２名が当院の専門研修プログラムで研修を開始した（内科２名、救急科１名、外科１名）。

専門研修では、内科１名、整形外科１名、救急科４名、精神科１名、外科２名が研修を修了した。

初期臨床研修及び専門研修に関して令和７年度の採用活動は引き続きホームページを基本とし、医学生向けに当院独自にプログラム説明会を開催した。

３　課題

臨床研修では、卒後臨床研修評価機構による書面調査を踏まえ必要な取り組みを行う。臨床研修について地域からの声の受け入れなどを検討している。

専門研修では、管理委員会など年間計画立案、プログラム改訂、研修進捗管理、連携病院への連絡等、計画的な実施を検討している。

５－２ 職員研修（看護部）

１　データ

（１）ラダー認定者数・院外研修受講者数等

項目	令和５年度	令和６年度	令和７年度
実践者ラダーレベルⅠ認定	5人	71人	54人
レベルⅡ認定	44人	51人	60人
レベルⅢ認定	６人	13人	5人
レベルⅣ認定	0人	4人	0人
管理者ラダーレベルⅠ認定	5人	0人	0人
レベルⅡ認定	0人	1人	0人
レベルⅢ認定	0人	0人	0人
レベルⅣ認定	1人	0人	0人
ラダー研修	65回	61回	79回
役割研修	31回	35回	37回
新人技術研修	11日	9日	9日
院外研修(看護協会)	97人	141人	97人
看護管理者ファースト研修	３人	4人	6人
看護管理者セカンド研修	２人	3人	3人
看護管理者サード研修	２人	0人	1人
臨床指導者研修	６人	7人	8人
認定看護師研修	1人	2人	1人
学会発表・参加	72人	62人	56人
特定行為研修	５人	2人	7人

（２）院内・院外特定行為研修実績

区分別科目名	令和５年度	令和６年度	令和７年度
栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	５人	３人	１人
呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	１人	０人	０人
循環動態に係る薬剤投与関連	１人	０人	０人
創部ドレーン管理関連	０人	０人	０人
精神および神経症状に係る薬剤投与関連	１人	０人	０人
呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連	２人	１人	０人
動脈血液ガス分析関連	２人	０人	１人
創傷管理関連	―	１人	０人
術中麻酔管理領域	―	１人	０人
栄養に係る７カテーテル管理（末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理）関連	―	―	２人

（3）院内ラダー・役割研修実績

研修名	研修名	回数	受講者数	研修名	研修名	回数	受講者数
実践者レベルⅠ	フォローアップ	1	57	実践者レベルⅢ	認知症ケア	－	－
	多重課題	1			口腔ケア	4	13
	フィジカルアセスメント	2			がん看護	4	19
	グローバルヘルス	1		実践者レベルⅣ	ストレスマネジメント	2	6
	看護倫理Ⅰ	1			組織論とアサーティブネス	1	12
	防災訓練	1			家族看護	1	8
実践者レベルⅡ	フィジカルアセスメントⅡ	5	66	管理者ラダー	新任係長研修	6	2
	看護と診療報酬	1	67		新任師長研修	5	2
	看護コミュニケーション	1	63	役割研修	救護員のための赤十字看護師研修	4	45
	専門領域	1	54		フォローアップ研修	1	5
実践者レベルⅢ	リーダーシップとメンバーシップ	3	54		静脈注射基礎Ⅰ	3	57
	看護倫理Ⅲ	3	30		静脈注射基礎Ⅱ	1	65
					2025 年教育担当者	1	19
	マネジメント入門	3	27		実地指導者研修	5	30
	フィジカルアセスメントⅢ	4	13		褥瘡専任看護師研修	4	18
	後輩育成	1	42		暴力対応研修	1	18
	看護研究	3	17		こころのケア要員	2	30
	入退院支援	5	31		看護補助者研修	11	119
					認知症スキルアップ	－	－
					静脈注射実践Ⅰ	4	20

2　成果・課題

（1）看護職員のキャリア開発

院内研修は e-ラーニングと対面での講義、体験、発表等の形態で実施した。講義だけでなく体験を通した学びを発表することで得られるものが多くあり、各研修目標の達成度は高い。新人看護師のラダー評価会は、計画的に実施することが出来た。また、実践者ラダーレベルⅢやⅣを目指す看護職員が増えており、キャリアアップが図れている。次年度は、実践者ラダーⅢに「老年看護」のコースを立ち上げる。各自がキャリアを考える環境が整ってきたため、より質の高い教育の機会が提供できるよう企画していきたい。

（２）特定行為研修修了看護師の育成

今年度の特定行為研修修了者は、総数 13 名となり、新たに末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理の特定行為を 2 名取得した。特定行為看護師は、講義・演習によって習得した実践力と高度かつ専門的な知識および技能を向上する能力を統合することで、医師の指示の下、手順書を用いて実践している。医師のタスクシフトとして、医師の負担軽減に繋がっており、活躍を期待している。次年度は、新たに腹腔ドレナージチューブの抜去の特定行為を拡大していく予定であり、特定行為看護師が高度な臨床実践を発揮できるよう体制の整備を図っていく。

（３）看護管理者のキャリア開発

今年度は各看護管理者研修（ファースト・セカンド・サード）には、10 名受講することができた。研修修了後は、研修での学びや取り組んだ課題について発表を行い、共有を図っている。今後も看護管理者の計画的な育成を目指す。更に、看護管理者が、役職に応じた管理実践能力の向上を図るため、管理者ラダーの取得を推進していく。

（４）役割研修による看護師育成

スキルアップとして褥瘡ケア、CVPPP に基づく看護ケア、認知症ケア研修等には、各部署１～2 名受講することができた。また、救護関連の研修では、赤十字救急法、赤十字健康生活支援講習会、こころのケア要員研修、救護員としての赤十字看護師養成研修、救護員としての赤十字看護師フォローアップ研修を当院で開催することができた。

労働力人口の減少を背景に、看護補助者の確保は困難になっており、看護師が質の高い看護を提供するためには、看護補助者との協働が課題となっている。看護師と看護補助者が働きやすい環境を協働できるために、集合研修と現場教育の充実を図っていく。

（５）看護補助者のキャリア開発

看護補助者のラダーを取得する看護補助者が増加している、今年度の看護助手ラダーレベルⅠは 3 名、レベルⅡは 2 名、レベルⅢは 3 名が修了した。介護福祉士は、看護助手と同じラダー研修の申請をしてきたが、当院が求める介護福祉士像を明確にし、当院独自の介護福祉士ラダーの構築を目指す。

令和8年度　実践者・看護助手・管理者ラダー　レベル別研修計画

★リーダー
●サブリーダー

R8年4月1日

レベル分類	研修会名	担当者	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
入職時	新卒看護師・既卒看護師　新規採用者研修	別紙：4月1日からの新規採用者研修に掲載	（別紙参照）	既卒入職者は入職初日に研修実施									
レベルⅠ	【集合研修】 ・新卒看護師　集合研修 ・チームワークショップ ・フォローアップ研修 ・多重課題 ・赤十字活動	【フォローアップ研修】 ★佐藤係長、●森主任、小森師長、渡邊副部長 【麻薬管理】 ★星野係長、佐藤利（7D） 【チームワークショップ】 小森師長、渡邊副部長、白井係長、佐藤係長	集合研修	チーム医療ワークショップ① 5/8	フォローアップ研修 ① 6/30 (16:00～17:00)		多重課題（各部署）8/1～10/31		フォローアップ研修・麻薬② 10/23 (16:00～17:00)	チーム医療ワークショップ② 11/13			
	【ラダー研修】 ・グローバルヘルスⅠ ・看護倫理Ⅰ ・フィジカルアセスメントⅠ①②	【グローバルヘルス】 ★奥村係長 【看護倫理Ⅰ】 ★野口主任、●奥村係長 【フィジカルアセスメントⅠ①急変時の看護】 ★大松(ICU)、嶋田係長、三浦主任、上田主任（6B）、沖田（ICU）、高木（7C） 【フィジカルアセスメントⅠ②】 ★小川主任、●川村係長、韮澤係長 新留係長、平野主任	グローバルヘルスⅠ 4/9 (8:35～10:05) フィジカルアセスメントⅠ①（急変時の看護） 4/17 (9:00～12：00) or (13：30～17：00)	出張届け提出 みなとスケジューラは院外教育→分類コード【（公費あり）その他の院外研修）】、公費有、タイトルに「チーム医療ワークショップ」と入力		看護倫理Ⅰ 7/9 (16:00～17:00)	フィジカルアセスメントⅠ② 8/7 (9：00～12：00) or (13：30～16：30)						
レベルⅡ	フィジカルアセスメントⅡ （全5回）	★白井係長、●河野師長 ①佐藤絵、本間、竹内 ②臼井、笹子、髙原 ③三浦、上田、朱 ④小川、伊藤、松井 ⑤緒方、岡部、宮崎（5C）	①呼吸器 5/19 or 5/22　or6/18 (16:00～17:00)		②循環器 6/26 or 7/17 or 7/24 (16:00～17:00)		③脳神経 8/28 or 9/4 or 9/25 (16:00～17:00)		④消化器 10/2 or 10/23 or 11/27 (16:00～17:00)		⑤運動器 12/18 or 12/25 or 1/22 (16:00～17:00)		
	看護と診療報酬	★古田係長 ●増田主任 関主任　大沢主任						9/8 or 9/11 16：00～17：00					
	看護とコミュニケーションⅡ				6/2 or 6/9 (16:00～17:00)								
	専門領域研修	小森師長	部署間研修又は看護協会等の院外研修（出張として認められたもの）										
レベルⅢ	リーダーシップとメンバーシップ （全4回）	★井澤係長 ●實原係長 高野師長		①5/29 (16：00～17:00)		②7/28 (16：00～17:00)	③部署内活動と部署内発表　（7/28～1/24）					④1/28 (16：00～17:00)	
	後輩育成	★小森師長	はじめて実地指導者の役割を担う人対象										3/9 16：30～17:00
	看護倫理Ⅲ （全3回）	★小林係長 ●小松（ICU） 錦木主任（5D）			①6/30 (17:00～18:00)	②各部署事例検討(30分)　7/1～11/17				③11/20 (17:00～18:30)			
	看護研究(入門) （全3回）	★竹谷主任 ●小松（ICU） 星野係長		①5/15 (17:00～18:00)		②7/1 (17:00～18:00)	●部署内でブレーンストーミング30分（カンファレンスや相談会、チーム会活用） ●7/2～12/7　受講者は毎月1回30分程度、アドバイザーの支援を受ける				③12/14 (17:00～18:00)		
	マネジメント入門 （全4回）	★宮崎係長 ●川上係長 今朝丸主任 堀越師長			①6/29 (17:00～18:00)		②8/21 (17:00～18:00)	③管理体験(3時間)　8/24～11/27			④12/4 (17:00～18:00)		
	看護ケア　フィジカルアセスメントⅢ （全4回）	★佐藤絵美（救急） ●佐々木龍朗（ICU）			①6/3 (17:00～18:00)			②9/2 (17:00～18:00)	③10/7 (17:00～18:00)		④12/23 (17:00～18:00)		
	看護ケア　NEW　老年看護 （全4回）	★大坪師長 ●中村（6D） 大久保係長			①6／1 (17：00～18：00)	②7／2 (17:00～18:00)			③10/14 (17:00～18:00)		④12/15 (17:00～18:00)		
	看護ケア　がん看護 （全4回）	★星野係長 がんスペシャリスト会				①7/31 (17:00～18:00)	②8/26 (17:00～18:00)	③9/30 (17:00～18:00)				④1/21 (17:00～18:00)	
	入退院支援と家族看護 （全5回）	★小野係長 馬見新主任 （木村係長）		①5/28 (17:00～18:00)	②6/23 (17:00～18:00)	③(3時間)6/24～9/14		④9/15 (17:00～18:00)			⑤12/17 (17:00～18:00)	⑥日未定 家族看護 ※キャリア開発支援部で開催	
	実習指導	★角屋師長	院外研修で読み替え(企画書参照)										
レベルⅣ・Ⅴ	看護ケア　難床推論	★石鉢師長 特定行為研修修了者 ①眞永（ICU）、古田係長 ②佐々木（ICU）、眞山主任 ③大坪師長、大松（ICU） ④小川主任、佐藤利枝（7D）			①6/25 (17:00～18:00)		②8/5 (17:00～18:00)		③10/28 (17:00～18:00)		④12/2 (17:00～18:00)		
レベルⅣ	キャリア力カウンセリング	渡邊副部長 ★小森師長	1年間通して①学研動画講義視聴　②自己キャリアを形成するための学会や研修会の参加　※企画書参照　※学研の自己IDでのログイン及びタイムリフォーマーでも申請する。										
	ストレスマネジメント （全3回）				①6/11 (17:00～18:00)	②7/23 (17:00～18:00)	③部署での実践　8～12月						
	組織論とアサーティブネス	★石鉢師長										1／8 (17:00～18:00)	
介護福祉士ラダー　レベルⅠ	看護助手ラダー　レベルⅠ	★田鎖師長 ●大久保係長 松井主任 三浦主任	6か月通して、①入職時オリエンテーション　②補助者必須研修AB　③安全・感染に関する講義　④学研動画講義視聴　※学研の自己IDのログイン及びタイムリフォーマーでも申請　⑤テーマ別研修受講										
介護福祉士ラダー レベルⅡ	看護助手ラダー　レベルⅡ ①赤十字7原則					②7/30 (15:00～16:00)		②コミュニケーションはテーマ別研修「「伝える力のスキルアップ」「自己アピールする力」を受講する					
	看護助手ラダー　レベルⅢ ①問療支援						①8/26 (15:00～16:00)						
介護福祉士ラダー　レベルⅢ	看護助手ラダー　レベルⅣ ①リーダーシップとメンバーシップ								②10/9 (15:00～16:00)				
管理者ラダー レベルⅠ	新任係長研修 （全4回）	渡邊副部長 小森師長	①4/22 (15:00～16:00)				②8月（日未定） 15：00～16：00		③10/14 (15:00～16:00)		④12/9 (15:00～16:00)		
管理者ラダー レベルⅡ	新任師長研修 （全4回）		①3月中 (10:00～15:00) ②4/15 (16:00～17:00)		③6/17 (16:00～17:00)								④2/17 (16:00～17:00)

５－３　職員研修（薬剤部）

１　データ

（１）部内研修実績

・薬剤に関する説明会　6回
・医療安全・RMに関する勉強会　5回
・プレアボイド・診療録に関する勉強会　4回
・医薬品情報室（DI室)からの情報共有　7回
・副作用報告に関する勉強会　5回
・学会発表予演会　5回
・文献検索・文献抄読に関する勉強会　2回
・災害・救護に関する勉強会　3回
・治験に関する勉強会　2回
・地域連携に関する勉強会(薬薬連携座談会)　2回
・実務実習報告会　3回
・がん化学療法に関する勉強　6回
・感染・抗菌薬・ASTに関する勉強会　5回
・栄養に関する勉強会　2回
・緩和医療に関する勉強会　3回
・TDMに関する勉強会　3回
・調剤に関する勉強会　3回
・中毒に関する勉強会　3回
・糖尿病関連勉強会　1回
・腎臓病関連勉強会　1回
・手術・周術期関連業務に関する勉強会　1回
・ポリファーマシーに関する勉強会　1回
・臨床推論に関する勉強会　1回
・精神疾患に関する勉強会　1回
・電子カルテの関する勉強会　2回
・その他チーム医療に関する勉強会　5回

（２）部外のとの勉強会

・地域連携に関する勉強会(薬薬連携座談会)　2回
・他病院との勉強会(みなと赤十字、けいゆう、市民病院)　2回
・保険薬局との勉強会(みなとかんわ薬薬勉強会)　1回

（３）学会発表

・第10回J’s-CAT学術集会(日本臨床・分析中毒学会)　1演題

・第 35 回日本医療薬学会年会　1 演題
・日本臨床腫瘍薬学会　学術大会 2026（第 15 回）　1 演題

（4）論文投稿
・The Journal of Toxicological Sciences　1 報

（5）受賞
・令和 7 年度日赤薬剤師会東部ブロック優秀演題賞
・令和 7 年度日赤薬剤師会優秀論文賞

（6）講演・シンポジスト
・南区薬剤師会・市大センター病院地域医療連携研修会
・第 18 回日本緩和医療薬学会年会シンポジウム
・横浜市中区薬剤師会研修会
・第 47 回日本中毒学会総会・学術集会シンポジウム
・日本集中治療医学会第 9 回関東甲信支部学術集会シンポジウム
・神奈川県薬剤師会学術フォーラムシンポジウム
・Pharmacist Web Seminar ～ チーム医療における薬剤師の役割 ～講演

２　成果
・薬剤部内において部員会での研修プログラムを作成し、薬剤師研修委員会を中心に部員会をはじめとした研修の質の向上に努めている。
・日赤の新たな取り組みである勤務評定システムを活用し、目標達成の進捗を確認し目標の調整を行いながら進めてきた。
・勉強会・研修会の内容は部員の意見を聴取し、プログラムに反映して実施した。
・保険薬局だけでなく、地域の病院とも共催の勉強会を開催して、地域全体の薬物治療の向上を考慮して実施している。

３　課題
・薬剤師教育ラダーを活用しているが、日赤本部の教育ラダーや勤務評定についてもバランスよく活用しながら、引き続き検討していく必要がある。
・薬物療法の質向上につなげるため、専門、認定薬剤師取得者を増やしていきたい。また外部の研修、学会への参加を引き続き積極的に進める。今後も他施設との情報交換も積極的に進め、専門、認定の必要性についてもさらに理解を深める必要がある。
・設定した個人目標を達成できるようにサポート体制についても充実させていく必要がある。

５－４　職員研修（医療技術部門）

１　データ

研修会名	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
新規採用者オリエンテーション	４月開催	４月開催	４月開催
チーム医療ワークショップ	年間 2 回開催	年間 2 回開催	年間 3 回開催
研修会参加数（5 部門）	年間 150 回	年間 149 回	年間 251 回
学会発表（5 部門）	－	年間 10 件	年間 26 件

２　成果

医療技術部門は放射線科部、検査部、栄養課、リハビリテーション科部、臨床工学部の 5 部門で構成されている。それぞれの部門において、医療ニーズにあった専門資格の取得を促し、学会発表や研修会に参加することで、専門性や技術の向上に繋げることができた。

その他に、学会座長が 6 件、院外講演・講師担当が 16 件あり、外部組織での活動も積極的に行っている。

５－５ 職員研修（事務部）

１　データ

研修名	令和６年度実績	研修名	令和７年度受講者
レベル１ （入社１年目）	対象者：4 人 ・事務部門理解 ・メンタルヘルス ・文書管理研修 ・コミュニケーションスキル ・当直研修等 計 14 回	・新入職多職種合同研修(3 日間) ・新人導入研修(15 日間) ・フォローアップ研修(1 回) ・文書管理研修(１回) ・当直研修(１回) ・チーム医療ワークショップ （5 月 1 回・11 月 1 回） ・神奈川県支部研修	新人職員 10 名
		・日本病院会研修（医事コース）	新人職員 1 名
レベル２ （入社２年目）	対象者：4 人 ・メンタルヘルス ・診療報酬・災害救護・会計・物流管理・病院機能等 計９回	・目標管理研修（1 回） ・スキルアップ研修Ⅰ（2 回） ・神奈川県支部 2 年目研修	2 年目職員 3 名
レベル３ （入社３年目以降の主事）	対象者：42 人 １G：コミュニケーション ２G：データ分析 ３G:PDCA サイクル 上記 3 グループ、各 2 回講義と発表	・目標管理研修（1 回） ・スキルアップ研修Ⅱ（2 回）	3～4 年目職員 5 名
		・スキルアップ研修Ⅲ（2 回）	5～6 年目職員 5 名
		・ポジティブフィードバック研修（1 回） ・神奈川県支部中堅職員研修	7 年目以上職員 15 名 主任 10 名
		・日本病院会研修（経営管理）	主事 1 名
レベル４ （係長クラス）	対象者：17 人 ・課題解決型チーム研修 1 回 発表 1 回	・労務管理 ・メンタルヘルス研修 ・マネジメント研修 ・研修報告会 ・神奈川県支部係長研修	事務係長 16 名
		・日赤本社各種研修	事務係長 4 名
		・日本病院会研修	事務係長 2 名
レベル５ （課長クラス）	対象者：13 人 ・組織横断的な課題解決研修 ・事務部目標に対する取り組み発表等 計 3 回	・急性期病院における経営戦略 ・労務管理 ・医療データに基づく戦略的な病院経営 ・リーダーシップ研修 ・BSC 研修 ・研修報告会 ・神奈川県支部課長研修	事務課長 11 名 事務副部長 2 名
		・日赤本社各種研修	事務課長 2 名

		・日本病院会（各種）	事務課長 1 名
		・医師事務作業補助者リーダー研修（2 回・個人指導）	MA リーダー 6 名
		・保険診療講演会（2 回）	多数
		・社会復帰支援講演会（1 回）	5 名
		・暴力対応研修（1 回）	2 名

2　成果

今年度、事務職員のキャリアアップガイドラインを見直した。事務職員の目指す姿とキャリアパスを明文化し、求められる役割、期待される能力を基に研修構築した。新人職員は入職時に約 3 週間研修を実施し、病院事務職員としての知識と自覚を得ることで各職場に溶け込むことができた。2 年目から 6 年目までは分析力、企画力向上を目的としたスキルアップ研修を実施し、年度末にはその成果を発表することができた。事務係長、事務課長は基本的なマネジメントや労務管理、さらに経営戦略までの研修を受講し、自身の振返りや自部署の課題等に向き合う時間を得た。事務職員は院内、院外の何等か研修を受講する機会が得られ、学習する環境がつくられつつある。

3　課題

キャリアアップガイドラインに則り、自身の目標を明確にし、キャリアを積み上げていく職員の育成を目指したい。また、各研修企画書を基に実施評価し、目指す事務職員像に近づく育成を検討していきたい。

６　院外からの研修受入れ

６－１　院外からの研修受入れ（医師）

１　データ

クリニカルクラークシップ受入れ数

	令和５年度	令和６年度	令和７年度
受入れ総数	13 名	９名	11 名

２　成果

近年、大学の臨床実習期間が延長され、大学病院以外の病院でもクリニカルクラークシップが行われるようになっている。各大学より要請のあった診療科では積極的に教育活動に参加いただいた。

令和７年度は４大学（東京科学大学５名、横浜市立大学３名、杏林大学２名、聖マリアンナ医科大学１名）から 11 名の学生を受け入れた。診療科別の受入実績は、外科３名、救急科２名、消化器内科１名、リウマチ科１名、呼吸器内科１名、総合診療科１名、感染症科１名、糖尿病内科１名である。

３　課題

今後、各大学からのクリニカルクラークシップ受け入れ要請の増加が見込まれる。受け入れ要請があれば今後も可能な限り学生を受け入れていきたい。

６－２　院外からの研修受入れ（看護部）

１　データ

（１）研修受入れ数（添付資料参照）

ア　看護基礎教育実習

	令和５年度	令和６年度	令和７年度
受入れ総数	347 名	350 名	300 名

イ　卒後教育実習

	令和５年度	令和６年度	令和７年度
受入れ総数	11 名	6 名	18 名

（２）実習指導者研修

	令和５年度	令和６年度	令和７年度
実習指導者研修修了者数※	44 名	54 名	66 名

※看護師長、日本赤十字看護大学実習指導者研修は含まない。

２　成果と課題

（１）基礎教育実習と卒後教育実習の受入れ

ア　基礎教育実習は大学２校（日本赤十字看護大学、創価大学）と看護専門学校３校（神奈川県立よこはま看護専門学校、神奈川県立衛生看護門学校、横浜市病院協会看護専門学校）を受け入れた。日本赤十字看護大学では、今年度より基盤実習Ⅰ、総合実習の中で、チームアプローチと多職種連携を学ぶため、内視鏡・検査、透析室、緩和ケア病棟、化学療法室での実習を行った。実習指導者と担当教員と事前の打ち合わせを密に行い、連携を強化することで、実習でも学びが深められるよう支援を行った。

イ　卒後教育では、専門看護師の実習受け入れ先を追加するなど各大学院、教育機関から 18 名の実習生を受け入れ、全日程実習を実施することができた。実習生と関わることで各部署の看護や看護管理を振り返る機会を得ることができ、意見交換を通して学びを深めることが出来た。今後も積極的に実習生を受け入れていきたい。

（２）実習指導者の育成

令和７年度は、実習指導者講習会（長期）に８名派遣した。令和８年度は、７名派遣予定である。今後も長期実習指導者研修生の計画的な育成を目指す。また、日本赤十字看護大学フロンティアセンターの実習指導者研修は 20 名が受講できた。今後も教育の質向上を目指し育成を継続する。

（３）実習環境の整備

休憩室は、インターネット検索や資料作成が可能なパソコン、プリンターを常備するなど実習環境を整備している。実習生が多い時期は、担当教員と連携し、実習時期の調整などを行った。

６－３　院外からの研修受入れ（薬剤部）

１　データ

研修名	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
薬科大実務実習	14 名	15 名	13 名	14 名
学生版薬薬連携実習	7 名	7 名	5 名	8 名
アドバンスト研修	1 名	1 名	1 名	0 名

２　成果

薬科大学実務実習では、新しいコアカリキュラムに沿い、臨床現場を重視した実習を実施してきた。学生１名に対して実務実習指導薬剤師を２名配置し、臨床に即した指導体制を整えている。

また、学生時から薬薬連携を意識することを目的として、中区薬剤師会会員薬局で実習中の学生とともに、薬薬連携実習を実施した。

その他、神奈川県病院薬剤師会実務者研修会の研修生２名を受け入れた。

さらに、赤十字関連病院からの見学についても適宜受け入れている。

３　課題

令和元年度から、実務実習では新しいコアカリキュラムに基づく実習が展開されており、それに対応できる体制整備を進めてきた。

今後は、さらに実習内容を充実させ、実習の場でしか得られない学びを提供できるよう、指導薬剤師の質の向上を図りながら取り組んでいきたい。

６－４　院外からの研修受け入れ（リハビリテーション科部）

１　データ

リハビリテーション実習生受け入れ状況

令和５年度：	理学療法臨床実習生	２名	理学療法評価実習生	２名
	作業療法臨床実習生	２名	作業療法評価実習生	１名
	作業療法見学実習生	６名		
令和６年度：	理学療法臨床実習生	２名	理学療法評価実習生	２名
	作業療法臨床実習生	２名	作業療法評価実習生	１名
	作業療法見学実習生	２名		
令和７年度：	理学療法臨床実習生	１名		
	作業療法臨床実習生	２名	作業療法評価実習生	１名
	作業療法見学実習生	２名		

２　成果

令和７年度も、理学療法実習・作業療法実習の受け入れを継続し、複数校からの臨床実習・評価実習・見学実習を安定的に受け入れた。臨床実習では神奈川県立保健福祉大学および横浜リハビリテーション専門学校、評価実習では国際医療福祉大学、見学実習では横浜リハビリテーション専門学校の学生を受け入れ、教育機関からの信頼に応える実習体制を維持できた。

感染対策に十分配慮しつつ、急性期病院におけるリハビリテーション評価・治療の実際を、実習期間を通して提供し、地域のリハ専門職育成に貢献した。

３　課題

実習生を受け入れるにあたり、実習指導者の時間的・精神的負担が依然として大きいことが主要な課題である。特に令和７年度は新入職者が４名と多く、新人教育に要する時間が大幅に増加したことで、実習指導と新人教育が重なり、指導者の負担が例年以上に増大した。

また、実習生に対して適切な学習機会を確保しつつ、スタッフの業務量とのバランスを取る必要があり、教育負担が特定の指導者に集中しやすい構造的課題が残っている。

さらに、臨床経験５年以上のスタッフが臨床実習指導者研修会を修了できるよう、継続的な参加を促し、教育体制の質向上を図る必要がある。

６－５　院外からの研修受入れ（救命救急センター）

１　データ

救急救命士・救急員の実習生受入数

	令和５年度	令和６年度	令和７年度
横浜市消防局	6 人	8 人	6 人
海上保安本部	12 人	13 人	22 人
陸上自衛隊	31 人	29 人	29 人

２　成果

病院前救護に必要な医学的知識・技能及び救急・救助活動における総合的な対応能力の維持・向上を目的とし、救命救急士・救急員の実習生受入を行っている。また、厚生労働省が実施する救命救急センター充実段階評価で、「救急救命士の気管挿管または薬剤投与実習の受入れ」が評価項目に入っており、病院としても積極的に実習生受入れを行っている。

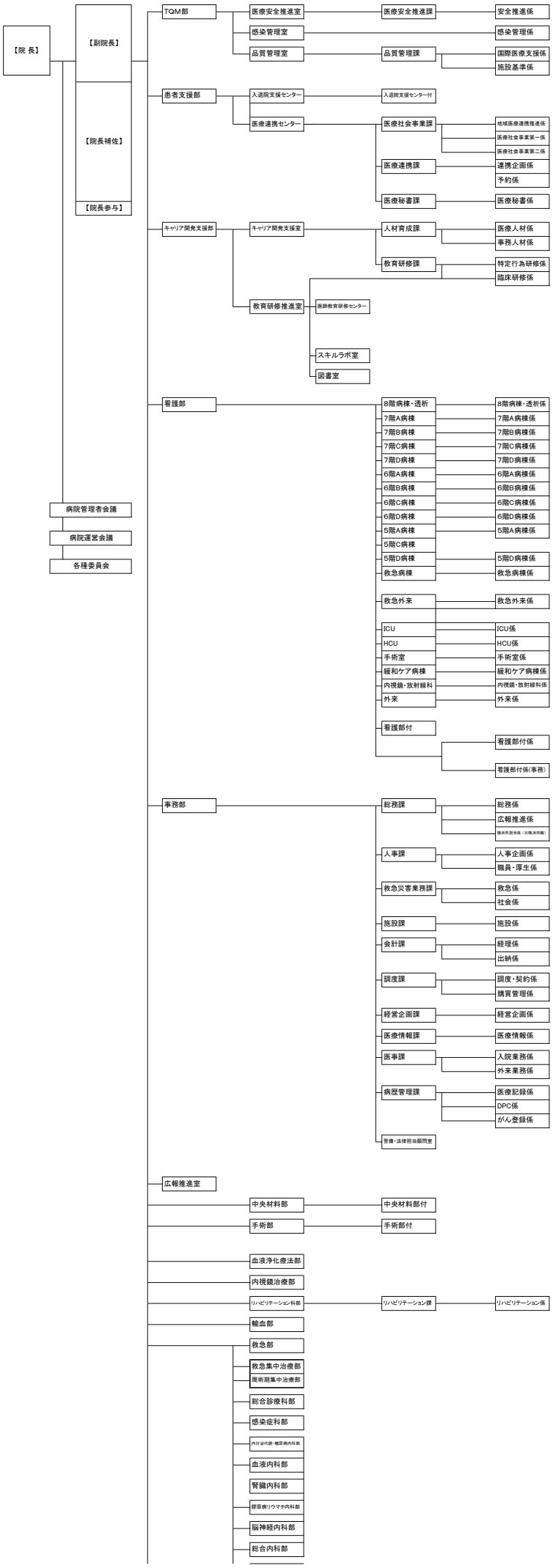
令和 7 年度は横浜市消防局、海上保安庁、陸上自衛隊から合計 57 人を受け入れ、救急救命士の教育ガイドラインや院実習実施要領等に基づき、当院の救命救急センターにおいて見学や実習を行った。

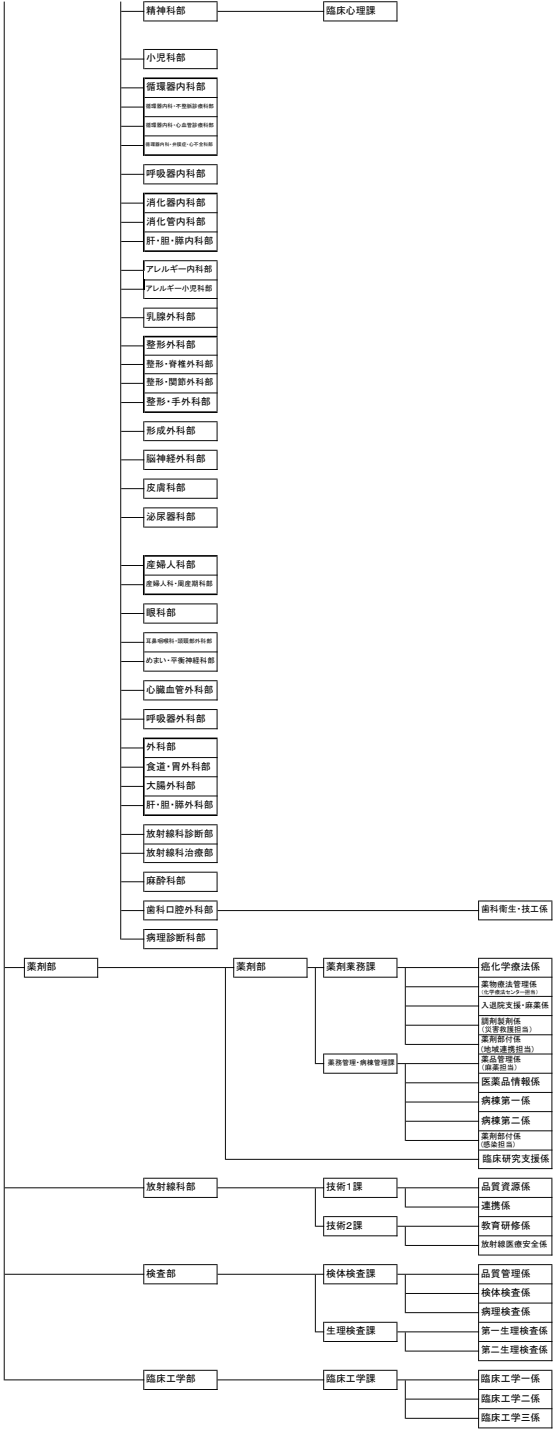
３　課題

当院は救急患者数が多く、横浜市消防局をはじめとした関係機関との連携が不可欠である。救急救命士の能力向上が市民の救命につながるため、今後も可能な限り実習生の受入を行っていきたい。

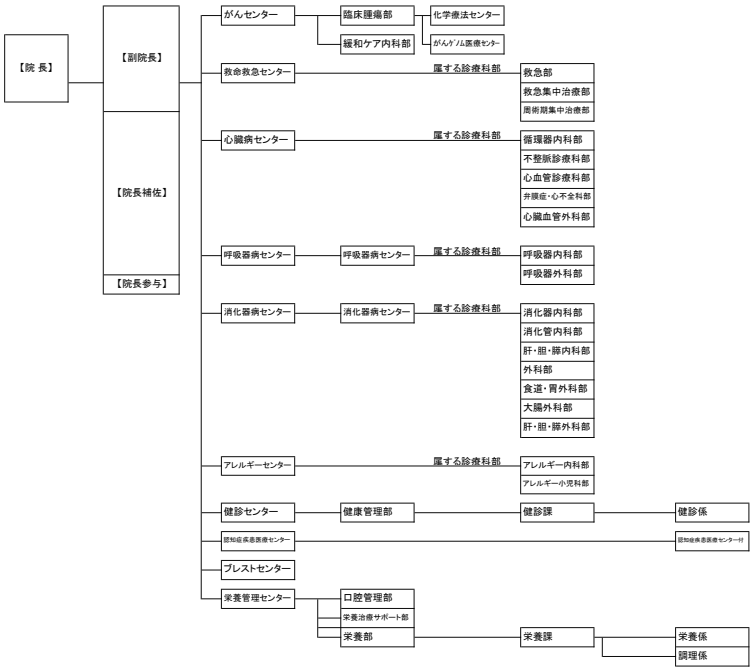
7　職員

横浜市立みなと赤十字病院　組織図　令和7年4月1日




精神科部
臨床心理課
小児科部
循環器内科部
循環器内科・不整脈診療科部
循環器内科・心血管診療科部
循環器内科・外来症・心不全科部
呼吸器内科部
消化器内科部
消化管内科部
肝・胆・膵内科部
アレルギー内科部
アレルギー小児科部
乳腺外科部
整形外科部
整形・脊椎外科部
整形・関節外科部
整形・手外科部
形成外科部
脳神経外科部
皮膚科部
泌尿器科部
産婦人科部
産婦人科・周産期科部
眼科部
耳鼻咽喉科・頭頸部外科部
めまい・平衡神経科部
心臓血管外科部
呼吸器外科部
外科部
食道・胃外科部
大腸外科部
肝・胆・膵外科部
放射線科診断部
放射線科治療部
麻酔科部
歯科口腔外科部
歯科衛生・技工係
病理診断科部
薬剤部
薬剤部
薬剤業務課
癌化学療法係
薬物療法管理係
（化学療法センター担当）
入退院支援・麻薬係
調剤製剤係
（災害救護担当）
薬剤部付係
（地域連携担当）
薬務管理・病棟管理課
薬品管理係
（麻薬担当）
医薬品情報係
病棟第一係
病棟第二係
薬剤部付係
（感染担当）
臨床研究支援係
放射線科部
技術1課
品質資源係
連携係
技術2課
教育研修係
放射線医療安全係
検査部
検体検査課
品質管理係
検体検査係
病理検査係
生理検査課
第一生理検査係
第二生理検査係
臨床工学部
臨床工学課
臨床工学一係
臨床工学二係
臨床工学三係

以下、センター機能図


【院 長】
【副院長】
【院長補佐】
【院長参与】
がんセンター
臨床腫瘍部
化学療法センター
緩和ケア内科部
がんｹﾞﾉﾑ医療センター
救命救急センター
属する診療科部
救急部
救急集中治療部
周術期集中治療部
心臓病センター
属する診療科部
循環器内科部
不整脈診療科部
心血管診療科部
弁膜症・心不全科部
心臓血管外科部
呼吸器病センター
呼吸器病センター
属する診療科部
呼吸器内科部
呼吸器外科部
消化器病センター
消化器病センター
属する診療科部
消化器内科部
消化管内科部
肝・胆・膵内科部
外科部
食道・胃外科部
大腸外科部
肝・胆・膵外科部
アレルギーセンター
属する診療科部
アレルギー内科部
アレルギー小児科部
健診センター
健康管理部
健診課
健診係
認知症疾患医療センター
認知症疾患医療センター付
ブレストセンター
栄養管理センター
口腔管理部
栄養治療サポート部
栄養部
栄養課
栄養係
調理係

7－2 職員配置状況

令和8年3月31日現在

職種		配置人員数	内訳			備考
			常勤	非常勤	派遣職員等	
管理部門	事務職員	249.0	135.0	17.0	97.0	常勤に看護師7、横浜市職員1名含む
	技術職員	1.0	1.0	0.0	0.0	
	運転手	0.0	0.0	0.0	0.0	
	ボイラー技師	0.0	0.0	0.0	0.0	
	電話交換手	2.0	0.0	0.0	2.0	
診療部門	医師	342.0	229.0	113.0	0.0	
	歯科医師	6.0	5.0	1.0	0.0	
看護部門	看護師	638.0	632.0	6.0	0.0	
	准看護師	0.0	0.0	0.0	0.0	
	看護助手	56.0	46.0	8.0	2.0	
	事務職員	23.0	2.0	0.0	21.0	
健診部門	看護師	3.0	3.0	0.0	0.0	
	事務職員	13.0	3.0	1.0	9.0	非常勤に助手1名含む
連携部門	社会福祉士	9.0	9.0	0.0	0.0	
	精神保健福祉士	2.0	2.0	0.0	0.0	
	看護師	18.0	18.0	0.0	0.0	
	事務職員	19.0	10.0	0.0	9.0	
検査・医療技術部門	薬剤師	48.0	41.0	1.0	6.0	
	診療放射線技師	38.0	38.0	0.0	0.0	
	臨床検査技師	53.0	49.0	4.0	0.0	常勤に衛生検査技師1含む
	理学療法士	24.0	24.0	0.0	0.0	
	作業療法士	11.0	10.0	1.0	0.0	
	言語聴覚士	7.0	6.0	1.0	0.0	
	マッサージ師	0.0	0.0	0.0	0.0	
	臨床工学技士	15.0	15.0	0.0	0.0	
	視能訓練士	2.0	2.0	0.0	0.0	
	歯科衛生士	5.0	5.0	0.0	0.0	
	臨床心理士	4.0	3.0	1.0	0.0	
	管理栄養士	15.0	15.0	0.0	0.0	
	栄養士	0.0	0.0	0.0	0.0	
	救急救命士	6.0	2.0	0.0	4.0	
	調理師	4.0	4.0	0.0	0.0	
	事務職員	9.0	1.0	0.0	8.0	薬剤部、放射線科部
その他		18.0	1.0	10.0	7.0	放射線科技術員、検査部技術員ﾊﾟｱﾚﾙｷﾞｰｾﾝﾀｰ事務、産婦人科事務ﾌﾟﾚｽﾄｾﾝﾀｰ事務、薬剤部技術員ﾊﾟｴｺｰ室事務
合計		1640.0	1311.0	164.0	165.0	

８　施設管理

８－１　医療機器の整備状況

購入単価500万円以上のもの

	部門名	機器名称	用 途	新規・更新
1	診療部門	X線骨密度測定装置	診断用	更新
2	中央部門	大動脈バルーンポンプ	治療用	更新
3	中央部門	超音波ガストロビデオスコープ	診断用	更新
4	診療部門	個人用多用途透析装置	治療用	更新
5	診療部門	救命救急センター モニタリングシステム	診断用	増設
6	診療部門	超音波診断装置	耳鼻科用	更新

８－２　施設設備改修報告

（令和７年度）

	部門名	施設・設備名称	面積(㎡)	用途	新規・修繕
1	病院棟	救急外来環境改善工事	－	救急外来の面積を広げて、初療ベッド（4床から5床）と陰圧室（１床から２床）とリカバリールーム（８床から９床）等を増やし、受入れの幅を拡充した。	新規
2	病院棟	１階外来ホール天井埋込ダクト形増設及び一部病棟コンプレッサー付きファンコイル新設工事	－	院内の冷房能力が不足しているため、１階外来と一部病棟の冷房設備を増設及び新設した。	新規
2	病院棟	空調自動制御システム（空調中央監視装置）更新	－	院内の空調自動制御システムに関する空調設備が老朽化したため更新した。	修繕
3	病院棟	自動ドア設備各所更新	－	院内の自動ドア設備が老朽化したため更新した。	修繕
4	エネルギーセンター棟	発電機G-1,G-2　排ガス煙道調査及びフレキシブル配管更新	－	フレキシブル配管が老朽化したため更新した。	修繕
5	エネルギーセンター棟	発電機G-1、G-2、G-3　始動空気系統整備	－	始動空気系統の部品が老朽化したため更新した。	修繕
6	エネルギーセンター棟	特高電気室直流電源装置（本体更新）	－	電力会社から受電した電気を当院で変圧し使用できるようにするための直流電源装置が老朽化したため更新した。	修繕
7	エネルギーセンター棟	発電機G-1,G-2シーケンサー更新及び発電機G-1,G-2,G-3VCB更新		発電機の運転制御をコントロールしている部品が老朽化したため更新した。	修繕
8	エネルギーセンター棟	直流電源装置（操作制御用）更新	－	直流電源装置（操作制御用）が老朽化したため更新した。	修繕
9	エネルギーセンター棟	スクリューヒートポンプチラー2台圧縮機更新	－	冷房用の冷水を製造している圧縮機が老朽化したため更新した。	修繕
10	エネルギーセンター棟	吸収式冷凍機RA-3高温熱交換器交換作業	－	高温熱交換器が老朽化したため更新した。	修繕
11	エネルギーセンター棟	受変電設備変圧器用品交換(2系)	－	電力会社から受電した電力を降圧させる変圧器用品が老朽化したため更新した。	修繕
12	エネルギーセンター棟	医療ガス室　マニホールド更新（予備酸素・予備空気・予備窒素・笑気）	－	マニホールドが老朽化したため更新した。	修繕

8－3 施設設備管理報告　　法定及び自主点検業務

法定点検業務等	点検種別	周期	実施回数	令和7年度												関連法規及び保守管理基準
				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
特定建築物	定期検査	1回/1～3年	1回/年							●						建築基準法
昇降機設備	定期検査	1回/年	12回/年	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	建築基準法
自家用発電設備（コジェネ発電）	定期検査	1回/年	2回/年			●								●		電気事業法・消防法
ボイラー	性能検査	1回/年	1回/年			●	●									労働安全衛生法
第1種圧力容器	性能検査	1回/年	1回/年			●	●									労働安全衛生法
ゴンドラ（H29.12.5～休止中）	性能検査	1回/年	停止中													労働安全衛生法
第2種圧力容器	自主検査	1回/年	12回／年	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	労働安全衛生法
小型ボイラ設備	自主検査	1回/月	12回／年	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	労働安全衛生法
簡易専用水道	定期検査	1回/年	1回/年								●					水道法
ガスタービン（ガス圧縮機）	定期検査	1回/3年	今年度該当なし													電気事業法※R6年実施次回R9年
消防設備	定期検査	2回/年	2回/年					●						●		消防法
地下タンク貯蔵所	定期検査	1回/3年	今年度該当なし													消防法 ※R6年実施次回R9年
避難はしご設備	自主点検	2回/年	2回/年					●						●		消防法
医療ガス設備	定期点検	4回/年	4回/年		●				●		●			●		高圧ガス保安法
特定施設（水質測定）	定期点検	1回/月	12回／年	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	下水道法
ばい煙測定	定期検査	2回/年	2回/年			●						●				大気汚染防止法
特高受変電設備定期検査	定期検査	1回/年	1回/年							●	●					電気事業法
高圧受変電設備定期検査	定期検査	1回/年	1回/年								●					電気事業法
無停電電源設備保守及び定期点検	定期検査	1回/年	1回/年									●				電気事業法
（非常用照明）	定期検査	（1回/年）	1回/年									●				電気事業法
直流電源設備保守及び定期点検	定期検査	1回/年	1回/年									●				電気事業法
電力中央監視設備保守及び定期点検	定期検査	1回/年	1回/年				●									電気事業法※更新次年度のため簡易点検
建築設備定期検査	定期検査	1回/年	1回/年							●						建築基準法
受水槽・高架水槽定期清掃	定期検査	1回/年	1回/年						●							水道法
飲料水水質検査	定期検査	2回/年	2回/年						●						●	水道法
害虫定期駆除	定期検査	1回/月	12回/年	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	ビル管理法

機能維持に関する保守管理等	管理種別	周期	実施回数	令和7年度												関連法規及び保守管理基準
				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
放送呼出装置	自主点検	2回/年	2回/年					●						●		消防法
ナースコール・インターホン設備	自主点検	2回/年	2回/年				●						●			メーカー標準点検
昇降機設備	自主点検	1回/月	12回/年	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	建築基準法
冷凍機設備	自主点検	3回/年	3回/年	●				●							●	メーカー標準点検
冷却塔設備	自主点検	2回/年	12回／年	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	自主点検
空気調和設備	機能点検	2回/年	4回／年		●			●			●			●		自主点検
空調自動制御設備	自主点検	1回/年	3回/年		●						●		●			メーカー標準点検
チラー点検	定期点検	1回/年	2回/年			●						●				フロン排出抑制法
各種水槽設備	清掃	1回/年	1回/年		●	●					●					横浜市条例
検査系排水処理設備	定期点検	1回/月	12回/年	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	メーカー標準点検
ＲＩ排水処理設備	自主点検	1回/年													●	放射線障害防止法
自動ドア設備	自主点検	2回/年	2回/年				●						●			メーカー標準点検
駐車場管制設備	自主点検	2回/年	2回/年				●						●			メーカー標準点検
搬送設備	自主点検	1回/月	12回/年	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	メーカー標準点検
冷却塔補給水薬注装置	自主点検	1回/月	12回/年	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	自主点検
厨房グリスフィルター定期清掃業務	清掃	4回/年	4回/年			●			●			●			●	自主管理
厨房グリストラップ定期清掃業務	清掃	6回/年	8回/年	●	●		●		●	●	●		●		●	ビル管理法

その他の保守管理業務	管理種別	実施回数	実施回数	令和7年度												関連法規及び保守管理基準
				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
空調機等フィルター交換（洗浄）	洗浄	1回/月	12回／年	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	汚れが認められたら交換
窓清掃	清掃	2回/年							●						●	汚れにより適宜行う
エチレンオキシド環境測定	定期点検	2回/年	2回/年			●						●				労働安全衛生法
ホルムアルデヒト作業環境測定	定期点検	2回/年	2回/年			●						●				労働安全衛生法

８－４　外部委託　（令和7年度）

	委託業務の名称	主な業務内容	受託者　（会社名）	主管部署
1	食事療養提供業務	患者用給食の調理、給食材料管理補助、食器洗浄等衛生管理補助、配膳・下膳業務	富士産業株式会社	栄養課
2	中央材料室洗浄･滅菌業務、手術室サポート業務、内視鏡室洗浄･消毒業務	使用済器材の回収･洗浄･滅菌･供給業務、手術室術間清掃業務	日本ステリ株式会社	調度課
3	検体検査業務	検体検査業務	株式会社ビー･エム･エル	検査部
4	検体検査業務	検体検査業務	株式会社エスアールエル	検査部
5	検体検査業務	検体検査業務	株式会社ＬＳＩメディエンス	検査部
6	患者用ベッド洗浄業務	ベッド等の清拭・定期点検業務	株式会社柴橋商会	調度課
7	寝具賃貸借及び洗濯業務	患者用寝具･職員当直用寝具賃貸借業務、洗濯全般業務	株式会社サンビームランドリー	調度課
8	白衣等リース業務	看護師、看護助手の白衣リース	株式会社柴橋商会	調度課
9	白衣等リース業務	医師、メディカルスタッフの白衣のリース	株式会社サンビームランドリー	調度課
10	ＳＰＤ物流管理サービス業務	医療材料の物流管理業務	東邦薬品株式会社	調度課
11	医薬品院内物流管理業務	購買管理補助業務、薬品在庫管理業務、配置定数薬の補充管理業務、搬送業務　等	東邦薬品株式会社	薬剤部
12	手術室コンサルティング業務	オペキットの供給、手術室の効率運営システム	株式会社ホギメディカル	調度課
13	心カテ室等における立会い業務	PM･ICD･CRT-D･CRT-P植込み、フォローアップ等	株式会社ＡＰＥＸ	調度課
14	医事関連業務	外来部門の計算・受付・クラーク業務及び保険請求関連業務	株式会社ソラスト	医事課
15	医療情報課（医療情報システム）関連業務	職員からの問合せ対応、マスタメンテナンス、操作訓練等	株式会社ソラスト	医療情報課
16	2階各科（センター）・健診センター関連業務、病棟クラーク関連業務	2階各科クラーク業務、健診センター業務、病棟クラーク業務	株式会社日本教育クリエイト	健診課、看護部、医事課
17	救急救命士・救急車運用業務	救急車両管理、救急救命士教育、救命処置、医師看護師の診療補助、他医療機関や消防関係との連絡調整等	株式会社パラメディック	救急災業務課
18	統計業務	医療情報課における統計業務（病院の経営指標となるもの、各種届出、報告、申請など病院として必要なもの等）	プライアルメディカルシステム株式会社	医療情報課
19	治験事務関連業務	治験事務局支援業務及び治験審査委員会事務局支援業務	ノイエス株式会社	薬剤部
20	院内保育所運営業務	職員子女の保育業務	株式会社ポピンズ	総務課
21	施設管理	施設設備の運転及び点検業務	ＴＭＥＳ株式会社	施設課
22	警備業務	院内外の警備業務	キョウワセキュリオン株式会社	施設課
23	清掃業務	外回り外来部門・病棟・手術室・事務室等院内清掃業務	株式会社丸誠サービス	施設課
24	産業廃棄物処理業務	院内から出されるゴミの収集運搬及び処理業務	株式会社神奈川保健事業社	施設課
25	一般廃棄物処理業務	院内から出されるゴミの収集運搬及び処理業務	株式会社神奈川保健事業社	施設課
26	感染性廃棄物収集運搬処理業務	院内から出される感染性廃棄物の収集運搬及び処理業務	株式会社トキワ薬品化工	施設課
27	医薬品（医療ガス）供給業務	医療用液体酸素・医療用液体窒素・医療用酸素ガス等の供給業務	株式会社イワサワ	施設課
28	統計解析業務	ＡＲＭＳ及び喘息日誌症例データ解析	小松研究事務所	アレルギーセンター
29	データ保管業務	診療録保管業務	株式会社寿製作所	病歴管理課
30	緑地維持管理業務	院内緑地の剪定・除草・芝生刈り業務	株式会社愛花園	施設課
31	被ばく線量測定業務	ルクセルバッジ・リングバッジ測定	長瀬ランダウア株式会社	放射線科
32	医療廃棄物処理業務	医療廃棄物処理業務	横浜綿布工業株式会社	施設課
33	病棟病室床頭台・ランドリー管理業務	病棟病室床頭台（ＴＶ・冷蔵庫）・コインランドリー保守管理業務	株式会社パースジャパン	施設課
34	コンサルティング業務	クリニカルパス改善	株式会社グローバルヘルスコンサルティング・ジャパン	病歴管理課

※派遣・保守に関する業務、倉庫借用に伴う業務を除く

９　経営報告

2025/4/1

2025年度　診療科別患者数等管理数値

診療科	外来(242日) 新患者数 当年度	新患者数 前年度	新患者数 増減	新患者数 増減率	延患者数 当年度	延患者数 前年度	延患者数 増減	延患者数 増減率	1日平均 当年度	1日平均 前年度	入院（365日） 新入院数 当年度	新入院数 前年度	新入院数 増減	新入院数 増減率	退院数	延患者数 当年度	延患者数 前年度	延患者数 増減	延患者数 増減率	1日平均 当年度	1日平均 前年度	在院日数 当年度	在院日数 前年度	救急患者 全体	救急車	入院
総合内科	473	511	-38	-7.4%	1,071	1,006	65	6.5%	4.4	4.2	338	374	-36	-9.6%	6	517	594	-77	-13.0%	1.4	1.6	3.0	3.0	446	388	428
糖尿病内分泌内科	506	512	-6	-1.2%	11,845	12,351	-506	-4.1%	48.9	51.0	361	374	-13	-3.5%	471	6,481	7,474	-993	-13.3%	17.8	20.5	12.4	13.1	117	100	115
血液内科	236	264	-28	-10.6%	5,917	6,391	-474	-7.4%	24.5	26.4	462	451	11	2.4%	473	8,431	8,724	-293	-3.4%	23.1	23.9	16.7	17.4	55	42	53
腎臓内科	285	280	5	1.8%	7,226	7,444	-218	-2.9%	29.9	30.8	309	311	-2	-0.6%	349	5,018	6,269	-1,251	-20.0%	13.7	17.2	12.5	14.7	108	91	102
膠原病リウマチ科	241	307	-66	-21.5%	10,195	10,324	-129	-1.2%	42.1	42.7	163	134	29	21.6%	237	3,806	4,210	-404	-9.6%	10.4	11.5	16.8	20.0	42	32	38
緩和ケア内科	9	5	4	80.0%	196	158	38	24.1%	3.9	3.2	12	1	11	1100.0%	19	412	29	383	1320.7%	1.1	0.1	26.6	5.2	2	2	2
呼吸器内科	788	1,037	-249	-24.0%	12,771	13,311	-540	-4.1%	52.8	55.0	919	1,152	-233	-20.2%	935	13,609	17,636	-4,027	-22.8%	37.3	48.3	12.2	13.1	481	387	438
消化器内科	2,016	2,021	-5	-0.2%	23,500	23,830	-330	-1.4%	97.1	98.5	2,291	2,378	-87	-3.7%	2,289	20,072	23,534	-3,462	-14.7%	55.0	64.5	7.8	9.3	982	728	919
循環器内科	1,915	1,709	206	12.1%	25,650	23,748	1,902	8.0%	106.0	98.1	2,032	1,961	71	3.6%	2,008	17,296	17,365	-69	-0.4%	47.4	47.6	6.3	6.6	908	786	609
脳神経内科	747	660	87	13.2%	8,238	7,414	824	11.1%	34.0	30.6	674	596	78	13.1%	730	8,616	9,171	-555	-6.1%	23.6	25.1	9.7	11.3	374	325	326
アレルギー科	247	232	15	6.5%	3,757	4,508	-751	-16.7%	15.5	18.6	70	38	32	84.2%	71	312	615	-303	-49.3%	0.9	1.7	3.5	10.3	50	35	48
小児科	2,439	2,993	-554	-18.5%	10,524	11,306	-782	-6.9%	43.5	46.7	965	1,167	-202	-17.3%	962	4,898	5,547	-649	-11.7%	13.4	15.2	4.6	4.2	1,690	912	386
外科	452	508	-56	-11.0%	8,902	9,258	-356	-3.8%	36.8	38.3	1,005	1,003	2	0.2%	1,030	10,560	9,676	884	9.1%	28.9	26.5	7.7	7.5	230	153	218
乳腺外科	441	481	-40	-8.3%	9,269	10,183	-914	-9.0%	38.3	42.1	300	313	-13	-4.2%	307	2,461	2,705	-244	-9.0%	6.7	7.4	6.9	7.2	38	10	15
呼吸器外科	29	23	6	26.1%	2,537	2,294	243	10.6%	17.9	16.2	87	87	0	0.0%	112	1,051	859	192	22.4%	2.9	2.4	6.2	5.0	3	2	3
心臓血管外科	226	219	7	3.2%	2,800	2,850	-50	-1.8%	19.7	20.1	303	268	35	13.1%	306	5,516	5,028	488	9.7%	15.1	13.8	7.3	7.1	82	78	75
脳神経外科	639	470	169	36.0%	3,436	2,881	555	19.3%	24.2	20.3	700	461	239	51.8%	640	7,351	7,278	73	1.0%	20.1	19.9	7.2	10.1	415	378	405
整形外科	2,131	2,238	-107	-4.8%	21,839	23,672	-1,833	-7.7%	90.2	97.8	1,391	1,310	81	6.2%	1,458	19,802	19,055	747	3.9%	54.3	52.2	12.0	12.5	416	352	371
形成外科	269	287	-18	-6.3%	2,967	2,817	150	5.3%	15.5	14.7	163	139	24	17.3%	170	2,783	2,417	366	15.1%	7.6	6.6	16.8	16.2	18	9	11
皮膚科	765	814	-49	-6.0%	7,693	8,613	-920	-10.7%	31.8	35.6	179	198	-19	-9.6%	168	2,139	2,026	113	5.6%	5.9	5.6	11.2	8.9	67	43	55
泌尿器科	782	772	10	1.3%	12,218	11,725	493	4.2%	50.5	48.5	871	835	36	4.3%	875	6,927	6,018	909	15.1%	19.0	16.5	7.5	7.1	113	81	92
産婦人科	1,097	1,080	17	1.6%	15,716	18,247	-2,531	-13.9%	64.9	75.4	773	898	-125	-13.9%	771	5,202	6,598	-1,396	-21.2%	14.3	18.1	6.2	6.9	409	110	242
眼科	343	404	-61	-15.1%	10,493	10,748	-255	-2.4%	43.4	44.4	337	360	-23	-6.4%	337	691	717	-26	-3.6%	1.9	2.0	5.8	1.0	0	0	0
耳鼻いんこう科	1,498	1,482	16	1.1%	12,696	12,906	-210	-1.6%	52.5	53.3	397	427	-30	-7.0%	403	3,865	3,494	371	10.6%	10.6	9.6	8.0	6.9	52	33	42
リハビリテーション科	0	2	-2	-100.0%	46	37	9	24.3%	0.5	0.4	0	0	0	0.0%	0	0	0	0	0.0%	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0	0
精神科	348	309	39	12.6%	10,851	11,171	-320	-2.9%	55.6	58.2	206	161	45	28.0%	242	8,670	8,012	658	8.2%	23.8	22.0	0.0	0.0	50	25	42
放射線診断科	1,012	776	236	30.4%	1,221	956	265	27.7%	0.0	0.0	0	0	0	0.0%	0	0	0	0	0.0%	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0	0
放射線治療科	19	18	1	5.6%	4,951	5,025	-74	-1.5%	20.5	20.8	0	0	0	0.0%	0	0	0	0	0.0%	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0	0
歯科口腔外科	3,373	2,882	491	17.0%	15,985	14,517	1,468	10.1%	66.1	60.0	398	370	28	7.6%	399	739	629	110	17.5%	2.0	1.7	1.5	1.4	6	3	2
救急科	8,833	9,510	-677	-7.1%	12,069	12,867	-798	-6.2%	34.8	42.5	635	1,017	-382	-37.6%	383	7,139	12,978	-5,839	-45.0%	19.6	35.6	8.3	8.7	11,387	7,144	696
麻酔科	0	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%	0.0	0.0	0	0	0	0.0%	0	0	0	0	0.0%	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0	0
総合診療科	392	0	392	0.0%	570	0	570	0.0%	3.2	0.0	557	0	557	0.0%	732	10,761	0	10,761	0.0%	29.5	0.0	12.8	0.0	625	417	463
合計	32,551	32,806	-255	-0.8%	277,149	282,558	-5,409	-1.9%	1,145.2	1,167.6	16,898	16,784	114	0.7%	16,883	185,125	188,658	-3,533	-1.9%	507.2	516.9	8.7	9.1	19,166	12,666	6,196

2025年度	実働病床稼働率（606床）… 83.7%				紹介割合… 103.4%				逆紹介割合… 106.2‰			分娩件数… 410件			救急患者入院率… 32.3%			下り搬送（救急患者連携搬送料）… 71件				前年同月			19,757	12,812	6,369
2024年度	実働病床稼働率（568床）… 91.0%				紹介割合… 106.8%				逆紹介割合… 96.4‰			分娩件数… 537件			救急患者入院率… 32.2%			※6月算定開始				増減			-591	-146	-173

	救急車から 入院	救急車から 入院率	ウォークインから 入院	ウォークインから 入院率
2025年度	4980	39.3%	1216	18.7%
2024年度	5051	39.4%	1319	19.0%
増減	-71	-0.1p	-103	-0.3p

2025年度　　診療科別患者数等管理数値　　（単位：診療収入、室料差額、入外合計額…千円、収入単価…円）

	外来診療収入								入院診療収入										入外合計額				手術			
	診療収入				収入単価				診療収入(室料差額除)				収入単価				室料差額									
診療科	当年度	前年度	増減	増減率	当年度	前年度	増減	増減率	当年度	前年度	増減	増減率	当年度	前年度	増減	増減率	当年度	前年度	当年度	前年度	増減	増減率	当年度	前年度	2025年度累計	2024年度累計
総合内科	17,890	17,405	484	2.8%	16,704	17,302	-598	-3.5%	43,052	52,923	-9,872	-18.7%	83,273	89,097	-5,824	-6.5%	2,435	2,565	63,377	72,894	-9,517	-13.1%	0	0	0	0
糖尿病内分泌内科	212,778	219,684	-6,906	-3.1%	17,964	17,787	177	1.0%	369,519	416,076	-46,557	-11.2%	57,016	55,670	1,346	2.4%	18,596	18,868	600,892	654,628	-53,736	-8.2%	0	0	0	0
血液内科	292,932	324,016	-31,083	-9.6%	49,507	50,699	-1,192	-2.4%	889,201	815,234	73,968	9.1%	105,468	93,447	12,021	12.9%	24,971	18,443	1,207,105	1,157,693	49,412	4.3%	0	0	0	0
腎臓内科	139,223	143,902	-4,679	-3.3%	19,267	19,331	-64	-0.3%	342,797	379,972	-37,175	-9.8%	68,313	60,611	7,702	12.7%	12,434	13,508	494,454	537,382	-42,928	-8.0%	96	109	96	109
膠原病リウマチ科	325,498	321,214	4,284	1.3%	31,927	31,113	814	2.6%	207,856	232,548	-24,692	-10.6%	54,613	55,237	-624	-1.1%	13,926	15,424	547,280	569,186	-21,906	-3.8%	0	0	0	0
緩和ケア内科	318	277	42	15.1%	1,625	1,752	-127	-7.2%	21,693	1,672	20,021	1197.3%	52,653	57,662	-5,009	-8.7%	4,257	458	26,268	2,407	23,862	991.5%	0	0	0	0
呼吸器内科	346,038	308,295	37,743	12.2%	27,096	23,161	3,935	17.0%	865,178	1,042,397	-177,219	-17.0%	63,574	59,106	4,468	7.6%	58,950	73,163	1,270,167	1,423,855	-153,688	-10.8%	0	0	0	0
消化器内科	543,724	469,458	74,266	15.8%	23,137	19,700	3,437	17.4%	1,508,341	1,603,047	-94,706	-5.9%	75,147	68,116	7,030	10.3%	95,027	90,410	2,147,092	2,162,915	-15,823	-0.7%	4	3	4	3
循環器内科	365,244	316,839	48,405	15.3%	14,240	13,342	898	6.7%	3,286,923	3,181,720	105,203	3.3%	190,039	183,226	6,813	3.7%	68,637	52,167	3,720,803	3,550,726	170,077	4.8%	225	225	225	225
脳神経内科	547,301	336,113	211,188	62.8%	66,436	45,335	21,101	46.5%	598,320	627,989	-29,669	-4.7%	69,443	68,476	967	1.4%	28,427	22,173	1,174,048	986,275	187,773	19.0%	0	0	0	0
アレルギー科	38,671	47,268	-8,597	-18.2%	10,293	10,485	-192	-1.8%	19,490	32,358	-12,868	-39.8%	62,468	52,615	9,853	18.7%	1,273	1,296	59,434	80,922	-21,489	-26.6%	0	0	0	0
小児科	103,751	117,619	-13,868	-11.8%	9,859	10,403	-545	-5.2%	302,748	340,561	-37,812	-11.1%	61,811	61,396	415	0.7%	23,857	19,020	430,357	477,200	-46,843	-9.8%	0	0	0	0
外科	286,192	266,303	19,888	7.5%	32,149	28,765	3,384	11.8%	1,038,289	976,060	62,229	6.4%	98,323	100,874	-2,552	-2.5%	52,942	40,524	1,377,423	1,282,887	94,536	7.4%	723	793	723	793
乳腺外科	399,062	421,520	-22,458	-5.3%	43,053	41,394	1,659	4.0%	253,914	270,154	-16,240	-6.0%	103,175	99,872	3,303	3.3%	19,454	19,380	672,430	711,055	-38,625	-5.4%	287	283	287	283
呼吸器外科	61,137	58,096	3,041	5.2%	24,098	25,325	-1,227	-4.8%	142,352	136,945	5,407	3.9%	135,444	159,423	-23,979	-15.0%	5,427	4,399	208,916	199,439	9,477	4.8%	84	85	84	85
心臓血管外科	37,474	35,374	2,101	5.9%	13,384	12,412	972	7.8%	1,402,984	1,254,121	148,863	11.9%	254,348	249,427	4,921	2.0%	14,066	12,546	1,454,525	1,302,041	152,484	11.7%	318	287	318	287
脳神経外科	46,243	38,218	8,025	21.0%	13,458	13,265	193	1.5%	978,127	756,983	221,145	29.2%	133,060	104,010	29,051	27.9%	14,212	19,740	1,038,582	814,941	223,641	27.4%	327	209	327	209
整形外科	231,368	237,896	-6,528	-2.7%	10,594	10,050	545	5.4%	1,997,243	1,839,086	158,157	8.6%	100,861	96,515	4,346	4.5%	59,644	64,054	2,288,255	2,141,036	147,219	6.9%	1,803	1,634	1,803	1,634
形成外科	18,140	17,990	150	0.8%	6,114	6,386	-272	-4.3%	189,415	157,451	31,963	20.3%	68,061	65,143	2,918	4.5%	6,349	5,190	213,904	180,631	33,273	18.4%	330	341	330	341
皮膚科	50,312	47,034	3,278	7.0%	6,540	5,461	1,079	19.8%	109,197	112,808	-3,611	-3.2%	51,050	55,680	-4,630	-8.3%	5,588	7,634	165,097	167,476	-2,379	-1.4%	144	192	144	192
泌尿器科	289,343	258,011	31,332	12.1%	23,682	22,005	1,676	7.6%	585,837	515,487	70,350	13.6%	84,573	85,657	-1,084	-1.3%	31,577	24,752	906,757	798,250	108,507	13.6%	624	577	624	577
産婦人科	146,160	145,349	811	0.6%	9,300	7,966	1,334	16.8%	529,456	614,903	-85,447	-13.9%	101,779	93,195	8,584	9.2%	33,717	38,710	709,334	798,962	-89,629	-11.2%	330	320	330	320
眼科	124,856	123,969	887	0.7%	11,899	11,534	365	3.2%	81,432	84,917	-3,484	-4.1%	117,847	118,433	-586	-0.5%	2,765	2,052	209,054	210,938	-1,884	-0.9%	475	515	475	515
耳鼻いんこう科	166,706	177,617	-10,911	-6.1%	13,131	13,762	-632	-4.6%	272,153	254,548	17,604	6.9%	70,415	72,853	-2,438	-3.3%	18,460	19,376	457,318	451,541	5,778	1.3%	250	300	250	300
リハビリテーション科	176	157	19	12.0%	3,832	4,255	-423	-9.9%	0	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%	0	0	176	157	19	12.0%	0	0	0	0
精神科	73,010	75,645	-2,635	-3.5%	6,728	6,772	-43	-0.6%	346,734	308,964	37,770	12.2%	39,992	38,563	1,430	3.7%	4,802	4,061	424,545	388,670	35,875	9.2%	469	407	469	407
放射線診断科	39,650	33,347	6,303	18.9%	32,473	34,882	-2,409	-6.9%	0	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%	0	0	39,650	33,347	6,303	18.9%	0	0	0	0
放射線治療科	128,699	127,429	1,270	1.0%	25,995	25,359	636	2.5%	0	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%	0	0	128,699	127,429	1,270	1.0%	0	0	0	0
歯科口腔外科	134,340	117,755	16,585	14.1%	8,404	8,111	293	3.6%	70,777	58,921	11,856	20.1%	95,774	93,673	2,100	2.2%	2,303	1,826	207,420	178,501	28,919	16.2%	397	377	397	377
救急科	410,417	421,406	-10,989	-2.6%	34,006	32,751	1,255	3.8%	921,780	1,318,841	-397,061	-30.1%	129,119	101,621	27,498	27.1%	7,998	17,040	1,340,195	1,757,287	-417,092	-23.7%	23	20	23	20
麻酔科	0	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%	0	0	0	0	0	0.0%	0	2	0	2
総合診療科	3,855	0	3,855	0.0%	6,762	0	6,762	0.0%	820,974	0	820,974	0.0%	76,292	0	76,292	0.0%	23,697	0	848,526	0	848,526	0.0%	0	0	0	0
合計	5,580,508	5,225,206	355,302	6.8%	20,135	18,493	1,643	8.9%	18,195,783	17,386,687	809,096	4.7%	98,289	92,160	6,129	6.7%	655,791	608,777	24,432,082	23,220,670	1,211,412	5.2%	6,909	6,679	6,909	6,679

単位/千円		人間ドック 件数	人間ドック 金額	健康診断 件数	健康診断 金額	合計 件数	合計 金額
健診	2025年度	2,637	186,484	10,003	79,429	12,640	265,913
	2024年度	2,549	192,199	10,441	81,821	12,990	274,020
	増減	88	-5,714	-438	-2,392	-350	-8,106
	増減率	3.5%	-3.0%	-4.2%	-2.9%	-2.7%	-3.0%

中央部門業務報告(放射線科部)
2025年度

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
一般撮影(平日)	胸腹・骨等	4378	4174	4546	4531	3921	4386	4347	4009	4163	3933	3865	4009	50262
	マンマ	163	153	192	184	143	192	216	2093	172	147	154	166	3975
	マンモトーム	5	1	6	5	4	5	4	3	3	2	2	4	44
	骨密度	224	210	243	224	290	270	260	215	207	232	222	245	2842
	パノラマ	247	215	253	252	221	198	227	218	205	220	180	173	2609
	ポータブル	706	644	739	739	706	691	666	696	809	787	739	727	8649
フィルム関係	取り込み	379	391	480	408	376	433	478	396	436	391	380	456	5004
	出力	543	512	527	579	551	612	611	560	669	620	557	929	7270
	計	6645	6300	6986	6922	6212	6787	6809	8190	6664	6332	6099	6709	80655
救急外来(平日)	一般撮影	186	164	195	188	198	190	200	203	220	186	149	168	2247
	救急CT	210	176	183	203	222	225	225	242	201	214	196	171	2468
	救急透視	2	4	1	1	0	1	0	0	2	0	0	1	12
	計	398	344	379	392	420	416	425	445	423	400	345	340	4727
一般/CT 病棟 (休日・夜勤)	胸腹・骨等	78	89	79	88	112	107	90	123	157	150	120	125	1318
	CT	39	79	56	61	78	67	56	67	72	72	60	56	763
	ポータブル	389	429	450	381	464	435	400	441	585	571	500	518	5563
	計	506	597	585	530	654	609	546	631	814	793	680	699	7644
救急外来(休日・夜勤)	一般撮影	552	578	555	605	736	585	591	680	680	695	581	645	7483
	救急CT	667	677	645	711	816	684	728	806	787	815	693	745	8774
	救急透視	4	14	5	9	4	8	2	6	10	7	7	3	79
	MRI	54	63	44	46	58	44	43	46	42	59	42	49	590
	血管撮影	10	22	15	10	20	10	14	19	23	23	16	18	200
	TV 造影/透視	6	4	2	11	10	8	5	13	14	11	9	9	102
	その他	190	192	151	170	172	169	222	198	192	176	170	156	2158
	計	1483	1550	1417	1562	1816	1508	1605	1768	1748	1786	1518	1625	19386
手術室	ポータブル	220	217	219	218	198	218	216	224	217	181	183	195	2506
	術中イメージ	2	7	12	11	10	7	17	10	10	11	8	10	115
	計	222	224	231	229	208	225	233	234	227	192	191	205	2621
CT	外来	1365	1517	1668	1529	1368	1541	1714	1423	1563	1533	1365	1646	18232
	入院	664	495	494	537	562	505	492	462	614	552	544	590	6511
	造影検査件数	650	620	699	676	622	615	742	544	675	696	598	723	7860
	計	2029	2012	2162	2066	1930	2046	2206	1885	2177	2085	1909	2236	24743

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
MRI	外来	812	781	826	862	787	833	917	790	852	814	747	846	9867
	入院	121	139	167	152	138	149	184	131	139	139	116	135	1710
	造影検査件数	115	122	130	128	99	130	148	135	129	103	104	120	1463
	計	933	920	993	1014	925	982	1101	921	991	953	863	981	11577
TV室	胃TV（術後含）	25	25	50	50	46	60	60	50	56	40	31	46	539
	注腸（術後含）	3	0	1	5	4	5	4	2	1	0	1	1	27
消化器内科系	内視鏡併用検査	88	62	75	89	80	86	105	83	89	76	67	94	994
	造影/その他	15	15	16	22	23	26	26	21	18	19	11	27	239
外科系	内視鏡併用検査	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	2
	造影/その他	30	19	21	25	16	28	23	38	30	18	13	20	281
泌尿器系	内視鏡併用検査	22	14	23	21	22	30	27	20	24	17	20	18	258
	造影/その他	26	26	25	32	30	26	17	21	26	25	21	31	306
整形系	ミエロ・ブロック/造影	6	3	16	11	13	10	9	8	4	6	15	11	112
	透視/その他	2	3	3	2	2	1	0	2	3	3	3	4	28
他診療科	造影/透視/その他	13	13	21	25	12	15	17	17	20	19	15	24	211
	計	230	180	251	282	249	287	288	262	272	223	197	276	2997
血管撮影室	頭頚部	11	15	11	13	19	18	18	10	16	20	13	12	176
	心臓カテーテル	87	98	106	92	85	91	101	88	128	91	100	114	1181
	アブレーション	36	23	26	24	29	31	29	25	35	29	29	32	348
	腹部	11	8	5	8	6	13	8	12	9	17	17	14	128
	その他血管	42	36	37	38	36	29	35	26	47	35	32	42	435
	血管以外	0	4	5	4	4	1	5	5	1	7	1	2	39
	計	187	184	190	179	179	183	196	166	236	199	192	216	2307
ハイブリッド室	頭頚部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	心臓カテーテル	6	5	6	4	10	4	6	2	9	5	4	7	68
	アブレーション	16	13	13	17	10	16	17	12	12	16	14	13	169
	腹部	7	3	4	2	4	1	1	4	3	2	3	3	37
	その他血管	2	3	2	0	0	5	2	6	3	3	5	2	33
	血管以外	7	11	9	15	14	11	18	17	17	13	10	18	160
	計	38	35	34	38	38	37	44	41	44	39	36	43	467
RI	RI　計	122	125	119	119	118	126	118	113	128	103	105	92	1388
PET・CT	PET・CT　計	100	87	114	79	98	98	98	99	83	82	94	98	1130
治療	新規計画人数　計	35	32	25	25	17	30	36	25	34	31	21	32	343
	治療件数　計	435	589	637	400	341	481	558	557	584	413	399	440	5834

中央部門業務報告（検査部）

令和7年度

			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
検体検査	生化学（ブランチ）	件数（項目数）	183,287	176,092	187,953	190,637	184,522	186,338	197,318	177,040	197,689	196,370	179,716	197,663	**2,254,625**
	血液	件数（検体数）	33,580	32,589	34,811	34,853	34,080	33,866	36,000	32,274	36,065	36,021	33,016	36,684	**413,839**
	免疫血清（ブランチ）	件数（項目数）	7,855	7,649	8,376	8,354	8,071	8,100	9,070	8,015	8,875	8,438	7,705	8,803	**99,311**
	一般（ブランチ）	件数（項目数）	8,852	8,472	9,484	9,785	9,078	9,496	9,931	8,822	9,676	9,349	8,448	9,750	**111,143**
	糖尿病（ブランチ）	件数（項目数）	5,426	5,241	5,612	5,734	5,565	5,490	5,972	5,196	5,562	5,712	4,959	5,372	**65,841**
	細菌検査	件数（検体数）	5,598	5,964	7,099	6,339	6,514	5,809	6,015	6,446	7,382	7,046	6,382	6,839	**77,433**
	内分泌検査（ブランチ）	件数（項目数）	2,991	3,030	3,327	3,219	3,053	3,024	3,379	3,011	3,448	3,428	3,110	3,449	**38,469**
	腫瘍関連検査（ブランチ）	件数（項目数）	3,100	2,951	3,147	2,961	2,799	3,053	3,190	2,671	3,028	3,001	2,737	3,152	**35,790**
	感染症・ウイルス（ブランチ）	件数（項目数）	1,238	1,130	1,259	1,187	1,172	1,216	1,161	1,008	1,086	1,200	1,091	1,146	**13,894**
	免疫学的検査（ブランチ）	件数（項目数）	4,902	4,658	4,579	4,780	4,366	4,731	4,542	4,052	4,616	4,599	3,979	4,870	**54,674**
	アレルギー（ブランチ）	件数（項目数）	629	727	981	852	733	573	830	576	548	718	790	758	**8,715**
	合計		**257,458**	**248,503**	**266,628**	**268,701**	**259,953**	**261,696**	**277,408**	**249,111**	**277,975**	**275,882**	**251,933**	**278,486**	**3,173,734**
生理検査	心電図	件数	3,109	3,008	3,272	3,311	3,090	3,277	3,387	3,027	3,527	3,392	3,031	3,469	**38,900**
	負荷心電図	件数	13	9	19	27	28	18	19	12	21	13	14	23	**216**
	ホルター心電図	件数	163	176	154	144	109	147	189	145	162	167	137	164	**1,857**
	血圧脈波検査	件数	126	89	122	117	109	92	107	97	118	119	93	121	**1,310**
	自律神経検査	件数	35	21	40	29	18	18	30	20	21	30	17	27	**306**
	心肺運動負荷（CPX）	件数	5	4	5	3	4	4	3	4	4	2	3	3	**44**
	呼吸機能	件数	290	319	320	390	352	348	378	312	346	301	262	272	**3,890**
	アレルギーセンター（呼吸）	件数	220	205	258	293	238	241	212	129	215	184	198	224	**2,617**
	筋電図検査	件数	4	4	11	4	5	10	5	4	10	4	4	5	**70**
	脳波	件数	61	45	63	61	60	68	63	59	73	66	50	75	**744**
	神経生理検査	件数	72	56	65	73	68	54	62	37	59	66	69	72	**753**
	OAE→AABR	件数	39	24	49	65	53	41	49	38	50	34	32	38	**512**
	体液量測定	件数	1	2	1	0	0	1	0	2	0	1	0	0	**8**
	SPP	件数	14	5	7	5	11	4	3	7	7	9	8	7	**87**
	簡易PSG	件数	0	0	0	0	0	0	0	0	3	2	1	2	**8**
	耳鼻科検査	件数	687	538	740	682	607	651	695	556	659	635	522	647	**7,619**
	心エコー	件数	718	713	718	752	712	700	734	667	749	748	684	848	**8,743**
	その他エコー	件数	957	1,016	1,042	1,080	1,000	999	1,071	896	1,002	935	887	970	**11,855**
	心カテ	件数	161	150	162	159	148	161	162	138	207	158	159	184	**1,949**
	合計	**件数**	**6,675**	**6,384**	**7,048**	**7,195**	**6,612**	**6,834**	**7,169**	**6,150**	**7,233**	**6,866**	**6,171**	**7,151**	**81,488**
病理検査	組織診断	件数	654	618	702	687	568	600	722	639	666	629	616	701	**7,802**
	迅速診断	件数	43	28	22	28	28	22	32	31	32	25	24	23	**338**
	細胞診断	件数	397	337	350	415	356	375	409	388	402	392	375	433	**4,629**
	その他	件数	69	90	80	68	65	63	84	72	64	65	70	74	**864**
	病理解剖	件数	0	1	1	1	3	0	1	0	0	3	3	1	**14**
	遺伝子検査	件数	0	28	34	41	37	32	42	27	27	31	26	32	**357**
	合計	**件数**	**1,163**	**1,102**	**1,189**	**1,240**	**1,057**	**1,092**	**1,290**	**1,097**	**1,191**	**1,145**	**1,114**	**1,264**	**13,944**
輸血関連検査	血液型	件数	706	671	841	766	736	715	809	713	798	814	739	777	**9,085**
	不規則抗体	件数	699	682	811	727	744	741	835	730	833	816	769	801	**9,188**
	クロスマッチ	件数	409	375	467	432	430	434	457	487	521	487	446	501	**5,446**
	直接・間接クームス	件数	36	20	35	27	29	20	25	27	19	36	15	31	**320**
	輸血副反応	件数	8	13	5	10	8	16	8	8	16	7	8	7	**114**
	自己血	件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	**1**
	血漿交換	件数	2	0	0	1	2	4	3	3	6	0	0	0	**21**
	合計	**件数**	**1,860**	**1,761**	**2,159**	**1,963**	**1,949**	**1,930**	**2,137**	**1,957**	**2,193**	**2,161**	**1,977**	**2,117**	**24,175**
	Ir-RBC	単位	576	676	692	570	772	590	785	820	722	754	770	874	**8,601**
	FFP	単位	264	429	363	255	537	456	516	627	666	558	429	576	**5,676**
	Ir-PC	単位	730	1,165	970	640	1,030	1,080	1,020	1,380	1,315	700	1,395	1,510	**12,935**
	合計	**単位**	**1,570**	**2,270**	**2,025**	**1,465**	**2,339**	**2,126**	**2,321**	**2,827**	**2,703**	**2,012**	**2,594**	**2,960**	**27,212**
時間外院内検査		患者数	2,525	2,660	2,626	2,555	3,157	2,747	3,016	3,237	3,677	3,573	3,076	3,193	**36,042**
外来採血患者		患者数	6,521	6,245	6,586	6,809	6,099	6,538	6,932	5,954	6,619	6,629	6,021	6,852	**77,805**
入院患者採血管準備数		患者数	4,312	3,896	4,297	5,182	4,136	3,895	4,218	4,291	4,725	4,269	4,152	4,549	**51,922**
尿素呼気試験		患者数	9	9	5	0	5	6	17	9	8	9	20	10	**107**
治験件数		患者数	8	5	7	9	7	8	12	9	11	13	13	10	**112**
50ｇ糖負荷検査		患者数	24	19	18	24	17	14	20	17	16	23	18	19	**229**
75ｇ糖負荷検査		患者数	3	8	11	13	13	19	8	9	8	11	11	9	**123**
委託業務	院内検査業務委託	件数（項目数）	80,833	81,088	78,573	87,170	82,894	80,003	86,996	79,537	85,638	91,011	79,428	88,266	**1,001,437**
	外注検査業務委託	件数（項目数）	12,684	12,918	12,806	12,523	12,419	11,885	12,273	11,587	12,675	11,773	10,811	12,299	**146,653**

診療連携	心臓カテーテル検査に3名、耳鼻科に1名,アレルギーセンターに1名、それぞれ検査技師を派遣している 週3回アレルゲン測定の為、アレルギーセンターに追加で1名派遣していたが、年度途中からアレルギーセンターへ移管した　従って報告もアレルギーセンターからとする 心臓カテーテルは同時に4列で稼働することもある　（最大4名） デバイス管理として植込み型心臓ペースメーカー遠隔モニタリング業務を平行作業している 術中神経モニタリング（脳・脊椎）を行い人材を派遣している 生理検査OAEは器機老朽化の為、AABRへ方式を変更した　◎12月から簡易PSG検査（外来）を開始した　◎病理 5月から遺伝子検査を計上した　◎検体検査は全面的に項目を見直した

中央部門業務報告(処方箋枚数)

令和7年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
入院　処方	12,871	11,681	12,786	13,211	13,049	12,679	13,671	12,470	14,673	13,529	13,384	14,596	158,600
入院　注射	10,316	10,207	10,842	10,365	10,889	9,850	10,817	10,957	13,583	12,429	11,951	12,842	135,048
外来　処方	35	42	30	45	38	30	42	37	40	45	42	44	470
外来　時間外処方	401	413	416	422	447	442	415	540	372	423	380	408	5,079
外来　注射	2,561	2,188	2,267	2,346	2,294	2,187	2,446	2,274	2,378	2,407	2,220	2,837	28,405
院外処方箋	9,882	9,267	9,917	10,116	9,223	9,724	10,127	8,862	10,206	9,713	8,781	14,254	120,072
抗がん剤調製件数	703	581	597	657	581	629	673	606	604	645	628	716	7,620
TPN調製件数	15	25	34	40	24	39	78	41	17	32	51	37	433
薬剤管理指導算定件数	2,084	1,824	2,001	2,056	1,937	1,935	2,009	1,834	2,129	2,057	2,034	2,338	24,238
薬剤管理指導麻薬加算	31	34	51	36	35	29	40	33	53	33	55	55	485
退院時指導算定件数	480	515	607	698	713	630	765	644	822	682	746	798	8,100
がん指導管理料ハ算定件数	20	15	22	22	14	13	16	26	20	20	16	20	224
特定薬剤治療管理料2算定件数	15	14	14	18	16	12	18	15	14	17	16	17	186
連携充実加算算定件数	42	39	37	35	40	53	55	39	37	40	43	47	507
がん薬物療法体制充実加算	0	0	1	0	0	1	0	1	16	18	21	28	86

中央部門業務報告（栄養課）　　令和 7年度

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
一般食	件数	20,391	19,474	20,872	21,310	23,057	20,412	22,404	21,579	23,109	22,599	23,515	24,882	263,604
治療食	件数	13,770	12,919	12,210	12,445	13,127	11,739	12,522	13,324	13,820	14,903	13,278	14,638	158,695
調乳	件数	429	373	527	697	802	565	512	462	518	476	356	458	6,175
栄養相談	件数	543	520	535	555	489	484	544	499	545	552	546	620	6,432
合計	件数	35,133	33,286	34,144	35,007	37,475	33,200	35,982	35,864	37,992	38,530	37,695	40,598	434,906

中央部門業務報告（リハビリテーション科部）　令和7年度

			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
リハビリ	理学療法	件数	3,770	3,531	3,737	4,154	3,993	3,781	4,129	3,896	4,277	4,248	3,776	4,306	47,598
	作業療法	件数	1,485	1,364	1,410	1,678	1,591	1,509	1,634	1,368	1,659	1,701	1,452	1,704	18,555
	言語聴覚療法	件数	518	485	581	634	601	550	601	542	612	792	846	893	7,655
	合計	件数	5,773	5,380	5,728	6,466	6,185	5,840	6,364	5,806	6,548	6,741	6,074	6,903	73,808

中央部門業務報告（内視鏡室）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
上部消化管内視鏡	6,002	4,785	5,462	5,989	5,920	5,866	6,195
（内ドック件数）	2,115	1,805	2,030	2,157	2,179	2,217	2,513
下部消化管内視鏡	2,697	2,122	2,477	2,517	2,660	2,505	2,642
（内ドック件数）	145	101	130	141	144	158	105
気管支鏡	126	95	87	134	158	184	155
ERCP	481	371	370	411	572	572	546
超音波内視鏡	88	226	224	154	162	333	436

中央部門業務報告（透析室）

令和7年度

			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
透析	血液浄化療法	件数	300	280	283	319	311	342	348	242	377	320	269	311	3,702

中央部門業務報告 （手術室）

令和7年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
全身麻酔	384	408	391	409	381	380	421	363	368	395	374	409	4,683
局所麻酔	156	142	175	190	155	167	177	131	169	159	162	164	1,947
脊椎麻酔	14	18	18	15	13	13	16	14	17	17	12	18	185
脊椎・硬膜外併用	6	5	12	16	3	10	3	9	13	7	5	5	94
合計	560	573	596	630	552	570	617	517	567	578	553	596	6,909

９－３ 決算書

損 益 計 算 書 （令和７年度）

収　益	予算(A)	R7年決算(B)	R6年決算(C)	予算差引額(B-A)	昨年度比(B-C)	対昨年度増減率
みなと赤十字病院事業収益	25,304,087,000	25,593,426,082	24,038,059,322	289,339,082	1,555,366,760	6.47%
医業収益	24,101,072,000	24,386,741,890	23,230,092,216	285,669,890	1,156,649,674	4.98%
入院収益	17,752,974,000	18,056,289,767	17,259,989,079	303,315,767	796,300,688	4.61%
患者 延べ数(人)	189,961	185,125	188,658	-4,836	-3,533	-1.87%
患者 1日平均(人)	520	507	517	-13	-10	-1.87%
診療単価(円)	93,456	97,536	91,488	4,080	6,047	6.61%
病床利用率(%)	83.40%	81.28%	81.53%	-0.30ポイント	3.01ポイント	-0.30%
平均在院数(日)		9.1	9.5		-0.40	-4.21%
外来収益	5,456,902,000	5,478,188,981	5,132,116,076	21,286,981	346,072,905	6.74%
患者 延べ数(人)	288,998	277,149	282,558	-11,849	-5,409	-1.91%
患者 1日平均(人)	1,194	1,145	1,163	-49	-18	-1.51%
診療単価(円)	18,882	19,766	18,163	884	1,603	8.83%
室料差額収益	581,335,000	602,751,988	557,686,560	21,416,988	45,065,428	8.08%
保健予防活動収益	321,281,000	301,507,579	307,689,779	-19,773,421	-6,182,200	-2.01%
受託検査・施設利用収益	7,135,000	8,833,650	7,468,700	1,698,650	1,364,950	18.28%
その他の医業収益	47,301,000	44,167,337	46,544,103	-3,133,663	-2,376,766	-5.11%
保険等査定減	-65,856,000	-104,997,412	-81,402,081	-39,141,412	-23,595,331	28.99%
医業外収益(医療社会事業収益含む)	1,201,015,000	1,205,320,046	805,810,588	4,305,046	399,509,458	49.58%
受取利息	381,000	477,892	379,878	96,892	98,014	
本部繰入金	4,899,000	15,298,000	4,060,076	10,399,000	11,237,924	276.79%
他会計繰入金	0	0	5,559,582	0	-5,559,582	
運営費補助金等収益	757,544,000	782,410,749	361,268,913	24,866,749	421,141,836	116.57%
施設設備費補助金等収益	68,839,000	80,429,496	88,371,539	11,590,496	-7,942,043	-8.99%
患者外給食収益	0	0	0	0	0	
その他の医業外収益	369,352,000	326,703,909	346,170,600	-42,648,091	-19,466,691	-5.62%
特別利益	2,000,000	1,364,146	2,156,518	-635,854	-792,372	-36.74%
固定資産売却益	2,000,000	899,996	1,555,458	-1,100,004	-655,462	-42.14%
貸倒引当金戻入益	0	0	0	0	0	
その他前期損益修正益	0	0	0	0	0	
その他特別利益	0	464,150	601,060	464,150	-136,910	

費　用	予算(A)	R7年決算(B)	R6年決算(C)	予算差引額(B-A)	昨年度比(B-C)	対昨年度増減率
みなと赤十字病院事業費用	25,957,301,000	25,088,647,466	23,259,580,820	-868,653,534	1,829,066,646	7.86%
医業費用	25,514,165,000	24,683,295,519	22,942,761,596	-830,869,481	1,740,533,923	7.59%
材料費	7,507,758,000	7,701,312,693	6,960,072,399	193,554,693	741,240,294	10.65%
医薬品費	3,096,875,000	3,273,174,422	2,935,410,771	176,299,422	337,763,651	11.51%
診療材料費	4,153,011,000	4,150,644,293	3,776,794,763	-2,366,707	373,849,530	9.90%
給食材料費	159,061,000	166,570,196	155,012,822	7,509,196	11,557,374	7.46%
医療消耗備品費	93,991,000	107,280,542	88,886,408	13,289,542	18,394,134	20.69%
棚卸減耗損・評価損	4,820,000	3,643,240	3,967,635	-1,176,760	-324,395	-8.18%
給与費	11,822,059,000	10,739,683,932	10,231,777,642	-1,082,375,068	507,906,290	4.96%
委託費	2,380,813,000	2,345,222,802	2,201,018,085	-35,590,198	144,204,717	6.55%
設備関係費	2,787,484,000	2,919,189,028	2,568,215,175	131,705,028	350,973,853	13.67%
減価償却費	1,259,417,000	1,231,745,903	1,019,610,480	-27,671,097	212,135,423	20.81%
器機賃借料	183,616,000	208,674,476	167,011,345	25,058,476	41,663,131	24.95%
指定管理者負担金他	681,330,000	682,323,950	684,915,385	993,950	-2,591,435	-0.38%
修繕費	286,050,000	280,695,859	209,581,093	-5,354,141	71,114,766	33.93%
器機保守料	376,168,000	513,183,633	486,196,562	137,015,633	26,987,071	5.55%
その他	903,000	2,565,207	900,310	1,662,207	1,664,897	184.92%
研究研修費	54,435,000	62,435,073	65,063,980	8,000,073	-2,628,907	-4.04%
経費	961,616,000	915,451,991	916,614,315	-46,164,009	-1,162,324	-0.13%
通信費	30,495,000	52,405,947	28,402,610	21,910,947	24,003,337	84.51%
消耗品費	98,290,000	114,137,714	101,895,016	15,847,714	12,242,698	12.02%
水道光熱費	573,525,000	496,541,812	538,558,010	-76,983,188	-42,016,198	-7.80%
賃借料	69,356,000	44,617,831	62,555,668	-24,738,169	-17,937,837	-28.67%
租税公課	30,925,000	18,384,224	17,232,061	-12,540,776	1,152,163	6.69%
その他	159,025,000	189,364,463	167,970,950	30,339,463	21,393,513	12.74%
医業外費用(医療奉仕費用含む)	436,136,000	404,011,157	314,508,253	-32,124,843	89,502,904	28.46%
支払利息	21,818,000	9,602,571	1,141,947	-12,215,429	8,460,624	740.89%
患者外給食用材料費	1,182,000	1,293,372	1,209,266	111,372	84,106	6.96%
看護師等委託養成費	19,200,000	14,900,000	17,800,000	-4,300,000	-2,900,000	-16.29%
診療費減免額	0	0	0	0	0	
本部繰出金	35,240,000	36,852,092	19,637,054	1,612,092	17,215,038	87.67%
他会計繰出金	0	5,515,670	4,433,808	5,515,670	1,081,862	24.40%
退職給付債務変更時差異	0	0	0	0	0	
その他医業外費用	358,696,000	335,847,452	270,286,178	-22,848,548	65,561,274	24.26%
特別損失	7,000,000	1,340,790	2,310,971	-5,659,210	-970,181	-41.98%
固定資産売却損	0	0	0	0	0	
固定資産除却損	7,000,000	1,340,790	2,310,971	-5,659,210	-970,181	-41.98%
前期損益修正損	0	0	0	0	0	
その他特別損失	0	0	0	0	0	
法人税等	0	0	0	0	0	

経常損益(特別収支を除いたもの)	-648,214,000	504,755,260	778,632,955	1,152,969,260	-273,877,695	-35.17%
医業損益	-1,413,093,000	-296,553,629	287,330,620	1,116,539,371	-583,884,249	-203.21%
純損益	-653,214,000	504,778,616	778,478,502	1,157,992,616	-273,699,886	-35.16%

様式第２号

貸　借　対　照　表

令和8年　3月31日

（施設名）横浜市立みなと赤十字病院

（単位　：　円）

資産の部				負債及び純資産の部			
１．流動資産				１．流動負債			
現金		15,067,682		買掛金	1,809,518,279		
預金		113,261,983		未払金	1,703,012,330		
医業未収金	4,435,651,603			短期リース債務	84,019,710		
貸倒引当金	73,557,665	4,362,093,938		短期借入金	1,018,166,669		
未収金		139,658,782		未払費用	107,366,957		
有価証券		0		未払法人税等	0		
医薬品		66,547,578		前受金	2,805,000		
診療材料		0		預り金	17,012,190		
給食用材料		2,640,769		職員預り金	74,939,064		
貯蔵品		38,739		預り出資金	0		
前渡金		0		前受収益	0		
預け金		1,414,560,114		賞与引当金	675,360,553		
前払費用		37,172,345		資産除去債務	0		
未収収益		7,189,542		その他の流動負債	202,608,289		
短期貸付金		0		流動負債合計		5,694,809,041	
繰延税金資産		0					
その他の流動資産		191,770,523					
流動資産合計			6,350,001,995	２．固定負債			
				長期借入金	849,333,331		
				長期未払金	0		
				長期リース債務	470,858,620		
				預り出資金	0		
２．固定資産				退職交付受入金	0		
(1)有形固定資産				退職給付引当金	3,631,199,241		
建物	128,259,810			医療訴訟引当金	0		
建物減価償却累計額	45,819,124	82,440,686		長期前受補助金等	283,995,546		
建物付属設備	2,965,982,041			資産除去債務	0		
建物付属設備減価償却累計額	869,523,584	2,096,458,457		その他の固定負債	0		
構築物	20,522,740			固定負債合計		5,235,386,738	
構築物減価償却累計額	18,685,734	1,837,006					
医療用器械備品	7,983,312,609			負債合計			10,930,195,779
医療用器械備品減価償却累計額	6,641,368,962	1,341,943,647					
その他の器械備品	3,395,443,498			３．基本金		15,986,453	
その他の器械備品減価償却累計額	1,915,727,795	1,479,715,703					
車両	1,615,550			補助金等			
車両減価償却累計額	1,615,549	1		本社交付金	0		
放射性同位元素	0			支部繰入金	0		
放射性同位元素減価償却累計額	0	0		その他の繰入金	0		
その他の有形固定資産	66,871,500			補助金	0		
その他の有形固定資産減価償却累計額	65,965,465	906,035		寄付金	54,040,000		
土地		0		固定資産再評価益(損)金	2,566,395		
建設仮勘定		0		固定資産処分益(損)金	0		
有形固定資産合計		5,003,301,535		４．補助金等合計		56,606,395	
(2)無形固定資産				利益剰余金			
借地権		0		当期未処分利益(損失)	4,476,848,889		
ソフトウエア		241,349,481		５．利益剰余金合計		4,476,848,889	
その他の無形固定資産		0					
無形固定資産合計		241,349,481		有価証券評価差額金		0	
(3)その他の資産				純資産合計			4,549,441,737
有価証券		100,000,000					
長期貸付金		63,700,000					
預金		0					
長期未収金		0					
長期前払費用		2,892,988					
施設整備準備積立金		0					
病院建物建設資金出資金		885,007,910					
病院財政調整事業資金出資金		32,354,663					
出資金		217,850					
退職拠出金		2,520,385,698					
前払年金費用		280,416,346					
預託金		9,050					
繰延税金資産		0					
その他の固定資産		0					
その他の資産合計		3,884,984,505					
固定資産合計			9,129,635,521				
資産合計			15,479,637,516	負債及び純資産合計			15,479,637,516

令和7年度キャッシュ・フロー計算書

（単位：円）

	金　　額
1．業務活動によるキャッシュ・フロー	
税引前当期純利益	504,778,616
減価償却費	1,237,892,818
所有有形固定資産減価償却費	1,111,272,841
リース有形固定資産減価償却費	70,008,332
所有無形固定資産減価償却費	56,611,645
リース無形固定資産減価償却費	0
長期前払費用減価償却費	0
貸倒引当金の増減	14,622,839
賞与引当金の増減	46,850,415
医療訴訟引当金の増減	0
退職給付引当金の増減	−793,121,621
退職拠出金の増減	−244,106,409
前払年金費用の増減	−280,416,346
退職交付受入金の増減	0
その他の引当金の増減	0
施設設備補助金等収益	−86,679,448
受取利息	−477,892
支払利息	9,602,571
有形固定資産売却損	0
有形固定資産除却損	1,340,794
無形固定資産売却損	0
無形固定資産除却損	0
前期損益修正損	0
固定資産取得価額修正	0
減価償却費修正	0
その他	0
その他特別損失	0
有形固定資産売却益	−899,996
無形固定資産売却益	0
前期損益修正益	0
固定資産取得価額修正	0
減価償却費修正	0
その他	0
その他特別利益	0
医業未収金の増減	−334,684,232
未収金の増減	−48,048,045
医薬品の増減	−6,587,718
診療材料の増減	0
給食用材料の増減	−532,575
貯蔵品の増減	21,072
前渡金の増減	0
預け金の増減	−1,414,560,114
前払費用の増減	3,810,977
未収収益の増減	−3,794,277
その他流動資産の増減	−1,037,165
買掛金の増減	666,522,215
未払金の増減	23,175,199
未払費用の増減	9,375,319
前受金の増減	0
預り金の増減	−2,101,408
職員預り金の増減	557,241
前受収益の増減	0
その他の流動負債の増減	92,750,667
その他	14,701,000
小計	−591,045,503
利息の受取額	477,892
利息の支払額	−8,077,204
法人税等の支払額	0
業務活動によるキャッシュ・フロー（A）	−598,644,815

令和7年度キャッシュ・フロー計算書

（単位：円）

2. 投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	0
定期預金の払戻による収入	0
有価証券の取得による支出	0
有価証券の償還等による収入	0
所有有形固定資産の取得による支出	−2,444,953,395
所有有形固定資産の売却による収入	899,996
所有無形固定資産の取得による支出	−236,927,180
所有無形固定資産の売却による収入	0
長期前払費用の取得による支出	0
施設設備補助金等の受入による収入	49,694,562
短期貸付金の増減	0
長期貸付による支出	−15,100,000
長期貸付金の回収による収入	2,100,000
病院建物建設資金出資金の払込による支出	0
病院建物建設資金出資金の返還による収入	0
病院財政調整事業資金出資金の払込による支出	0
病院財政調整事業資金出資金の返還による収入	352,357,174
出資金の払込による支出	0
出資金の返還による収入	0
預託金の預入による支出	0
預託金の払戻による収入	0
その他の固定資産による支出	0
その他の固定資産による収入	0
その他	−100,280
投資活動によるキャッシュ・フロー（B）	−2,292,029,123
3. 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の増減	735,000,000
長期借入による収入	1,032,500,000
長期借入金の返済による支出	−100,000,000
リース債務の返済による支出	−51,983,573
預り出資金の受入による収入	0
預り出資金の払戻による支出	0
その他の固定負債による支出	0
その他の固定負債による収入	0
財務活動によるキャッシュ・フロー（C）	1,615,516,427
4. 現金及び現金同等物の増加額（A+B+C）	−1,275,157,511
5. 現金及び現金同等物期首残高	1,403,487,176
6. 現金及び現金同等物期末残高	128,329,665
チェック	0

※ 病院収益合計	25,593,426,082
※ 病院費用合計	25,088,647,466
※ 法人税等計	0